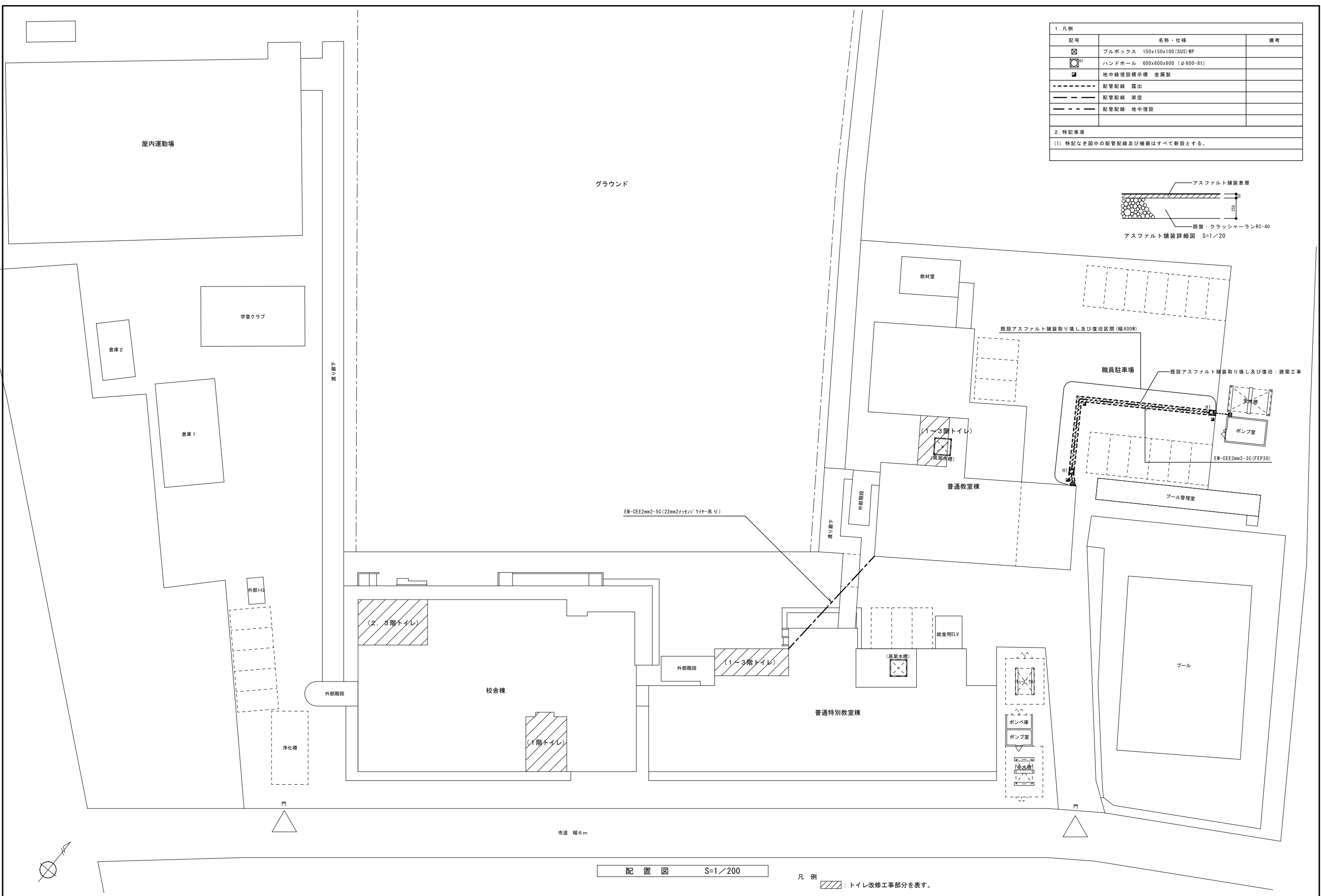
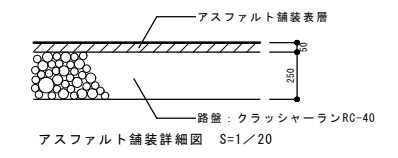
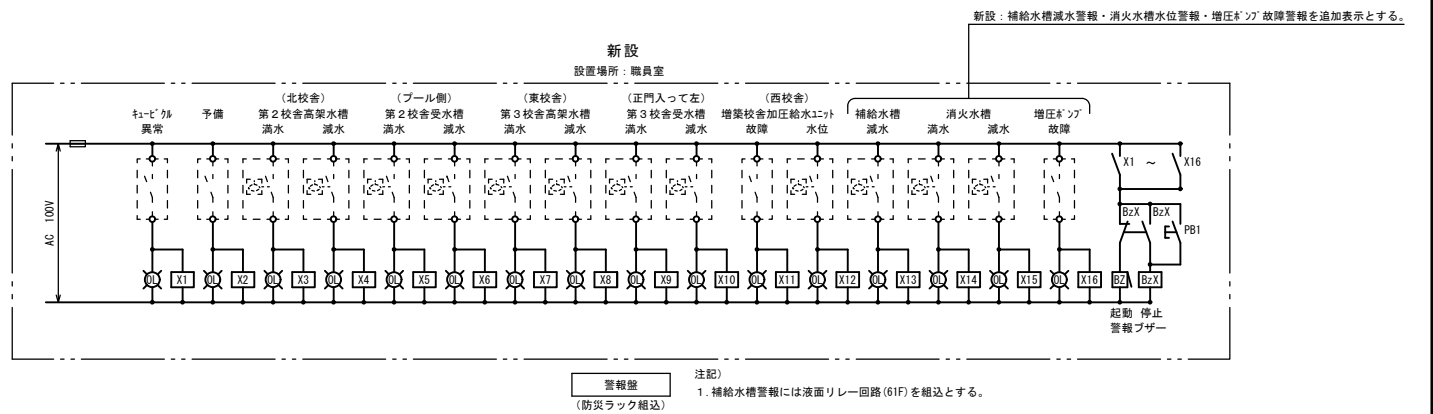
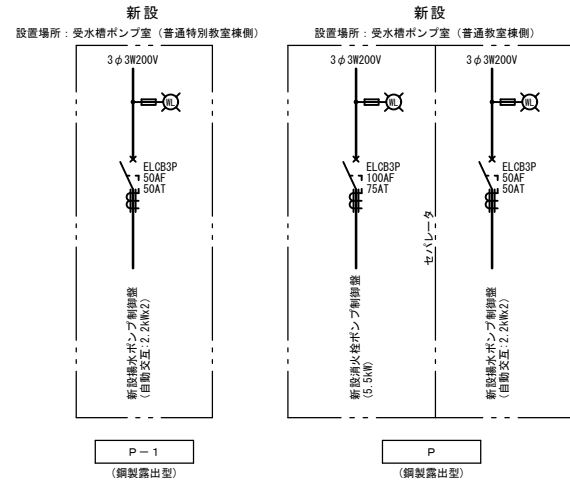
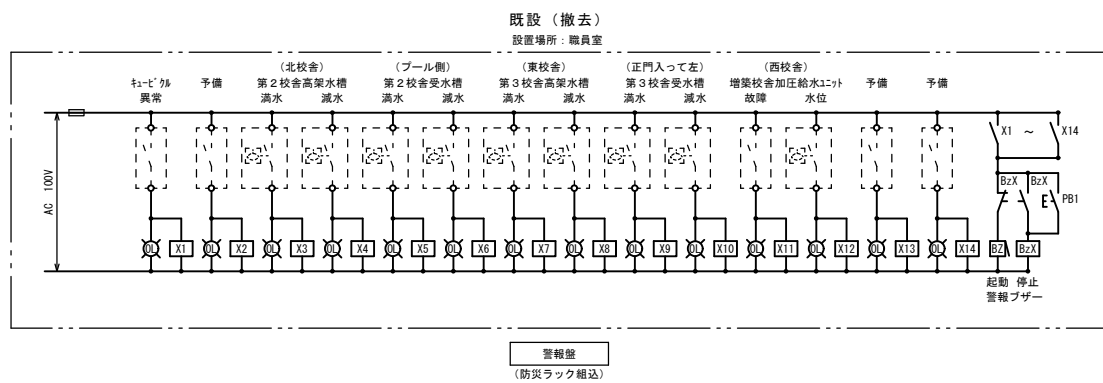
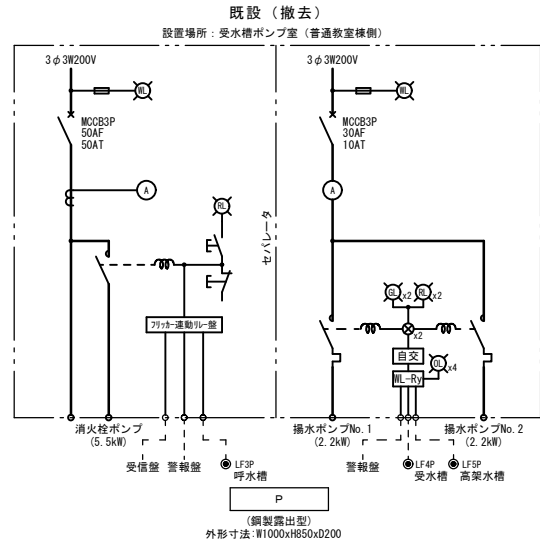
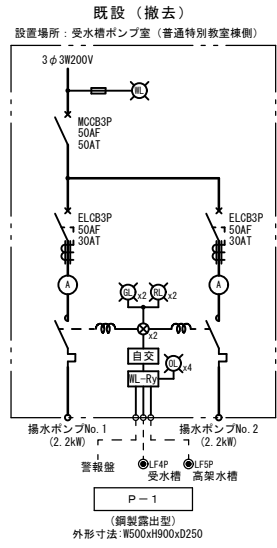


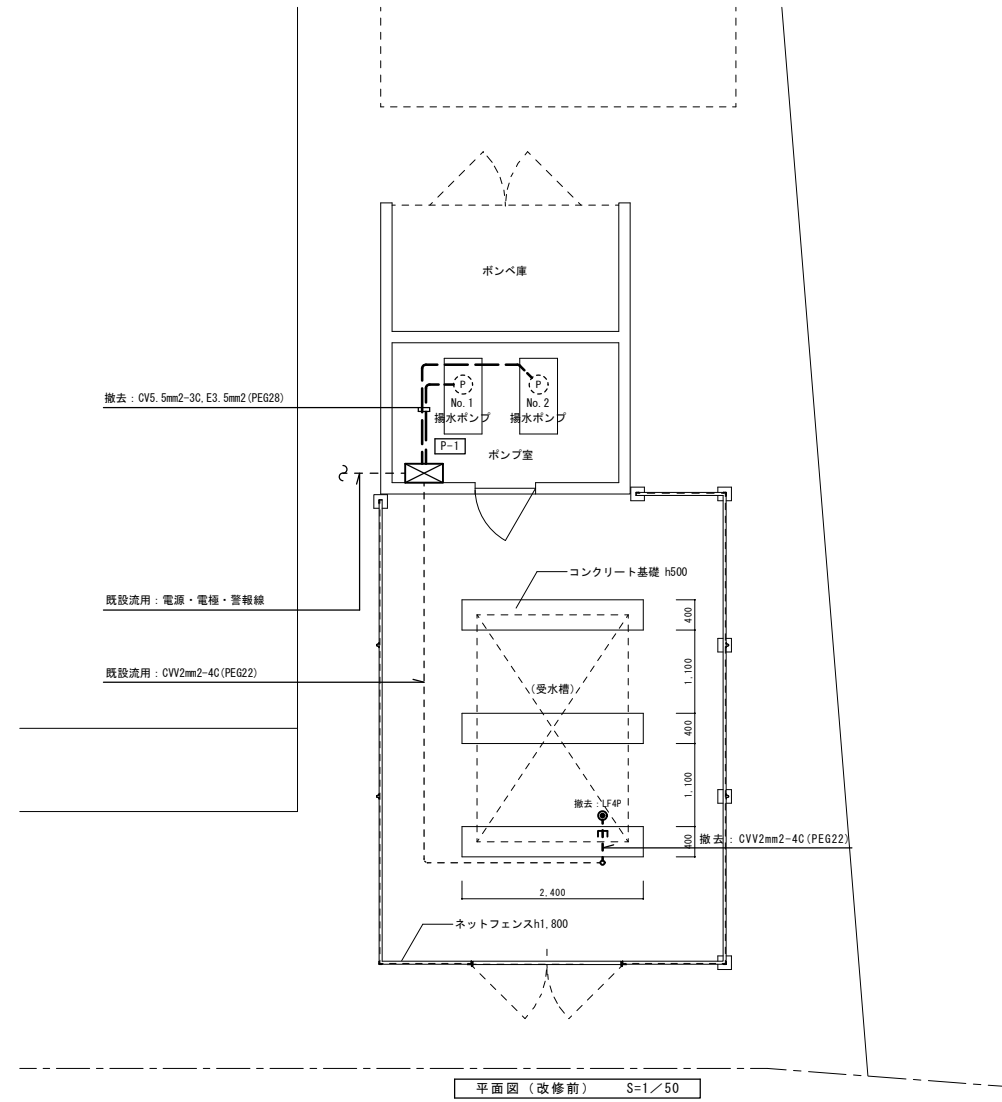
1. 凡例		
記号	名称・仕様	備考
☒	ブルボックス 150x150x100 (SUS) WP	
☒ ^H	ハンドホール 600x600x600 (φ600-8t)	
■	地中埋設様式 金属製	
---	配管配線 露出	
---	配管配線 架空	
---	配管配線 地中埋設	
2. 特記事項		
(1) 特記なき箇中の配管配線及び機器はすべて新設とする。		



配置図 S=1/200

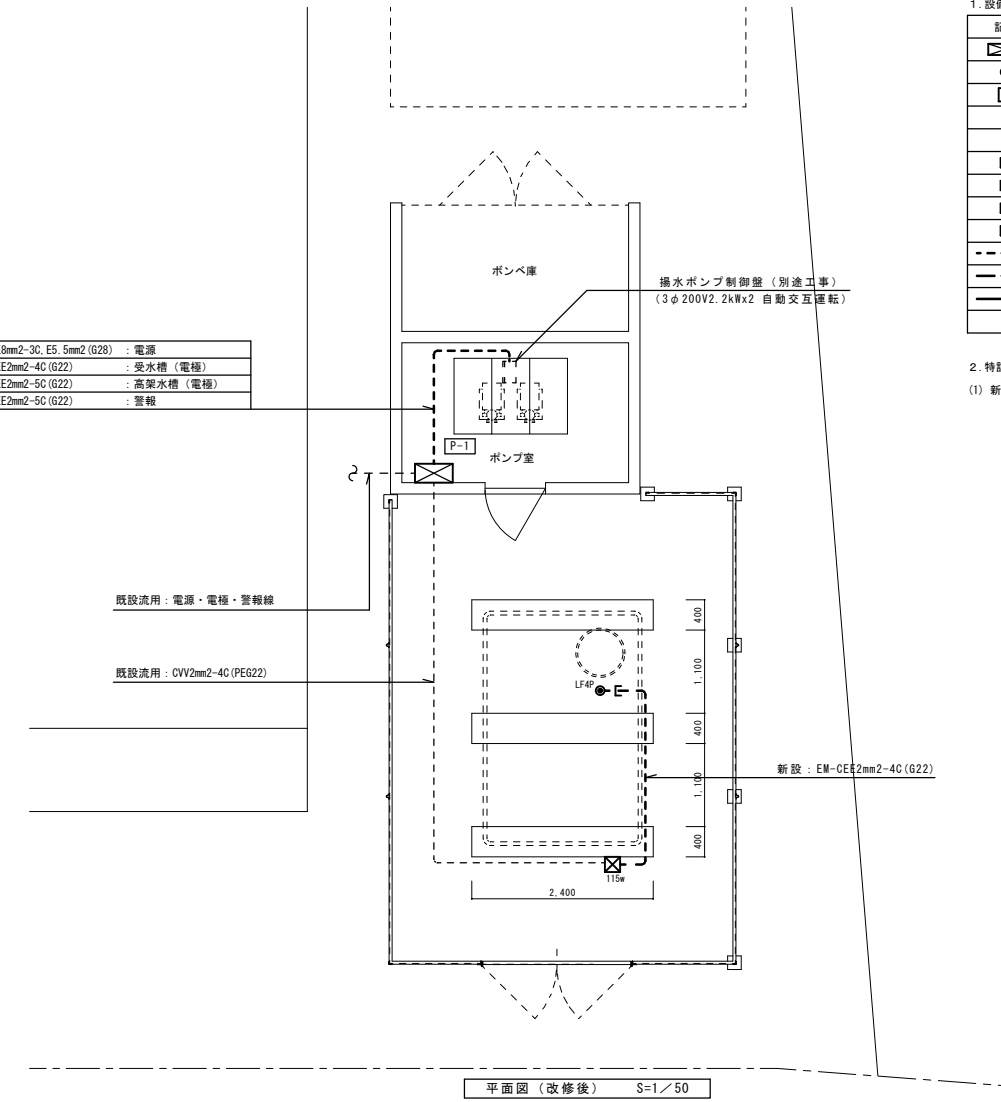
凡例
 : トイレ改修工事部分を表す。





平面図 (改修前) S=1/50

新設	EM-CE8mm2-3C, E5 5mm2 (G28)	: 電源
	EM-CEE2mm2-4C (G22)	: 受水槽 (電極)
	EM-CEE2mm2-5C (G22)	: 高架水槽 (電極)
	EM-CEE2mm2-5C (G22)	: 警報

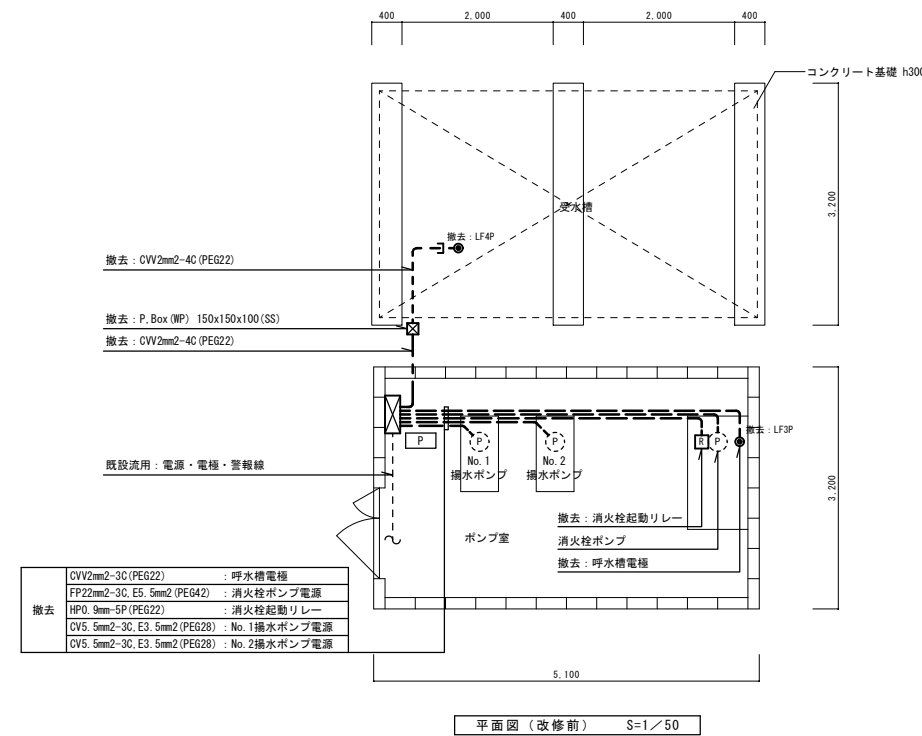


平面図 (改修後) S=1/50

1. 設備機器凡例 (新設)

記号	機器名称	仕様	適用
☒	ポンプ制御盤	盤縁線図参照	撤去・新設
●	液面電極	LF4P	新設
☒	消火栓起動リレー	制御盤内併設型	新設
(配管・配線)			
☒115	プルボックス	150x150x100 (SS) 塗装共	新設
☒115w	プルボックス	150x150x100 (SUS) WP	新設
☒221	プルボックス	200x200x100 (SS) 塗装共	新設
☒221w	プルボックス	200x200x100 (SUS) WP	新設
---	配管配線	露出配線	新設
---	配管配線	地中埋設配線	新設
○	既設B C 壁貫通補修	φ75以下	新設

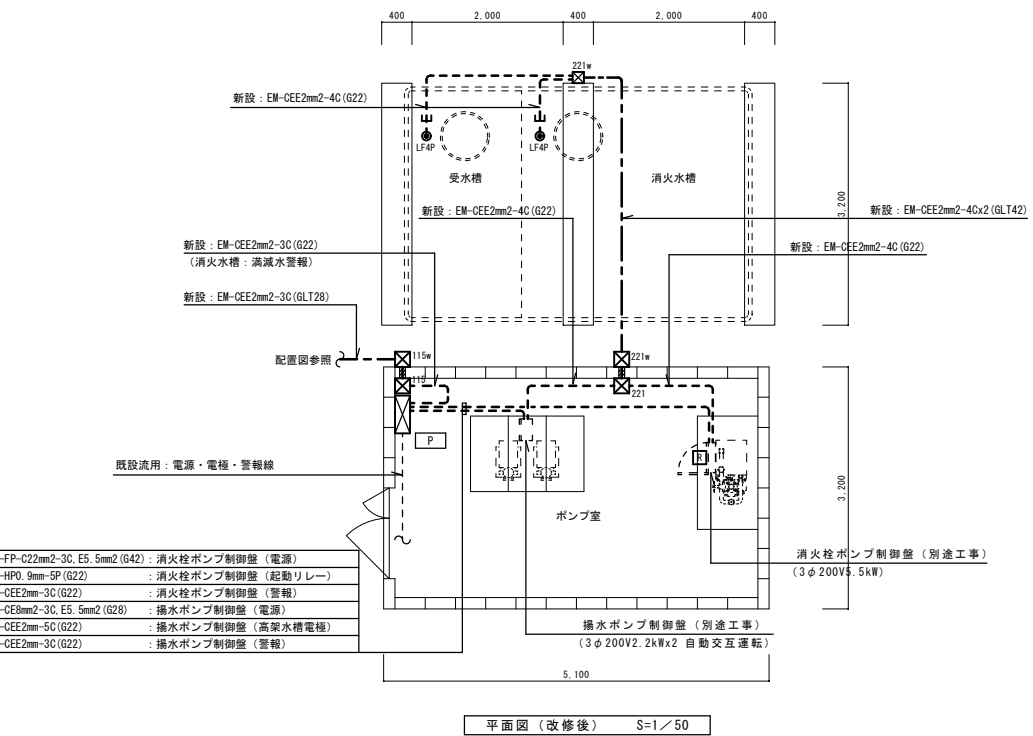
2. 特記事項
 (1) 新設消火栓水の警報線を消火栓ポンプ制御盤より、新設警報盤までの配管配線、接続を行う。



平面図 (改修前) S=1/50

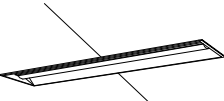
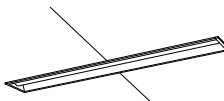


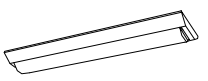
撤去	CV2mm2-3C (PE622)	: 呼水電極
	FP2mm2-3C, E5 5mm2 (PE642)	: 消火栓ポンプ電源
	HP0 9mm-5P (PE622)	: 消火栓起動リレー
	CV5 5mm2-3C, E3 5mm2 (PE628)	: No.1 揚水ポンプ電源
	CV5 5mm2-3C, E3 5mm2 (PE628)	: No.2 揚水ポンプ電源

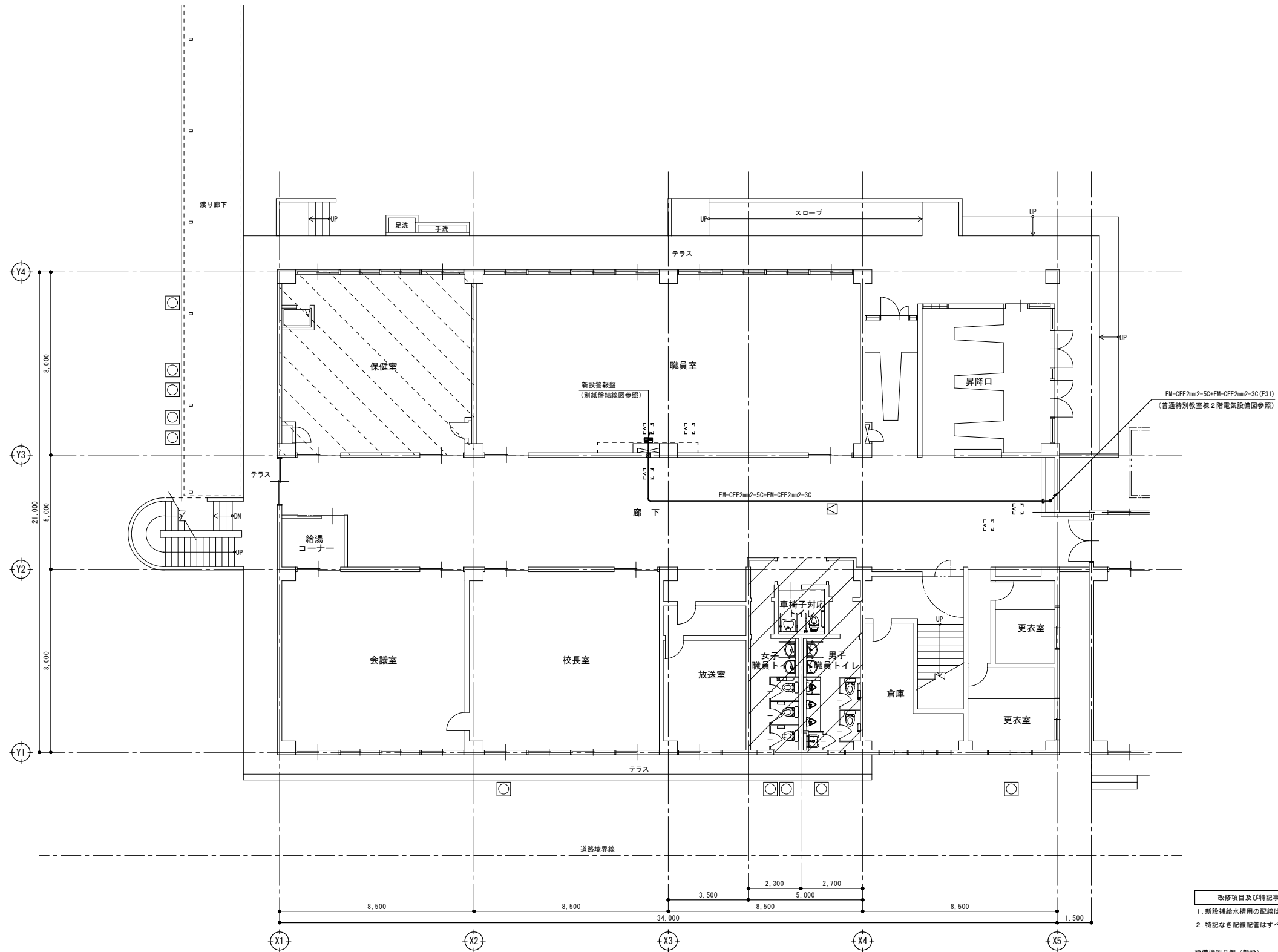
新設	EM-FP-C22mm2-3C, E5 5mm2 (G42)	: 消火栓ポンプ制御盤 (電源)
	EM-HP0 9mm-5P (G22)	: 消火栓ポンプ制御盤 (起動リレー)
	EM-CEE2mm2-3C (G22)	: 消火栓ポンプ制御盤 (警報)
	EM-CE8mm2-3C, E5 5mm2 (G28)	: 揚水ポンプ制御盤 (電源)
	EM-CEE2mm2-5C (G22)	: 揚水ポンプ制御盤 (高架水槽電極)
	EM-CEE2mm2-3C (G22)	: 揚水ポンプ制御盤 (警報)



平面図 (改修後) S=1/50

照明器具姿図 (新設)

<A322h>	LEDベースライト (FH32Wx2高出力型相当) 温白色	<B322>	LEDベースライト (FH32Wx2定格出力型相当) 温白色	<C27>	LEDダウンライト (FHT27W型相当) 温白色	<D402>	LEDベースライト (FLR40Wx2型相当) 温白色	<E162>	LEDベースライト (FH16Wx2高出力型相当) 温白色		
(公共施設型番)	LRS3-4-65	(公共施設型番)	LRS6-4-48	(公共施設型番)	LRS1-08	(公共施設型番)	LSS9-4-37	(公共施設型番)	LSS9-2-30		
				<G32>	LEDダウンライト (FHT32W型相当) 温白色	<D322>	LEDベースライト (FH32Wx2定格出力型相当) 温白色				
(公共施設型番)	LRS1-13			(公共施設型番)	LRS1-13	(公共施設型番)	LSS9-4-48				
											

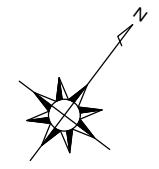


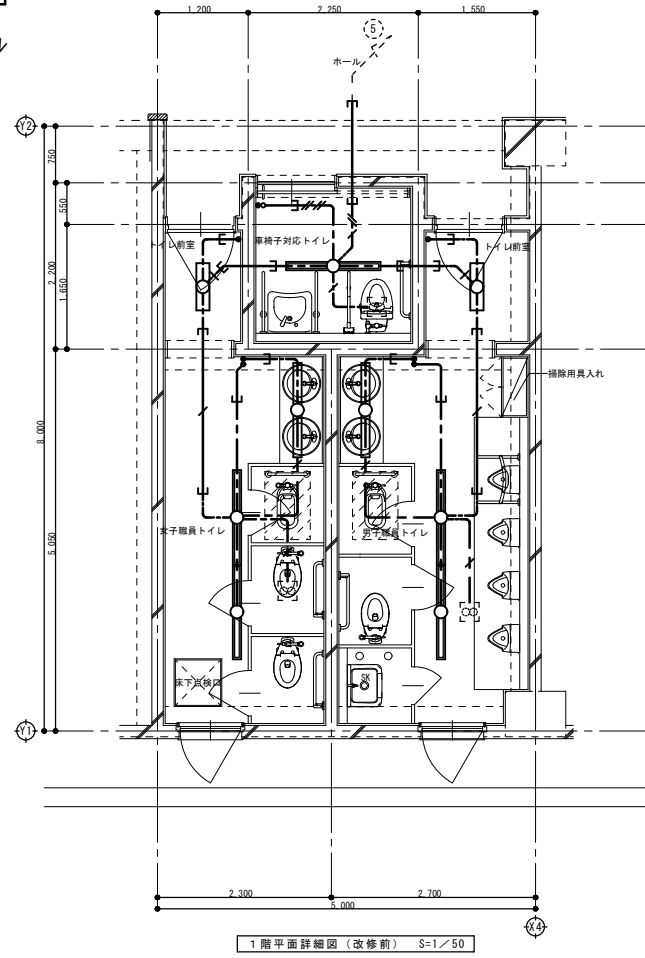
1階平面図 (改修後) S=1/100

凡例
 : トイレ改修部分を表す。
 : 天井・一部壁改修部分を表す。

改修項目及び特記事項
 1. 新設補給水槽用の配線はすべて新設とし、既設警報盤より補給水槽まで配管配線、接続を行う。
 2. 特記なき配線配管はすべて新設とする。

設備機器凡例 (新設)			
記号	機器名称	仕様	適用
	警報盤	16芯 (防災ラック組込み型)	新設
	点検口	450角	既設
	点検口	450角	新設 (建築工事)
(配管・配線)			
	配管配線	天井裏隠ぺい配線	新設
	既設R C壁貫通補修	φ75以下	新設





改修項目及び特記事項

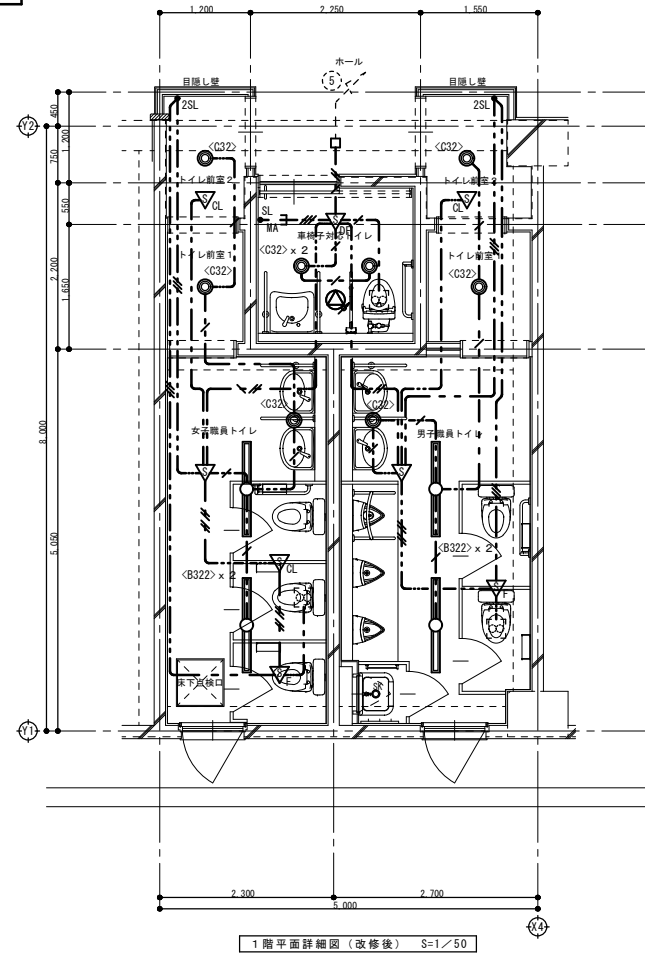
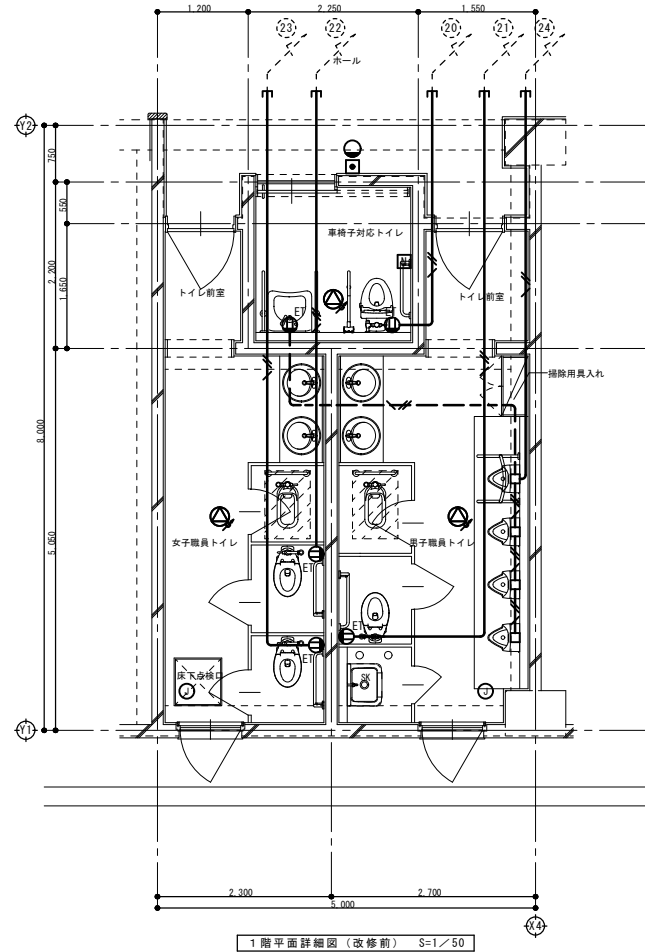
1. 特記なき配線配管は下記による。(撤去配管配線)
(電灯・コンセント設備)
 EM-EFF1.6mm-2C(PF16)
 EM-EFF1.6mm-3C(PF16)
 EM-EFF1.6mm-2Cx2(PF22)
 EM-EFF1.6mm-3C(10-Earth)(PF16)
 EM-EFF2.0mm-3C(10-Earth)(PF22)
 EM-IE2.0mmx2.E2.0mm(PF16)
 但し、コンクリート内配管は既設維持とする。

2. 設備機器凡例 (撤去及び取外し)

記号	機器名称	仕様	適用
(電灯・コンセント設備)			
	照明器具	FHF32Wx1 下面開放埋込型	撤去
	照明器具	FHF32Wx1 逆富士型	撤去
	照明器具	FHF16Wx2 逆富士型	撤去
	埋込スイッチ	1P15Ax1 金属プレート	撤去
	埋込スイッチ	1P15Ax1+1PLx1 金属プレート	撤去
	埋込スイッチ	1P15Ax2 金属プレート	撤去
	埋込コンセント	2P15Ax1 接地端子付 金属プレート	撤去
	換気扇	天井埋込型	設備工事
(H/H呼出設備)			
	廊下表示灯		撤去
	復旧如		撤去
	呼出押し如		撤去
	(非常放送設備)		
	スピーカー	天井埋込型 丸形 3W ATT付	撤去
(機械設備)			
	ファンプレート	角形 プラック	撤去
(配管・配線)			
	天井点検口		既設
	77x114mm ヲス	中型	撤去
	配管配線	二重天井内ケーブル配線	撤去
	配管配線	隠ぺい配管	撤去
	配管配線	床埋込配管	撤去
	配管配線		既設

3. 特記事項

- 照明器具及びスイッチ、コンセント類はすべて撤去とする。
- コンクリート埋込配管は残置とする。
- 特記なきコンセント用回路の配管配線は既設維持とする。
- 撤去にあたっては改修図を十分参照のうえ撤去を行うこと。



改修項目及び特記事項

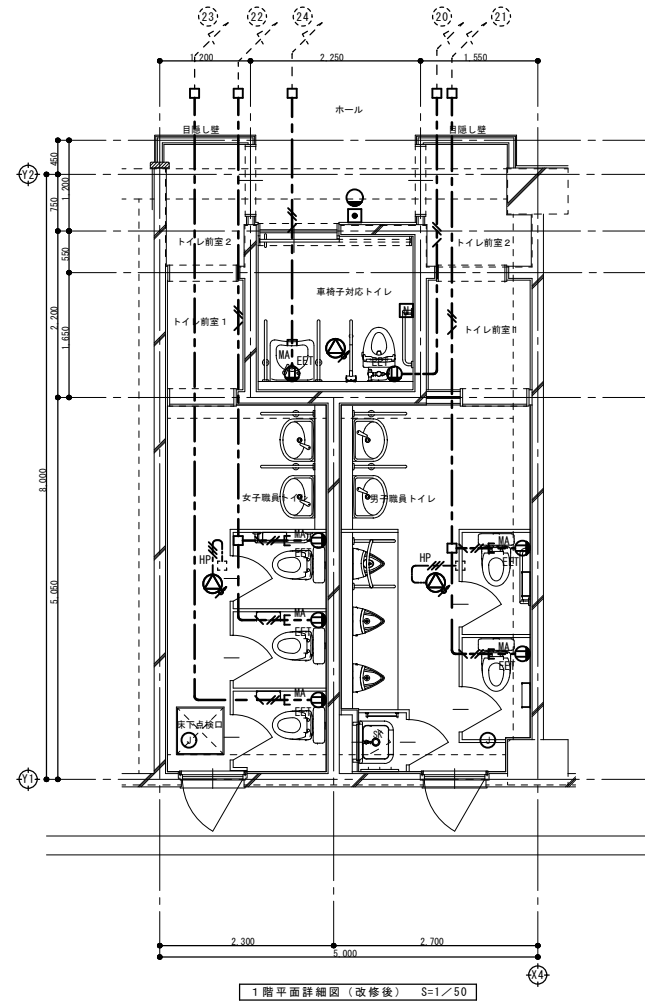
1. 特記なき配線配管は下記による。(新設配管配線)
 EM-EFF1.6mm-2C
 EM-EFF1.6mm-3C
 EM-EFF1.6mm-2Cx2
 EM-EFF1.6mm-3C(10-Earth)
 EM-EFF2.0mm-3C(10-Earth)
 但し、壁内立下げ部分及び貫通部分は電線管(PP管)にて保護とする。
 HP
 EM-HP1.2mm-3C

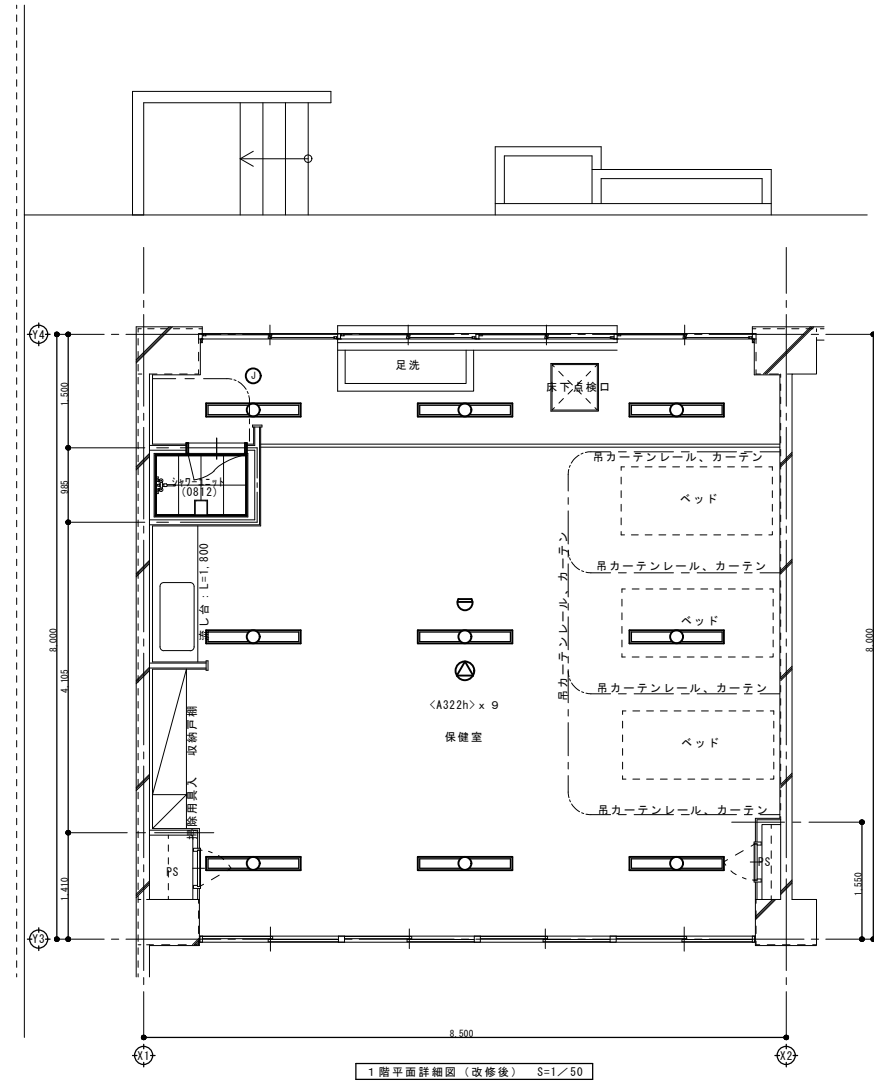
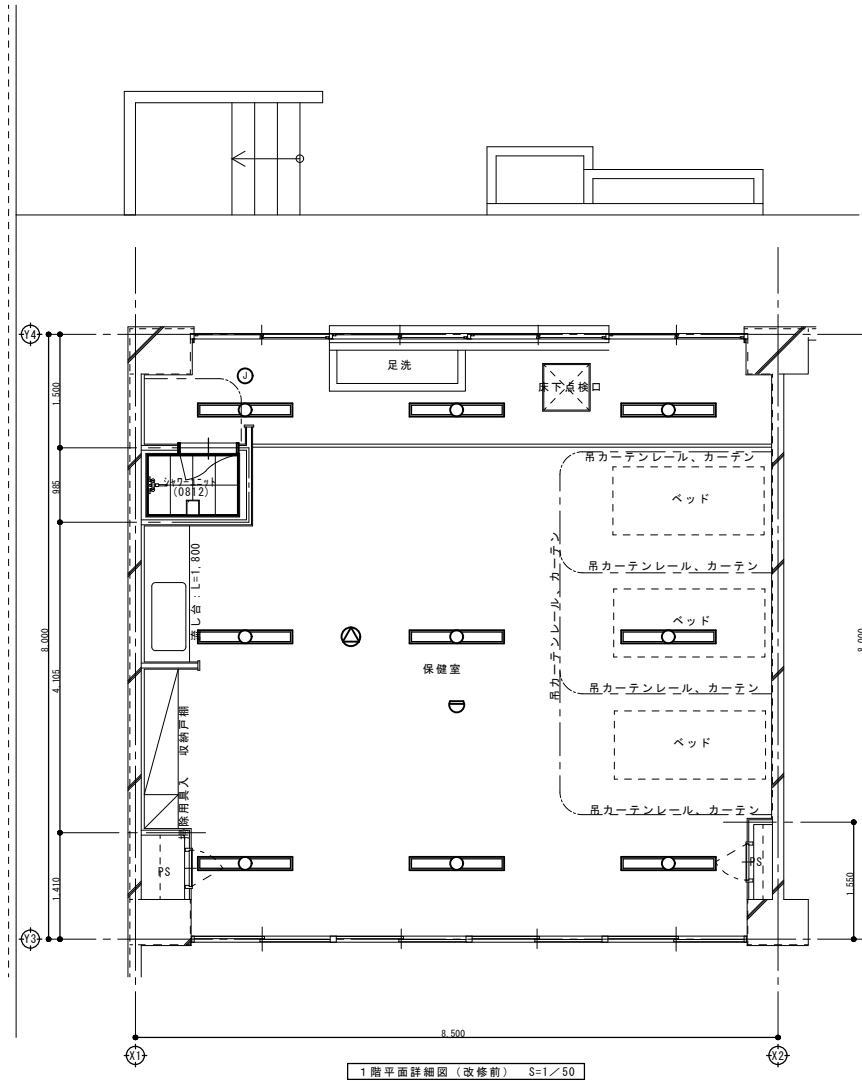
2. 設備機器凡例 (新設)

記号	機器名称	仕様	適用
(電灯・コンセント設備)			
	人感センサー 照機	AC100V 8A 広範囲検知型	新設
	人感センサー 子機	DC12V	新設
	人感センサー 子機	AC100V 1A 換気扇連動端子付	新設
	人感センサー 照機	AC100V 換気扇遅れOFF機能付型	新設
	人感センサー操作用スイッチ	1回路用 金属プレート	新設
	人感センサー操作用スイッチ	2回路用 金属プレート	新設
	埋込コンセント	接地端子付2P15Ax1 接地端子付 金属プレート	新設
	換気扇	天井埋込型	設備工事
(H/H呼出設備)			
	廊下表示灯		新設
	復旧如		既設
	呼出押し如		新設
(非常放送設備)			
	スピーカー	天井埋込型 丸形 3W ATT付	新設
(機械設備)			
	ファンプレート	丸形 金属 プラック	新設
(配管・配線)			
	天井点検口	□450	別途工事
	天井点検口		既設
	アウトレットボックス		新設
	アウトレットボックス		既設
	配管配線	いんぺい	新設
	配管配線	露出	新設
	配管配線	天井裏ケーブルころがし	新設
	配管配線	立下げ部分のみメタルモールA配管	新設
	配管配線	既設RC壁貫通補修 φ75以下	新設
	配管配線		既設

3. 特記事項

- 特記なき照明器具及びスイッチ、コンセント類はすべて新設とする。
- 照明及び換気扇は人感センサーにて点滅制御を行う。
- 各生徒用便所は、暖房便用コンセントを新設とする。
- 人感センサー操作用スイッチの取付高さは、児童が触れることがない高さ(FL+1,800)に取付とする。
- 各階便所の人感センサーは、廊下側へは干渉しないよう検知範囲を調整とする。
-





改修項目及び特記事項

- 特記事項
(1) 撤去及び取外しにあたっては改修図を十分参照のうえ撤去を行うこと。
- 設備機器凡例 (撤去・取外し)

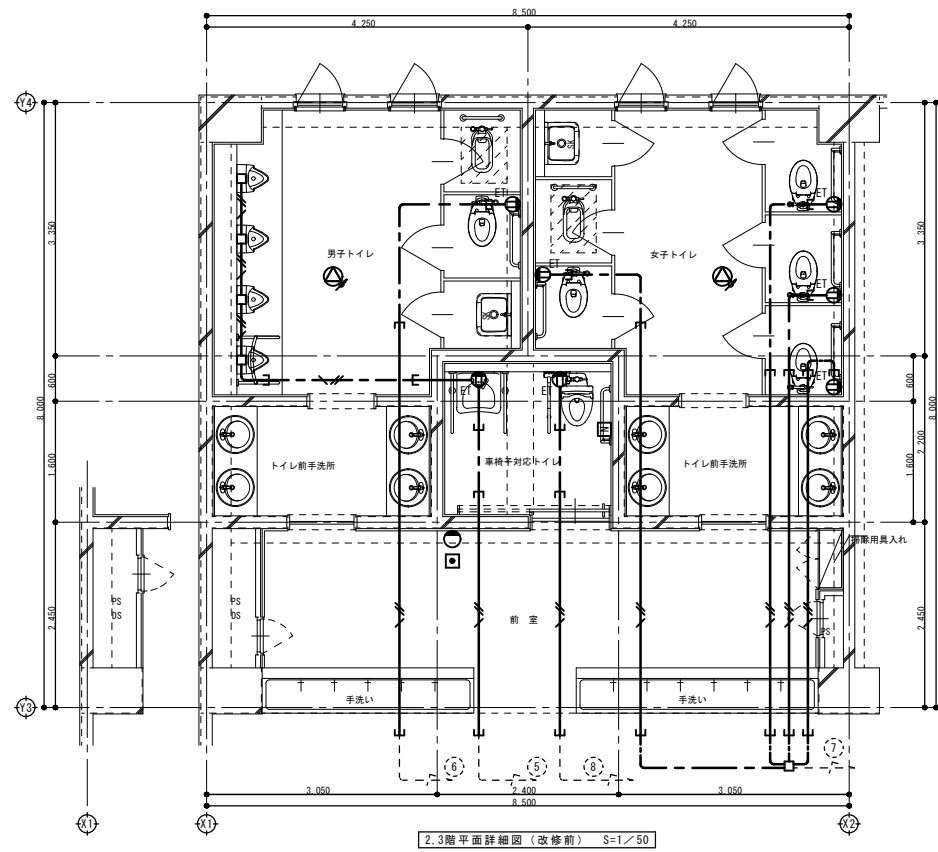
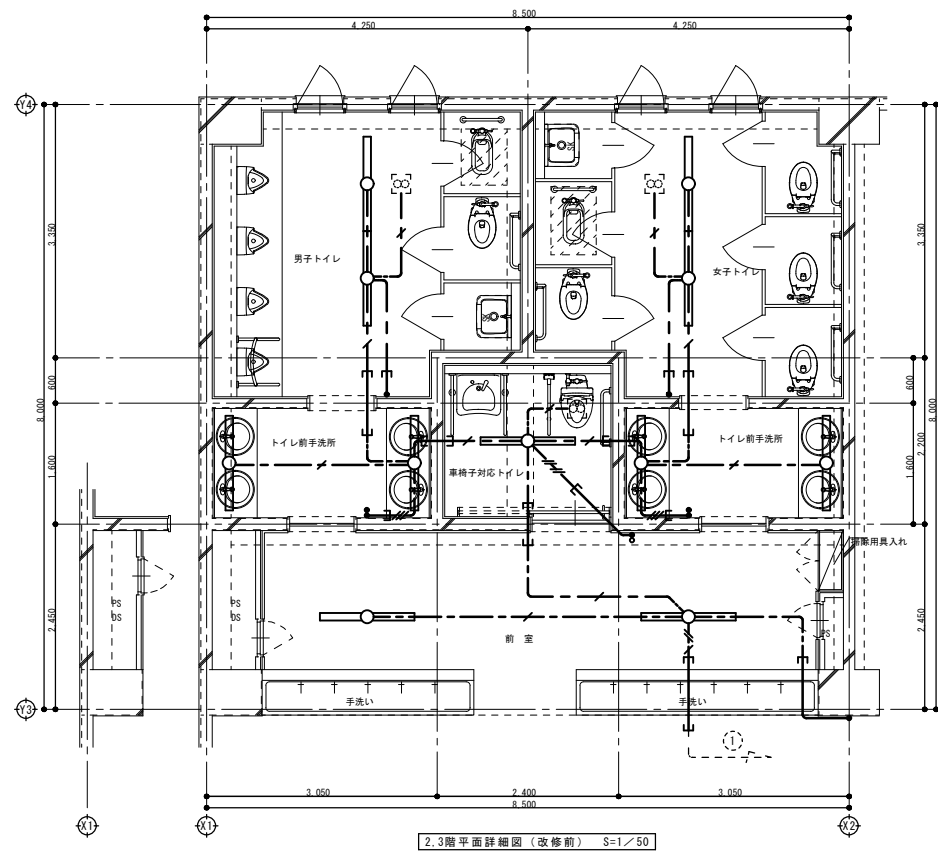
記号	機器名称	仕様	適用
☐	照明器具	FHF32Wx2 下面開放埋込型	撤去
⊙	スピーカー	天井埋込型 丸形 3W	取外し
⊖	スポット型感知器	差動式 2種 露出	取外し
○	フラッシュプレート	角形 ブランク	取外し

改修項目及び特記事項

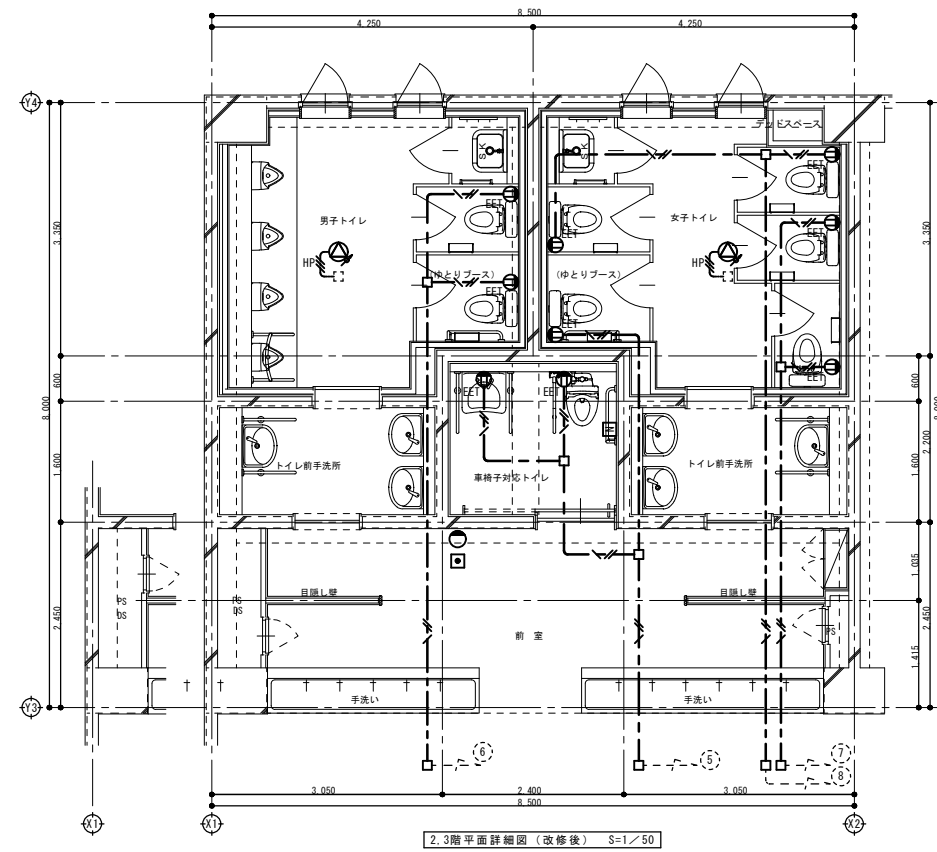
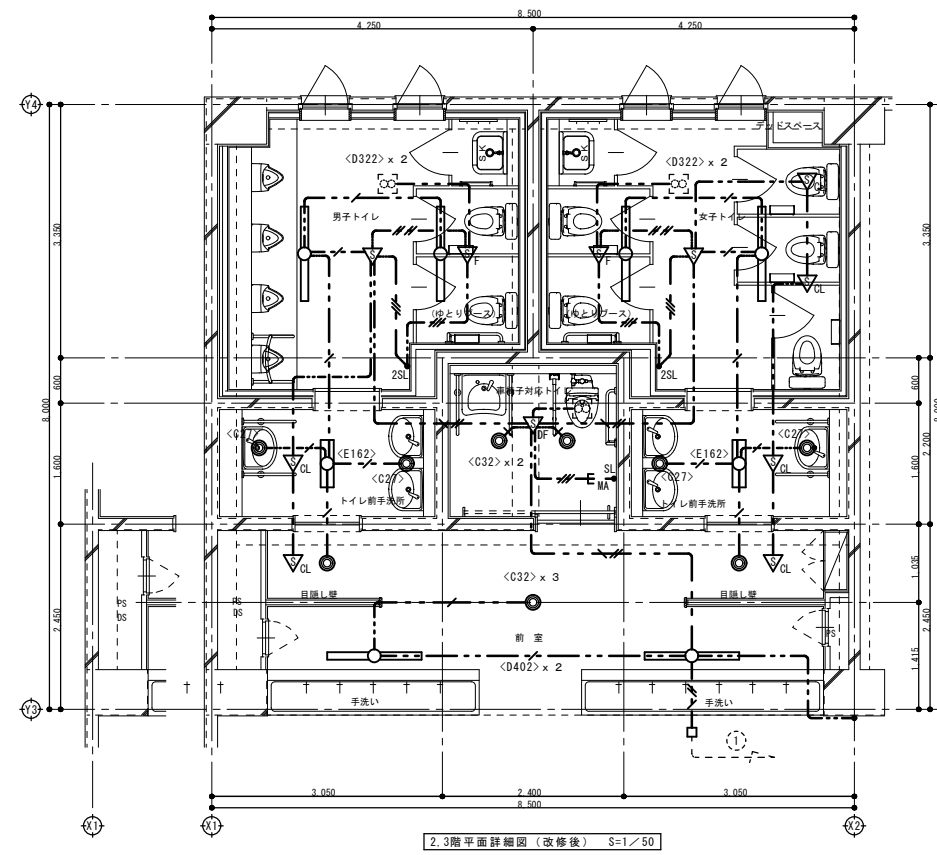
- 特記事項
(1) 撤去及び取外しにあたっては改修図を十分参照のうえ撤去を行うこと。
- 設備機器凡例 (撤去・取外し)

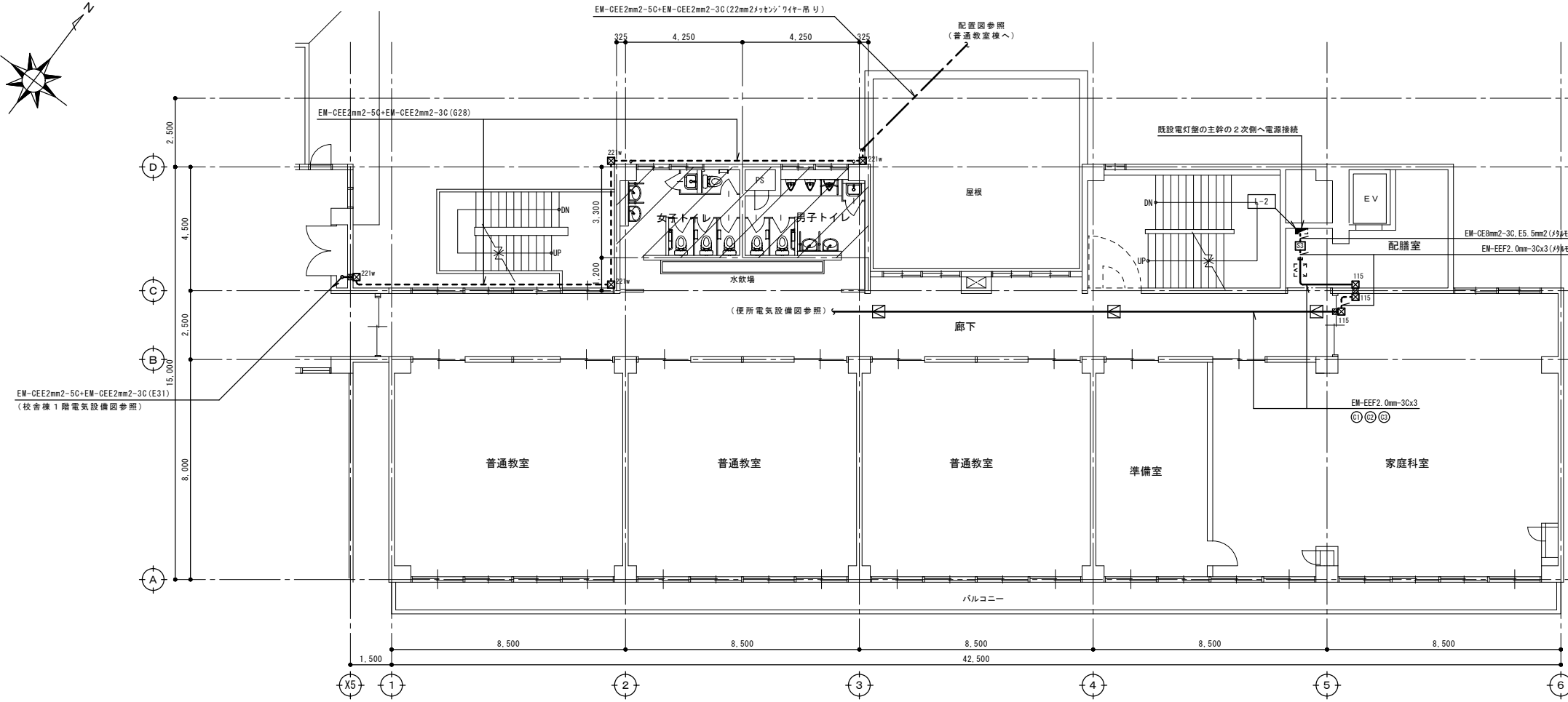
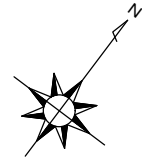
記号	機器名称	仕様	適用
☐	照明器具	LED (FHF32Wx2高出力型相当) 下面開放埋込型	新設
⊙	スピーカー	天井埋込型 丸形 3W	再取付
⊖	スポット型感知器	差動式 2種 露出	再取付
○	フラッシュプレート	角形 ブランク	再取付

改修前



改修後





改修項目及び特記事項

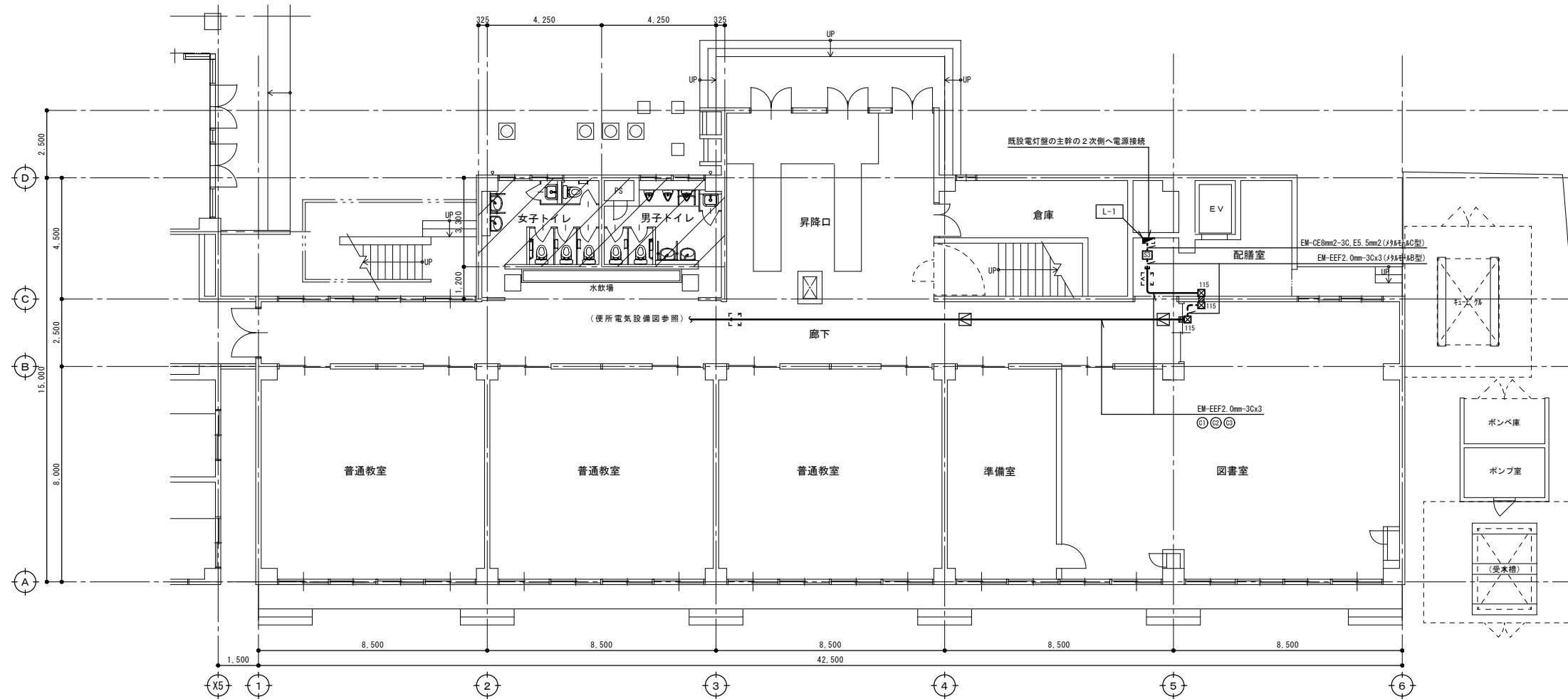
1. トイレ改修工事の増設回路電源は、各階既設電灯盤の主幹の2次側へ各新設開閉器の電源を接続とする。
2. 高架水槽の電極及び露出配管は、撤去及び新設とする。
3. 新設補給水槽用の配線はすべて新設とし、既設管線より補給水槽まで配管配線、接続を行う。
4. 特記なき配管配線はすべて新設とする。
- 5.

設備機器凡例 (新設)

記号	機器名称	仕様	適用
☐	電灯分電盤		既設流用
☐	開閉器	ELCB2P1E20A3 屋内用	新設
●	液面電極	LFSP	新設
☐	点検口	450角	新設 (建築工事)
☐	点検口	450角	既設
(配管・配線)			
☐115	フルボックス	150x150x100 (SS)	新設
☐21w	フルボックス	200x200x100 (SUS) WP	新設
—	配管配線	天井裏埋へい配線	新設
—	配管配線	露出配線	新設
—	配管配線	架空配線	新設
—	既設RC壁貫通補修	φ75以下	新設

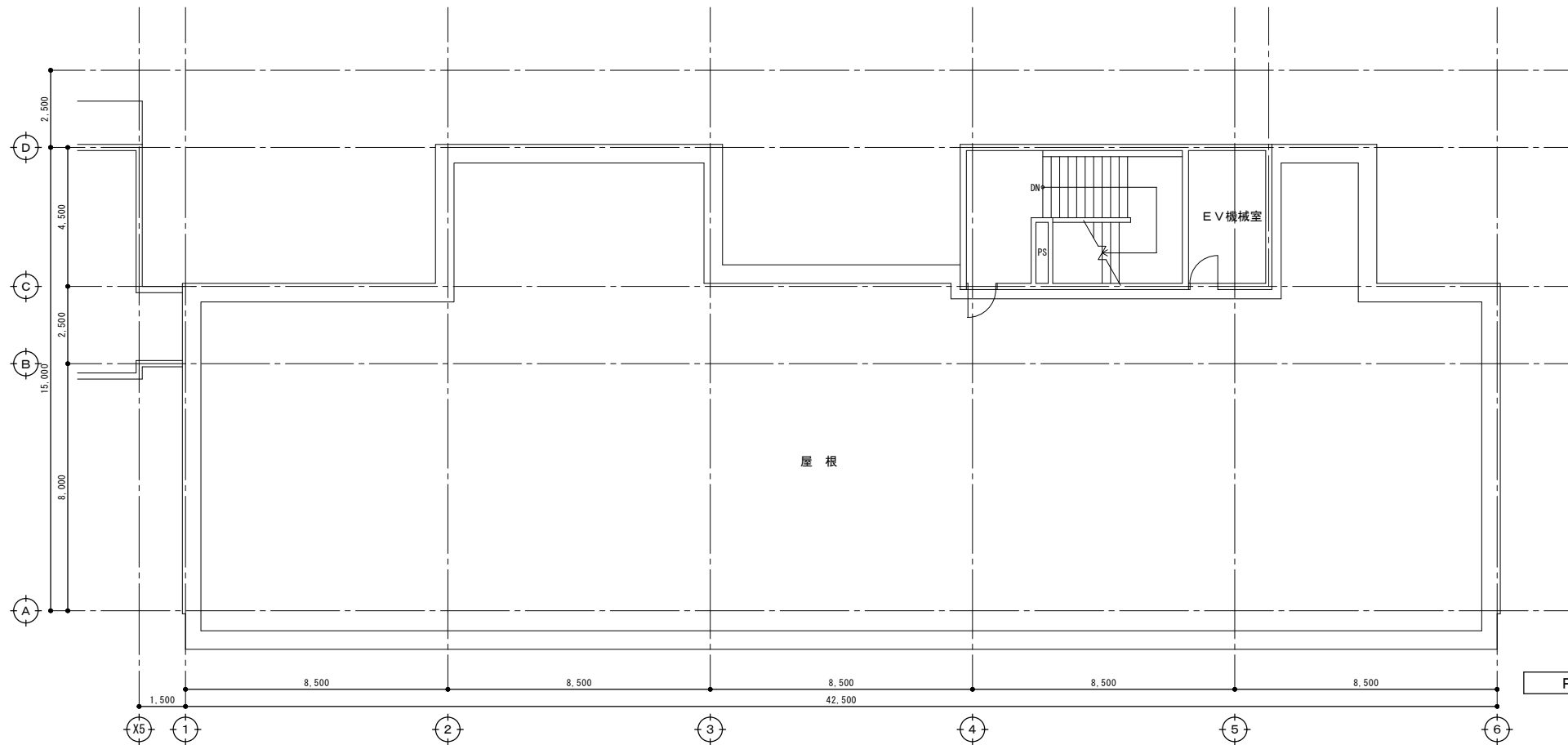
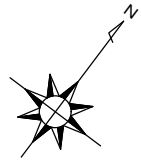
2階平面図 (改修後) S=1/100

凡例 : トイレ改修部分を表す。

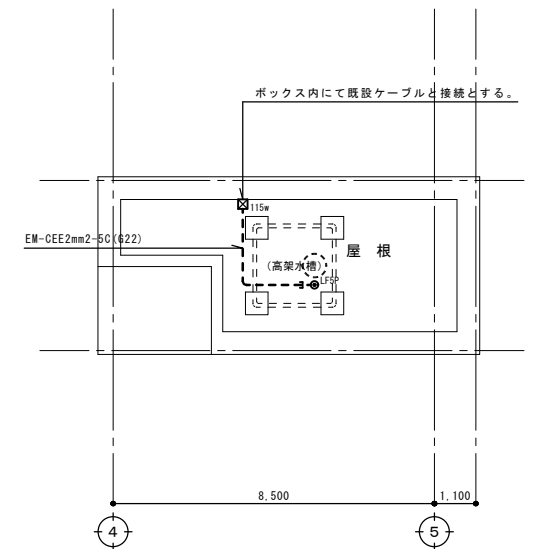


1階平面図 (改修後) S=1/100

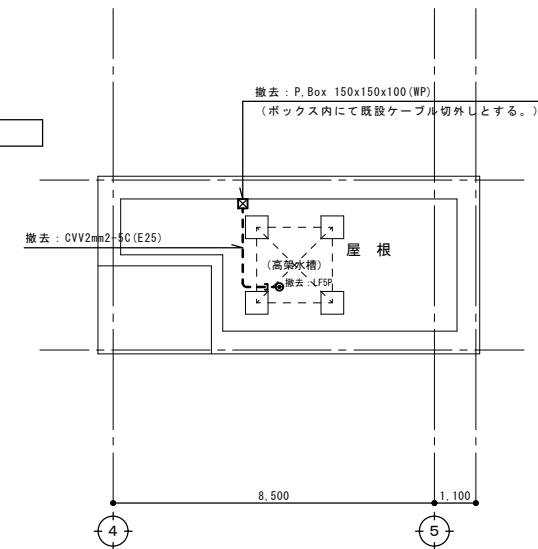
凡例 : トイレ改修部分を表す。



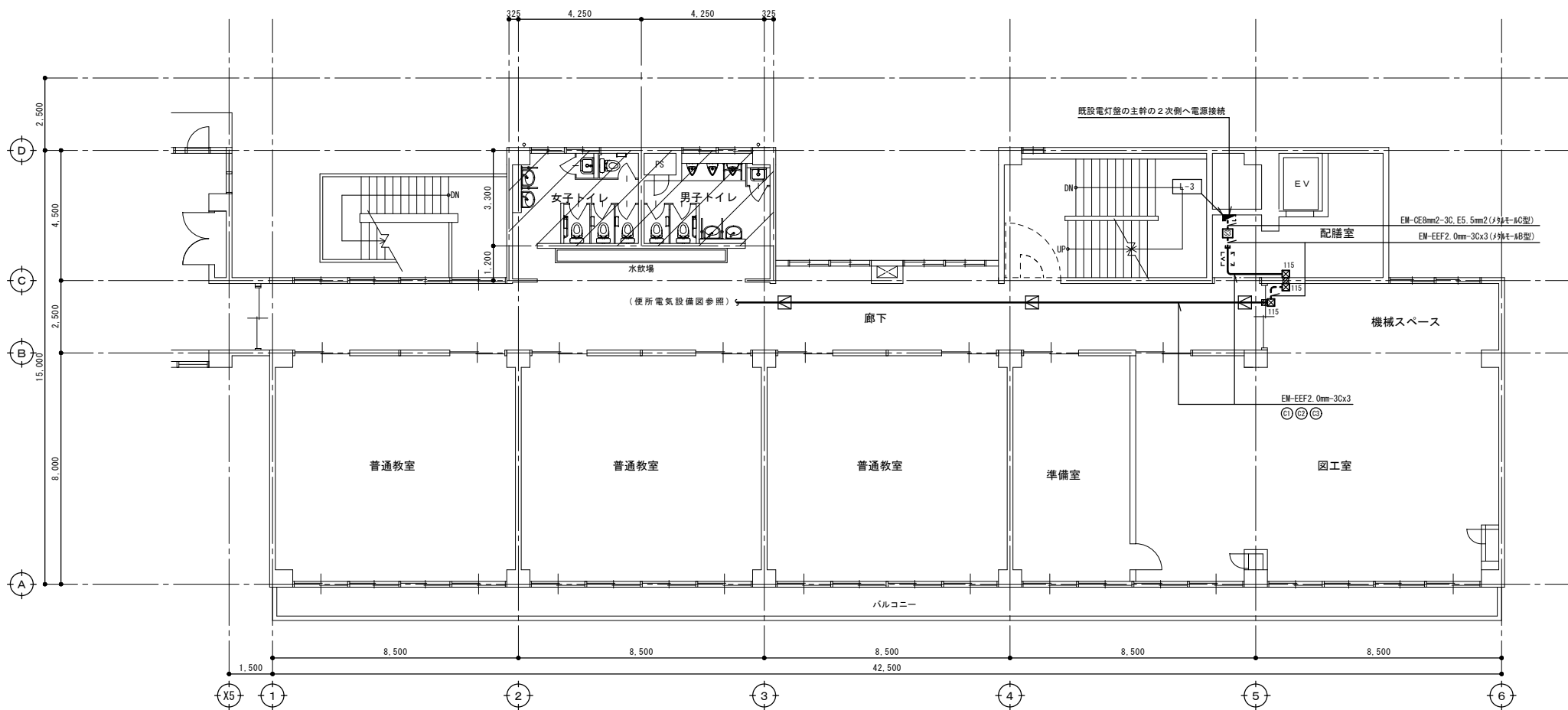
R階平面図 (改修後) S=1/100



PH階平面図 (改修後) S=1/100

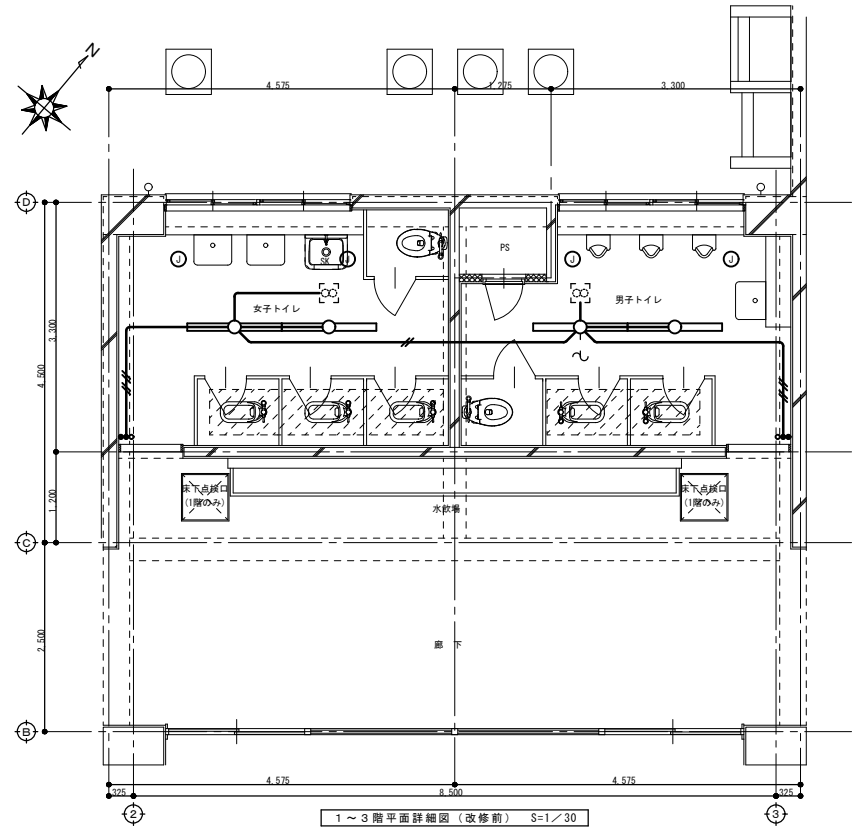


PH階平面図 (改修前) S=1/100

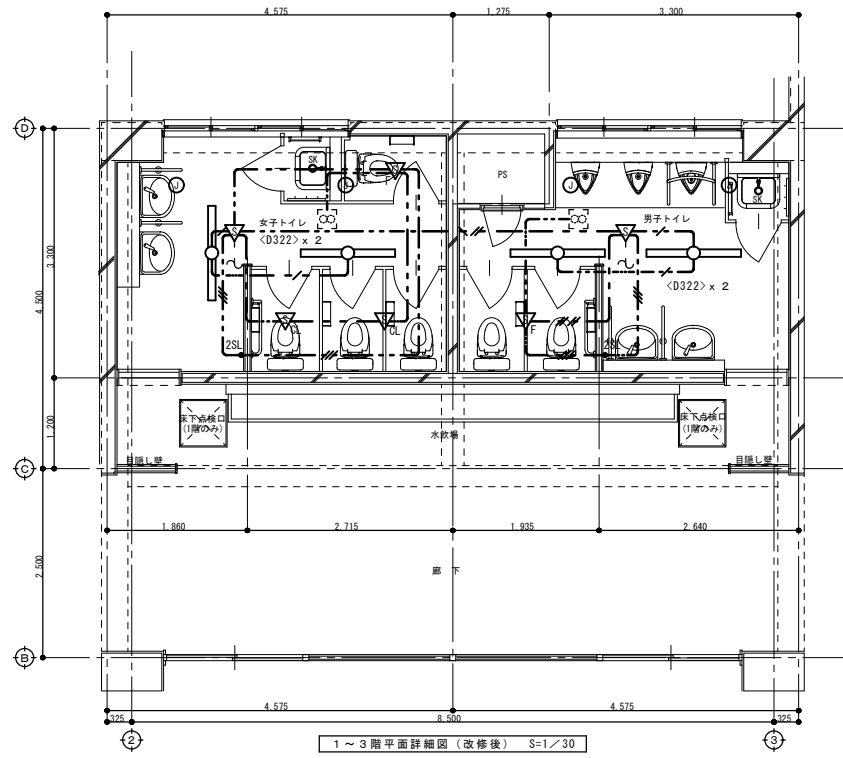


3階平面図 (改修後) S=1/100

凡例
 : トイレ改修部分を表す。



1～3階平面詳細図(改修前) S=1/30



1～3階平面詳細図(改修後) S=1/30

改修項目及び特記事項

1. 特記なき配線配管は下記による。(撤去配管配線)
- IV1.6mm²(E19) — IV2.0mm²(E19)
 - IV1.6mm³(E19)
 - IV1.6mm⁴(E19)
- 但し、コンクリート内配管は既設維持とする。

2. 設備機器凡例(撤去)

記号	機器名称	仕様	適用
○	照明器具	FLR40x1 逆富士型	撤去
■	埋込スイッチ	1P15x2+PLx1 金属プレート	撤去
○	フラッシュプレート	角形 ブランク	撤去(1Fのみ)
☼	換気扇	天井埋込型	設備工事
(配管・配線)			
—	配管配線	隠ぺい配管	撤去
- - - -	配管配線		既設

3. 特記事項

- (1) 照明器具及びスイッチ、コンセント類はすべて撤去とする。
- (2) コンクリート埋込配管は残置とする。
- (3) 撤去にあたっては改修図を十分参照のうえ撤去を行うこと。

改修項目及び特記事項

1. 特記なき配線配管は下記による。(新設配管配線)

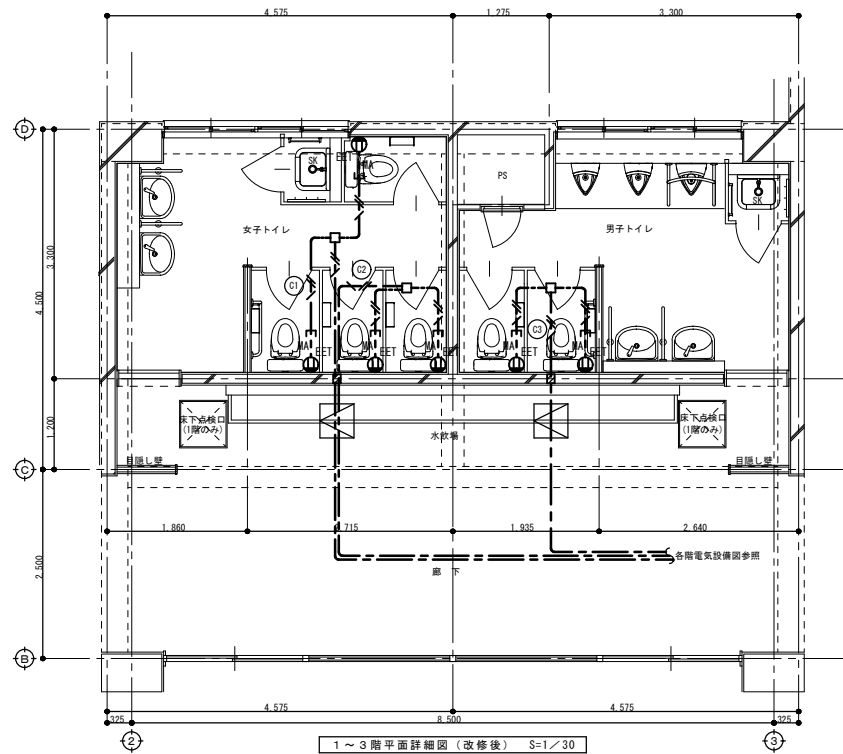
- - - - EM-EEF1.6mm-2C
 - EM-EEF1.6mm-3C
 - EM-EEF1.6mm-2Cx2
 - EM-EEF1.6mm-3C(10-Earth)
 - EM-EEF2.0mm-3C(10-Earth)
- 但し、室内立下げ部分及び貫通部分は電線管(PE管)にて保護とする。

2. 設備機器凡例(新設)

記号	機器名称	仕様	適用
(電灯・コンセト設備)			
▽	人感センサー 戦機	AC100V 8A 広範囲検知型	新設
▽	人感センサー 子機	DC12V	新設
▽	人感センサー 子機	AC100V 1A 換気扇連動端子付	新設
●	人感センサー操作用スイッチ	2回路用 金属プレート	新設
⊕	埋込コンセント	接地極付2P15x1.接地端子付 金属プレート	新設
○	フラッシュプレート	角形 ブランク	新設(1Fのみ)
☼	換気扇	天井埋込型	設備工事
(配管・配線)			
□	天井点検口	□450	別途工事
□	アウトレットボックス		新設
□	アウトレットボックス		既設
—	配管配線	いんべい	新設
- - - -	配管配線	露出	新設
- - - -	配管配線	天井裏ケーブルところがし	新設
—	配管配線	立下げ部分のみ金属モールA配管	新設
—	既設RC壁貫通補修	φ75以下	新設
- - - -	配管配線		既設

3. 特記事項

- (1) 特記なき照明器具及びスイッチ、コンセント類はすべて新設とする。
- (2) 照明及び換気扇は人感センサーにて点滅制御を行う。
- (3) 各生使用便所は、暖房使用用コンセントを新設とする。
- (4) 人感センサー操作用スイッチの取付高さは、児童が触ることがない高さ(FL+1.800)に取付とする。
- (5) 各階便所の人感センサーは、廊下側へは干渉しないよう検知範囲を調整とする。
- (6)

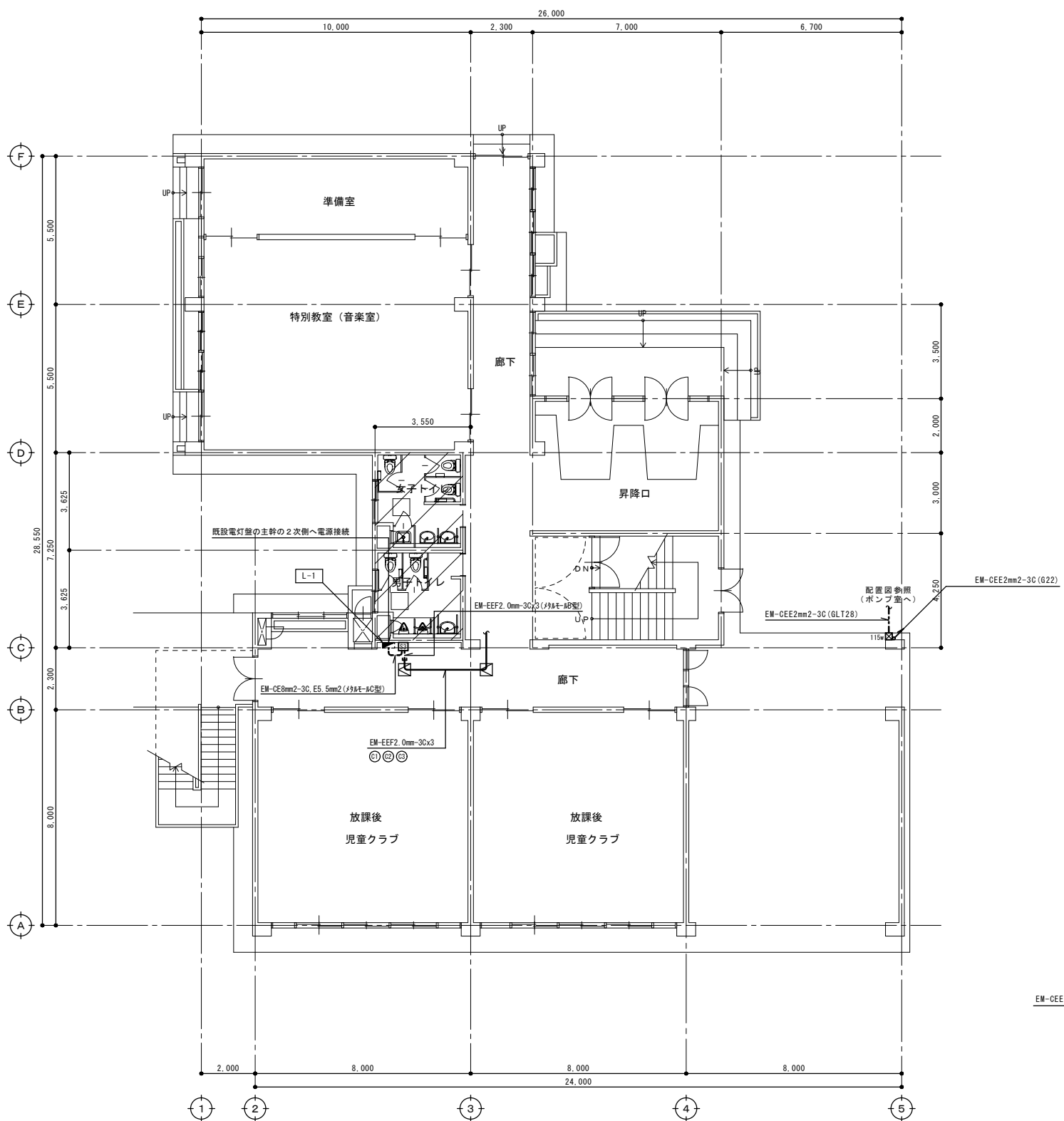


1～3階平面詳細図(改修後) S=1/30

- 改修項目及び特記事項
- トイレ改修工事の増設回路電源は、各階既設電灯盤の主幹の2次側へ各新設開閉器の電源を接続とする。
 - 高架水槽の電極及び露出配管は、撤去及び新設とする。
 - 新設補給水槽の電極及び配管はすべて新設とし、新設警報盤より補給水槽まで配管配線、接続を行う。
 - 新設消火水槽用の警報線を消火栓ポンプ制御盤より、新設警報盤までの配管配線、接続を行う。
 - 特記なき配管配線はすべて新設とする。

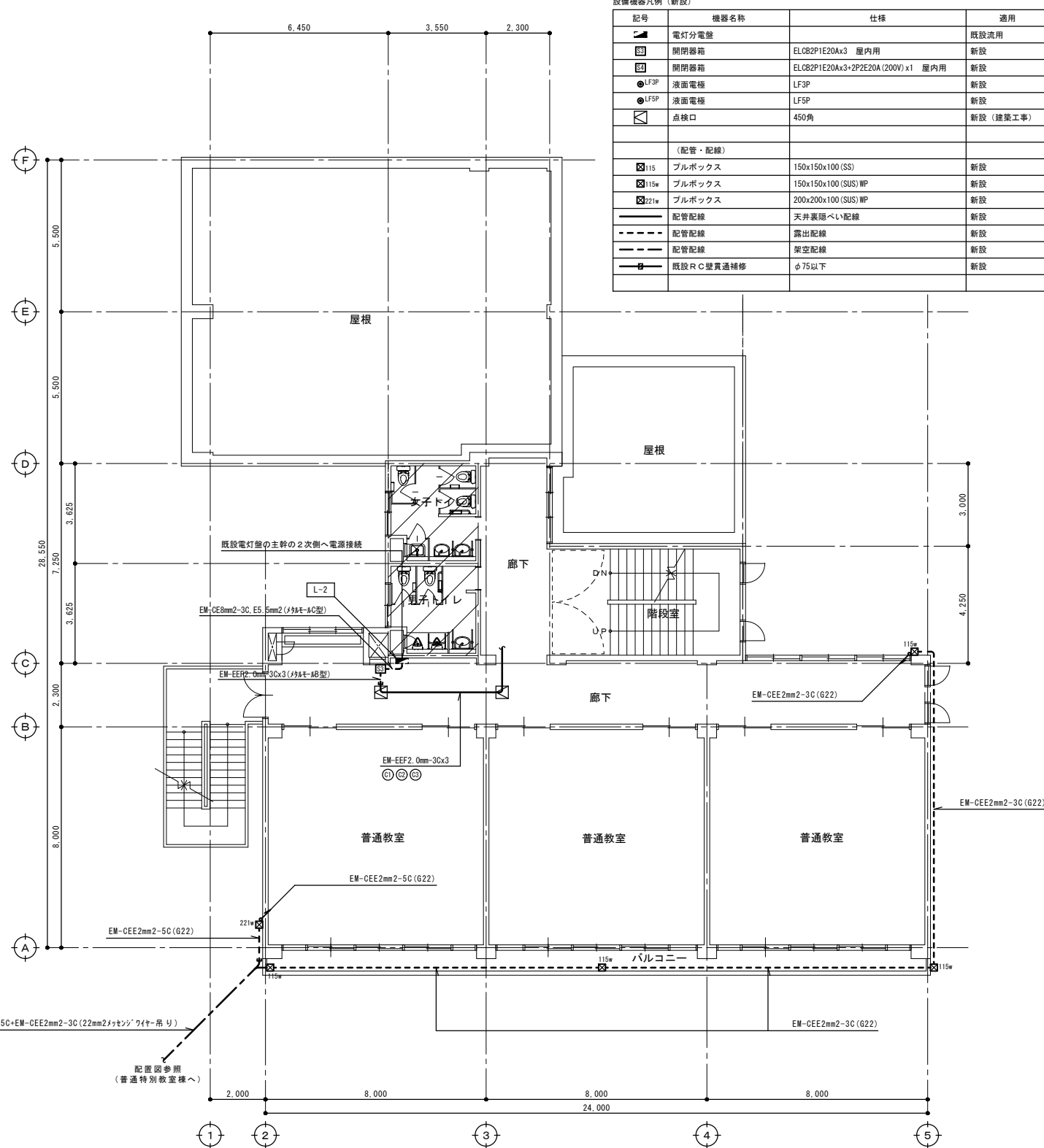
設備機器凡例 (新設)

記号	機器名称	仕様	適用
☐	電灯分電盤		既設流用
☐	開閉器箱	EL02P1E20A3 屋内用	新設
☐	開閉器箱	EL02P1E20A3+2P2E20A (200V) x1 屋内用	新設
●	液面電極	LF3P	新設
●	液面電極	LF5P	新設
☒	点検口	450角	新設 (建築工事)
(配管・配線)			
☐15	プルボックス	150x150x100 (SS)	新設
☐15w	プルボックス	150x150x100 (SUS) WP	新設
☐21w	プルボックス	200x200x100 (SUS) WP	新設
—	配管配線	天井裏隠ぺい配線	新設
- - -	配管配線	露出配線	新設
- - -	配管配線	架空配線	新設
—	既設 R C 壁貫通補修	φ75以下	新設



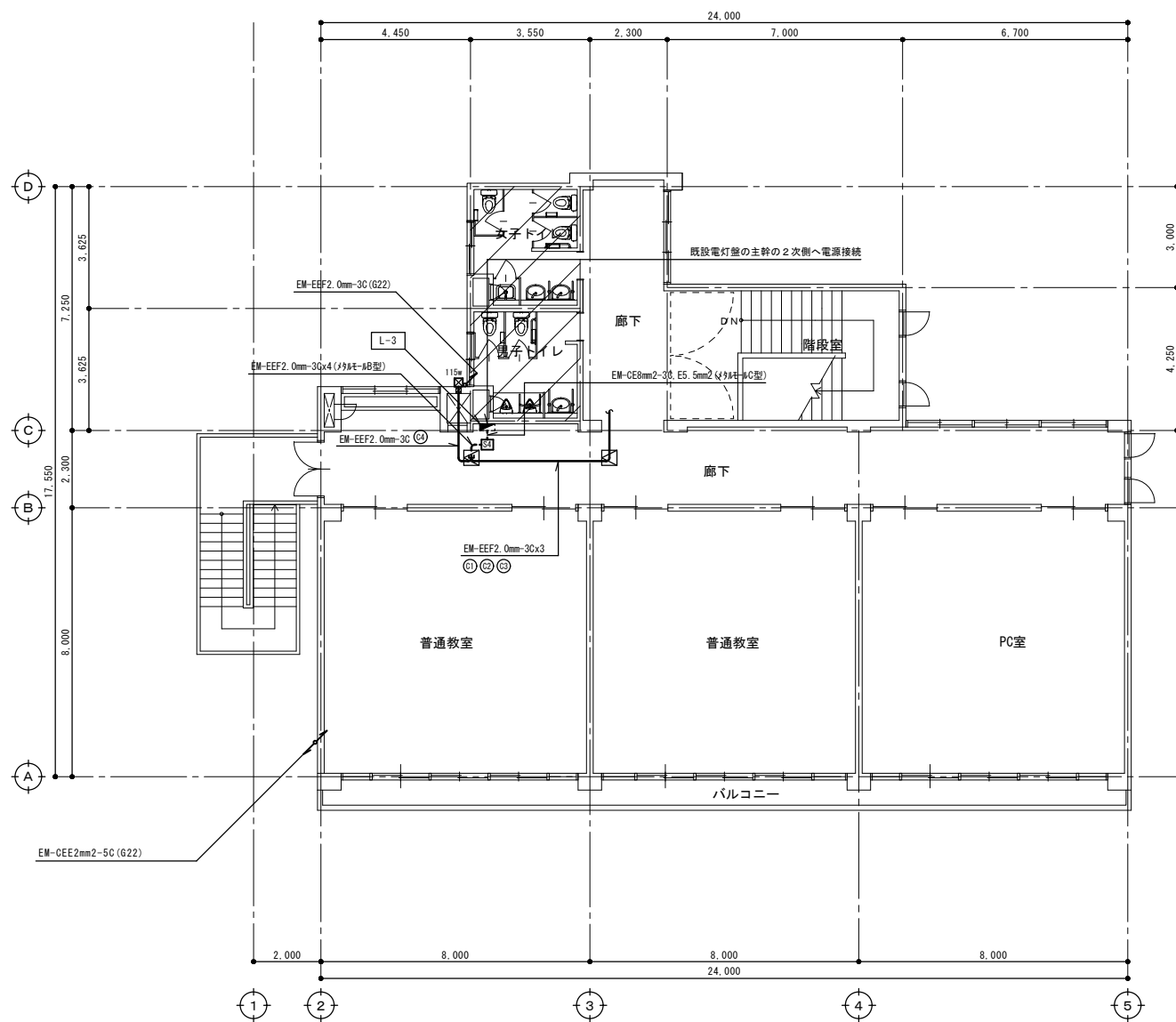
1階平面図 (改修後) S=1/100

凡例 : トイレ改修部分を表す。

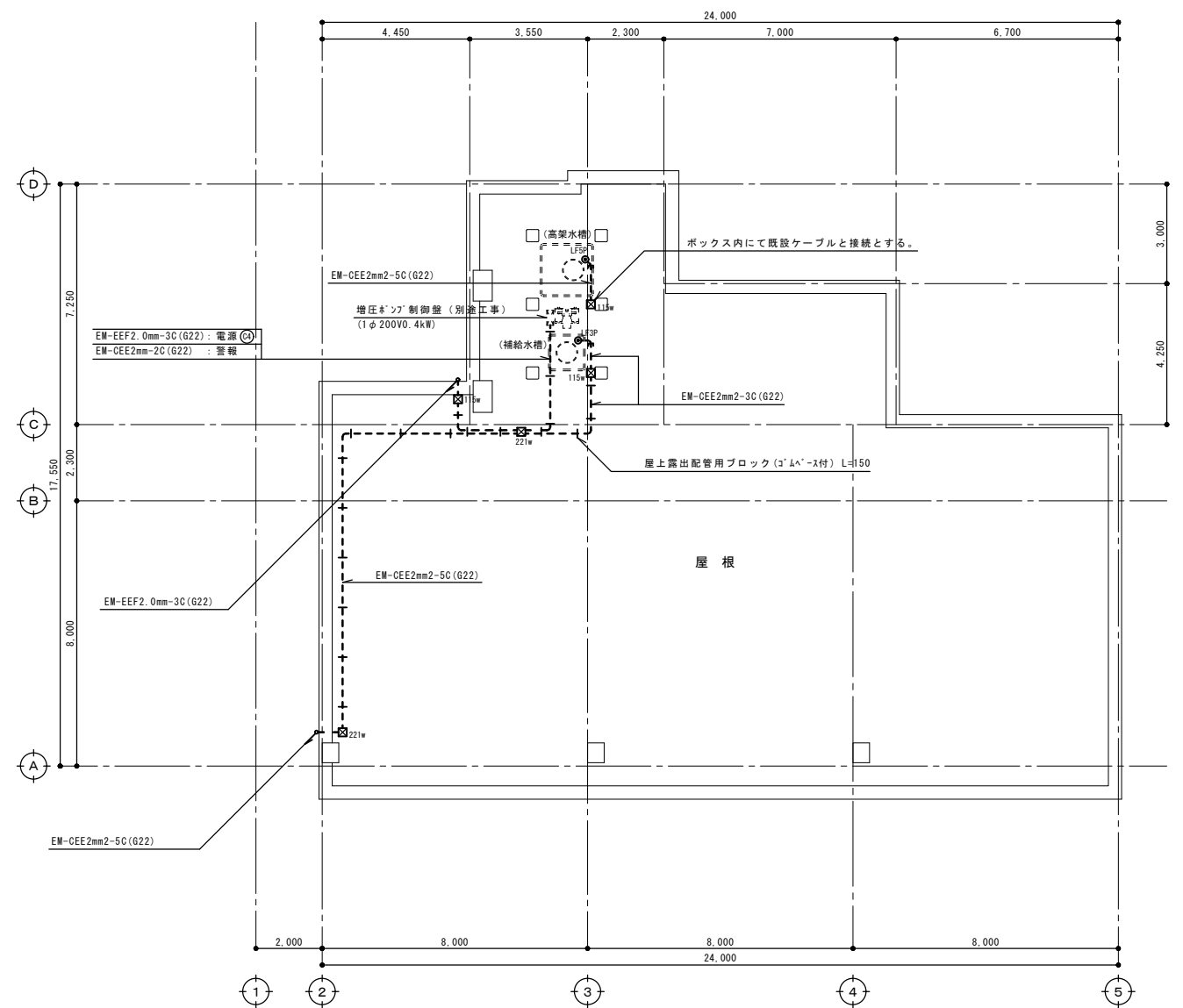


2階平面図 (改修後) S=1/100

凡例 : トイレ改修部分を表す。

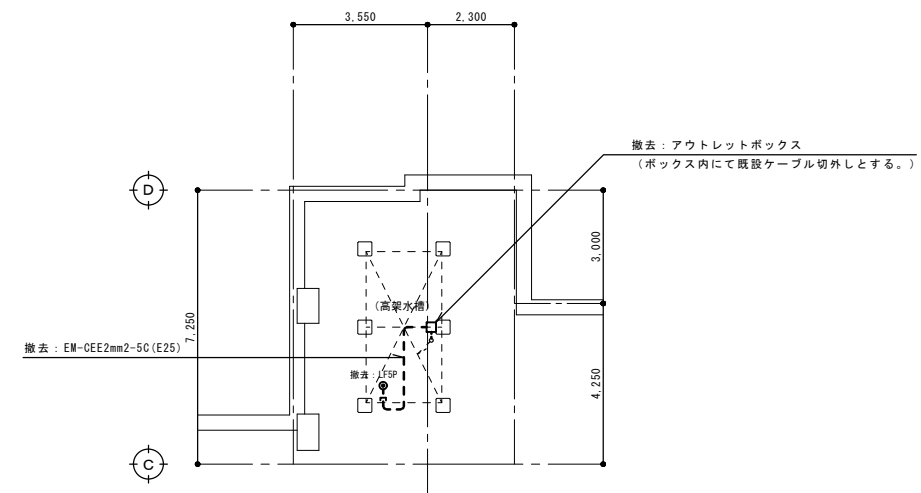


3階平面図 (改修後) S=1/100

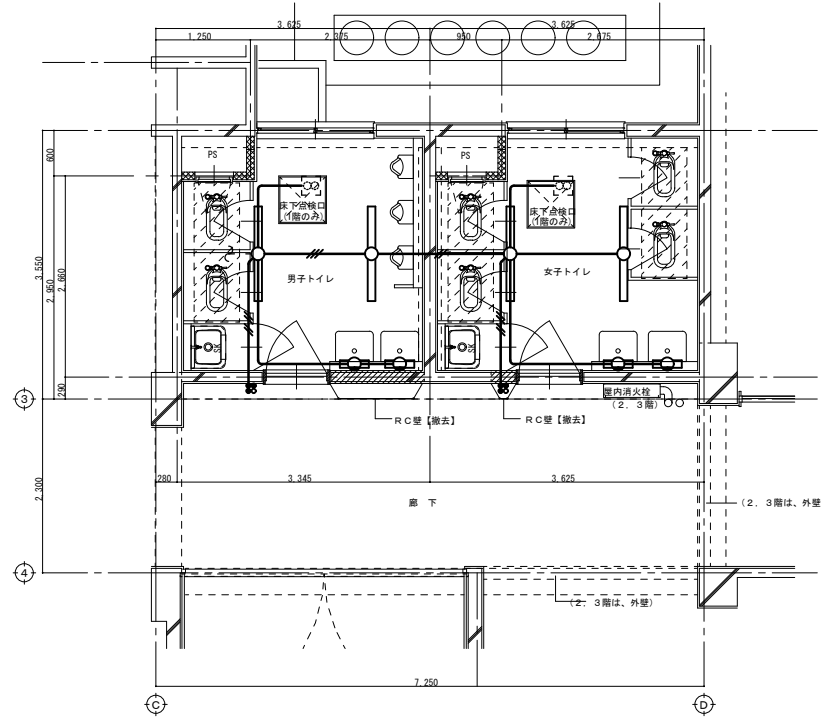
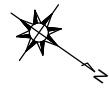


R階平面図 (改修後) S=1/100

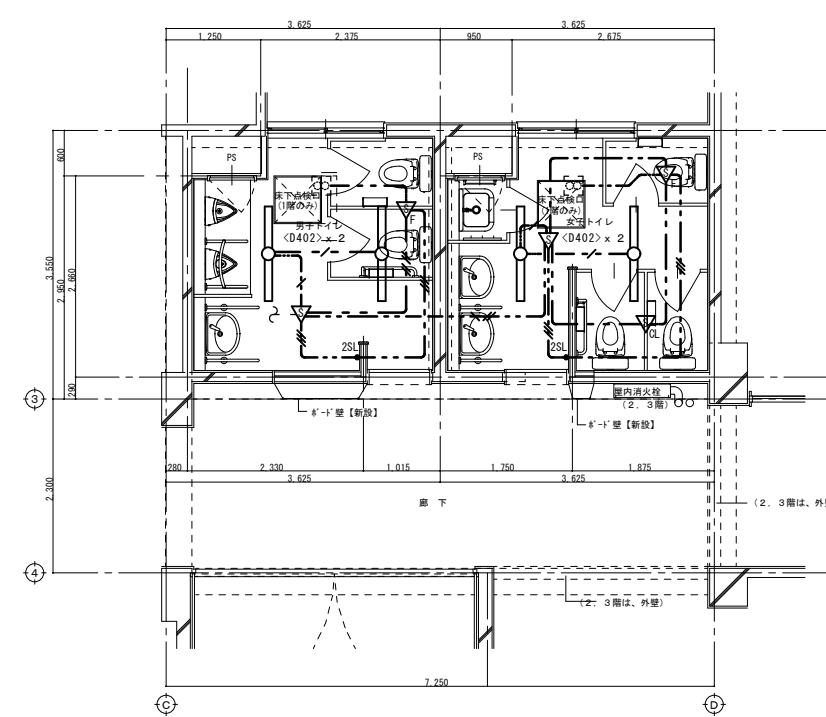
凡例 : トイレ改修部分を表す。



R階平面図 (改修前) S=1/100



1～3階平面詳細図(改修前) S=1/50



1～3階平面詳細図(改修後) S=1/50

改修項目及び特記事項

- 特記なき配線配管は下記による。(新設配線配管)
 - EM-EEF1.6mm-2C
 - EM-EEF1.6mm-3C
 - EM-EEF1.6mm-2Cx2
 - EM-EEF1.6mm-3C(1C-Earth)
 - EM-EEF2.0mm-3C(1C-Earth)
 但し、壁内立下げ部分及び貫通部分は電線管(PF管)にて保護とする。

2. 設備機器凡例(新設)

記号	機器名称	仕様	適用
(電灯・コンセント設備)			
▽	人感センサー 親機	AC100V 8A 広範囲検知型	新設
▽	人感センサー 子機	DC12V	新設
▽	人感センサー 子機	AC100V 1A 換気扇連動端子付	新設
▽	人感センサー 操作スイッチ	2回路用 金属プレート	新設
●	埋込コンセント	接地端子付2P15A×1 接地端子付 金属プレート	新設
○	フラッシュプレート	角形 ブラシ付	新設(1Fのみ)
⊗	換気扇	天井埋込型	設備工事
(配管・配線)			
□	天井点検口	□450	別途工事
□	アウトレットボックス		新設
□	アウトレットボックス		既設
—	配管配線	隠ぺい	新設
---	配管配線	露出	新設
---	配管配線	天井裏ケーブルころがし	新設
---	配管配線	立下げ部分のみメタルモールA配管	新設
---	既設RC壁貫通補修	φ75以下	新設
---	配管配線		既設

3. 特記事項

- 特記なき照明器具及びスイッチ、コンセント類はすべて新設とする。
- 照明及び換気扇は人感センサーにて点滅制御を行う。
- 各生体使用所は、暖房専用コンセントを新設とする。
- 人感センサー操作スイッチの取付高さは、児童が触れることがない高さ(FL+1.800)に取付とする。
- 各便所の人感センサーは、廊下側へは干渉しないよう検知範囲を調整とする。
-

改修項目及び特記事項

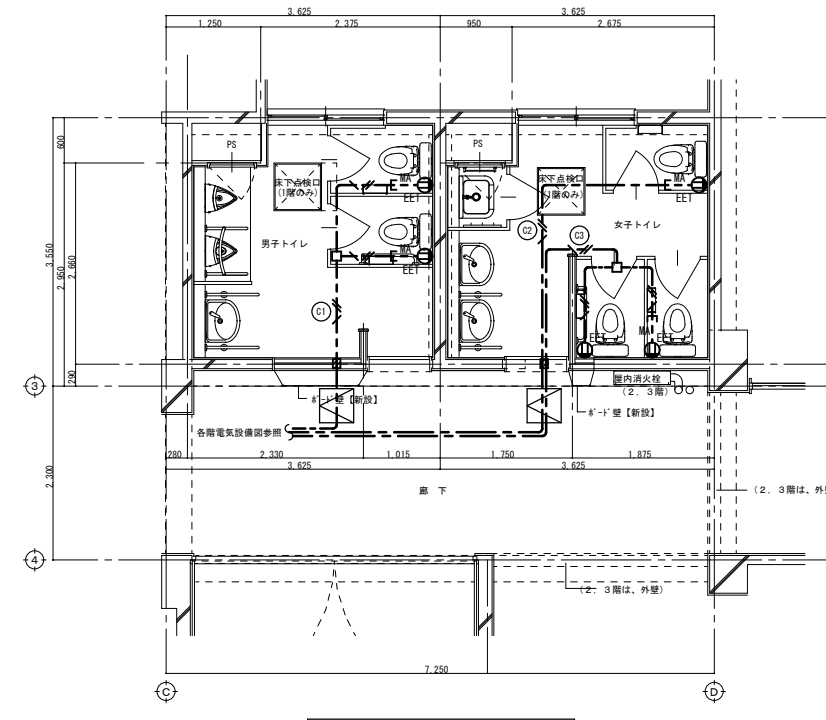
- 特記なき配線配管は下記による。(撤去配線配管)
 - IV1.6mmx2(E19)
 - IV1.6mmx3(E19)
 - IV1.6mmx4(E19)
 - IV2.0mmx2(E19)
 但し、コンクリート内配管は既設維持とする。

2. 設備機器凡例(撤去)

記号	機器名称	仕様	適用
○	照明器具	FLR40Wx1 逆富士型	撤去
○	照明器具	FL10Wx1 壁付型	撤去
●	埋込スイッチ	1P15Ax3-PLx1 金属プレート	撤去
⊗	換気扇	天井埋込型	設備工事
(配管・配線)			
---	配管配線	隠ぺい配管	撤去
---	配管配線		既設

3. 特記事項

- 照明器具及びスイッチ、コンセント類はすべて撤去とする。
- コンクリート埋込配管は残置とする。
- 撤去にあたっては改修図を十分参照のうえ撤去を行うこと。



1～3階平面詳細図(改修後) S=1/50

機械設備工事特記仕様書

I 工事概要

Table with 3 columns: No., 工事項名, 内容. Includes 1. 工事名称, 2. 工事場所, 3. 工期, 4. 建物概要.

Table with 6 columns: 建物名称, 構造, 階数, 延面積, 消防法施行令別表第一, 備考.

Table with 6 columns: 工種及び屋外, ①, ②, ③, ④, 屋外. Lists equipment types like 空気調和設備, 換気設備, etc.

- 6 指定部分 ※無 ・有 対象部分： 工期：令和 年 月 日
7 主任技術者又は監理技術者の専任期間
9 機械設備工事概要
1. 各トイレ換気扇・天井扇の撤去新設
2. 各トイレ衛生器具の撤去新設
3. 各トイレ給排水・通気管の撤去新設
4. 受水槽・高架水槽及びポンプの撤去新設
5. 普通教室棟の消火栓ポンプの撤去新設

Table with 2 columns: 埼玉県環境配慮方針の適用項目, 内容. Lists environmental measures like material selection, waste reduction, etc.

- 10 電気設備工事及び建築工事に含む場合
11 同時期発注の関連工事

II 工事仕様

- 1 共通仕様
(1) この工事は特記仕様書、図面によるほか、春日部市機械設備工事特別共通仕様書
(2) 電気設備工事及び建築工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び仕様書等
(3) 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時ににおいて最新のものを適用する。
2 特記仕様
(1) 章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものがなければ、※印を適用し、・印のものは適用しない。
○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。

章 項目 特記事項

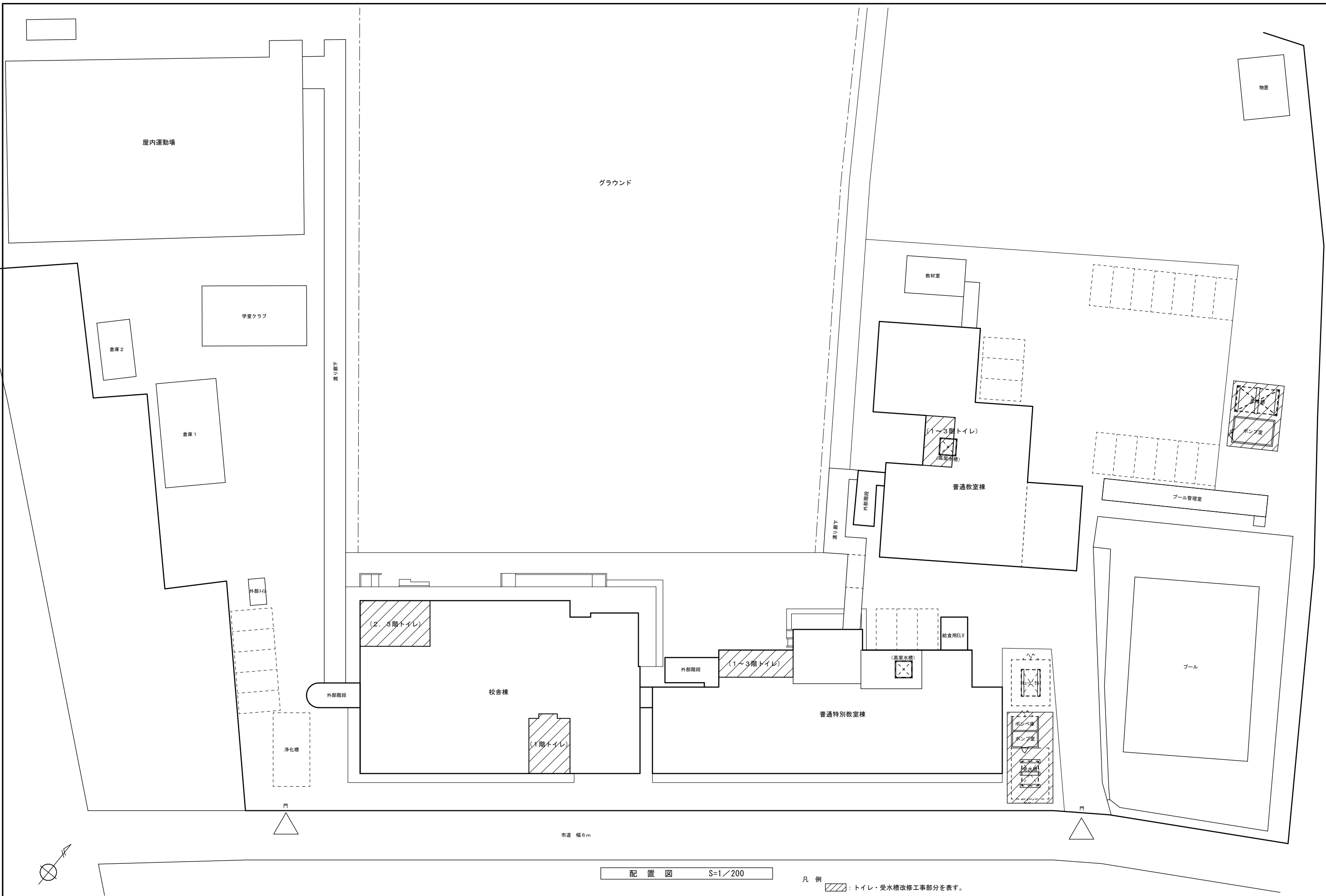
- ① 機材等
2 電気保安技術者
③ 施工条件
4 技能士の適用
⑤ 機材の検査及び試験
⑥ 監督員事務所
⑦ 官公署その他への届出手続等
⑧ 工用電力・水等
⑨ 工用仮設物
⑩ 足場・さんばし類
⑪ 建設発生土の処理
⑫ 埋め戻し土・盛土
⑬ 再生砂、再生砕石、再生アスコン使用
⑭ 発生材の処理等
⑮ 容量等の表示
⑯ 配管
⑰ 耐震施工
⑱ あと施工アンカー

⑱ 防露保温工事

- 標準仕様書第2編によるほか下記による。
空気調和設備工事の保温の種類
ダクトの保温の種類
給排水衛生設備工事の保温の種類
給湯管
排水及び通気管
給湯管
排水及び通気管
(注)1. 防露管は、断熱材被覆鋼管を使用し、外装は下記による。
2. 施工種別日の材料及び施工順序
(注)1. 引渡しを要するもの以外は構外に搬出し、適切処理する。
(2) 買取処分をするもの
(3) 再生資源化を図るもの
(4) 特別管理産業廃棄物
設計用水平震度
(注)1. 機器等の能力、容量等は表示された数値以上とする。
(2) 電動機出力、燃料消費量及び圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。
(1) 地中埋設配管(排水管を除く)
(2) 地中埋設機(コンクリート製)
(3) 埋設表示テープ
設備機器の固定等は、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」
設計用水平震度
(注)1. 100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。
(2) 金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。
接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。
(原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。)
あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。

- ⑳ はつり及びあと施工アンカー打設
㉑ 管の埋設深さ
㉒ 既設管分岐・接続
㉓ 絶縁継手の設置
26 天井上げ区分
㉑ 他工事との取合区分
28 施工図等の取扱い
29 保険
30 配管識別
31 墜落制止用器具(フルハーネス型)
32 施工計画書
33 誘導電動機
34 その他
㉑ 共通事項
㉒ 改修部分の足場
㉓ 既存部分養生・既存家具等養生
4 備品等の移動
5 仮設間仕切り
6 撤去後機材の扱い
7 支持金物の再利用
8 あと施工アンカーの種類
9 フロン回収
10 総合調整
11 既設基礎類の解体はつり
12 アスベスト事前調査結果の報告

Table with multiple columns: ⑬ その他, 1 設計温湿度, 2 総合試運転調整, 3 煙道, 4 煙突, 5 長方形ダクト, 6 円形ダクト, 7 風量測定口, 8 チャンパー, 9 吹出口及び吸込口ボックス, 10 ダンパー, 11 配管材料, 12 弁類, 13 温度計, 14 圧力計, 15 瞬間流量計, 16 油面制御装置, 17 冷却塔, 18 空気熱源ヒートポンプ空調機, 1 長方形ダクト, 2 円形ダクト, 3 風量測定口, 4 チャンパー, 5 ダンパー, 6 多湿箇所の排気ダクト, 7 保温, 8 試運転調整, 1 ダクト, 2 排煙口の形式, 3 排煙口手動開放装置, 4 排煙風量測定, 1 中央監視制御装置, 2 構成・機能, 3 電気計装用機材, ① 小便器用節水装置, ② バリアフリー対応, ③ 衛生器具付属水栓, ④ 自動水栓類の電源, ⑤ 暖房便座, ⑥ 大便器洗浄弁・洗浄用タンク, 7 大便器耐火カバー, ⑧ 掃除流し, ⑨ 排水器具用L継手, 10 標記板, 11 水せつけん入れ, 12 据付装置, ⑬ その他, ① 配管材料, ② 一体形タンク, ③ 水栓, 4 量水器, 5 量水器, ⑥ 弁類, 7 水栓柱, 8 建物導入部配管, 9 検針方法, 10 水道利用加入金, 11 本管取出し, ① 配管材料, ② 洗面器等の排水管, ③ 満水試験継手, ④ 樹の適用, ① 配管材料, 2 絶縁フランジ, 3 弁類, 4 ガス瞬間湯沸器, 5 電気給湯器, ① 配管材料, 2 建物導入部配管, 1 配管材料, 2 ガス漏れ警報連断装置, 3 液化石油ガスの供給種, 1 厨房機器の固定, 2 シンク用水栓, 3 安全装置の機能の適用, 舗装版切断時に発生する濁水処理に係る特記仕様書, 第1条 この特記仕様書は、春日部市機械設備工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水(以下「濁水」という。)の処理に關し必要な事項を定めるものである。 第2条 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 ・種類及び処理量 汚泥(油分を含む汚泥) m3 ・中間処理施設 市地内(株) ・処理方法 ・中間処理後、最終処分場に搬入(処理に焼却又は熔融含まず) ・中間処理後、最終処分場又は再資源化(処理に焼却又は熔融を含む) 第3条 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合は、事前に監督員と協議するものとする。 第4条 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥(油分を含む汚泥)として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。 2 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。 3 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 第5条 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。 2 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。 3 この特記仕様書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。



--	--	--	--	--	--

春日部市 学校教育課					
---------------	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--

日付	工事名称	図面No.
	川辺小学校校舎トイレ改修工事	M-03
縮尺	図面名称	
A1: 1/200 A3: 1/400	配置図	

--	--	--

撤去衛生器具表

器具名	型式	設置場所								合計
		校舎棟								
		1階職員女子トイレ	1階職員男子トイレ	1階車椅子トイレ	2階女子トイレ	2階男子トイレ	3階女子トイレ	3階男子トイレ	3階車椅子トイレ	
和風大便器	フラッシュバルブ	1	1		1	1		1	1	6組
洋風大便器	フラッシュバルブ	2	1		4	1		4	1	13組
車椅子用便器	フラッシュバルブ			1				1		3組
紙巻器		3	2	1	5	2	1	5	2	22個
床ストール小便器	フラッシュバルブ		4			4			4	12組
洗面器	立水栓×1	2	2	1	4	4	1	4	4	23組
掃除用流し			1		1	1		1	1	5組
化粧鏡	350×450	2	2	1	4	4	1	4	4	23枚
便器用手すり	L形	2	1	1	4	1	1	4	1	16個
	段板上げ形			1			1			3個
	門形	1	1		1	1		1	1	6個
小便器用手すり			1			1			1	3個
洗面器用手すり	P形			2			2		2	6枚

※注記
1. 和風便器撤去後の開口部閉塞は建築工事とする。

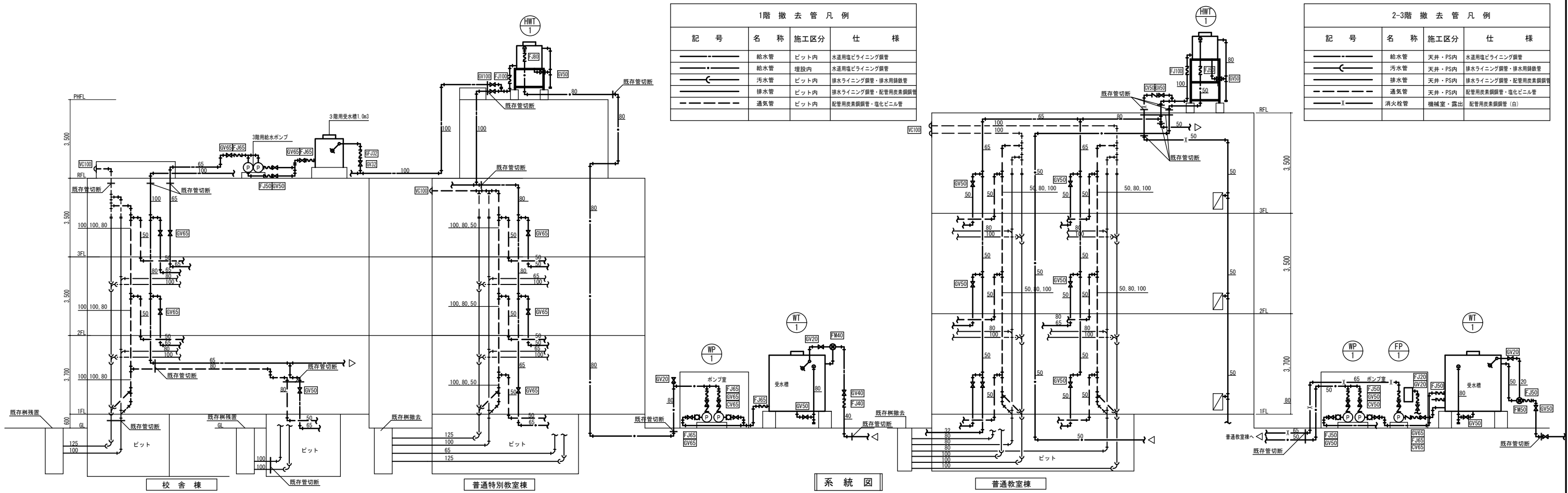
撤去機器表

機器名	仕様	設置場所	台数	備考
WT-1 受水槽	F R P製パネル組み立て形 3.0×2.0×2.5H 15.0M3 平架台、付属品共	普通特別教室棟屋外	1基	基礎は既存のまま
HWT-1 高架水槽	F R P製パネル組み立て形 2.0×2.0×2.0H 8.0M3 鉄骨架台1.5M、付属品共	普通特別教室棟PH階	1基	基礎は既存のまま
WP-1 排水ポンプ	横型形多段ポンプ 65A×3.7KW 付属品共	普通特別教室棟ポンプ室	2台	基礎は既存のまま
WT-1 受水槽	F R P製一体形 5.0×3.0×2.0H 30.0M3 平架台、付属品共	普通教室棟屋外	1基	基礎は既存のまま
HWT-1 高架水槽	F R P製一体形 3.0×2.0×1.5H 9.0M3 鉄骨架台3.0M、付属品共	普通教室棟R階	1基	基礎は既存のまま
WP-1 排水ポンプ	横型形多段ポンプ 65A×3.7KW 付属品共	普通教室棟ポンプ室	2台	基礎は既存のまま
FP-1 消火栓ポンプ	ユニット形ポンプ 65A×5.5KW 付属品共	普通教室棟ポンプ室	1台	基礎は既存のまま
天井扇	1.0φ バイブフード、バンドキャップ共	校舎棟車椅子トイレ：1～3階	3台	
	1.6φ バイブフード、バンドキャップ共	校舎棟トイレ：1～3階	6台	
		普通特別教室棟トイレ：1～3階	6台	
		普通教室棟トイレ：1～3階	6台	

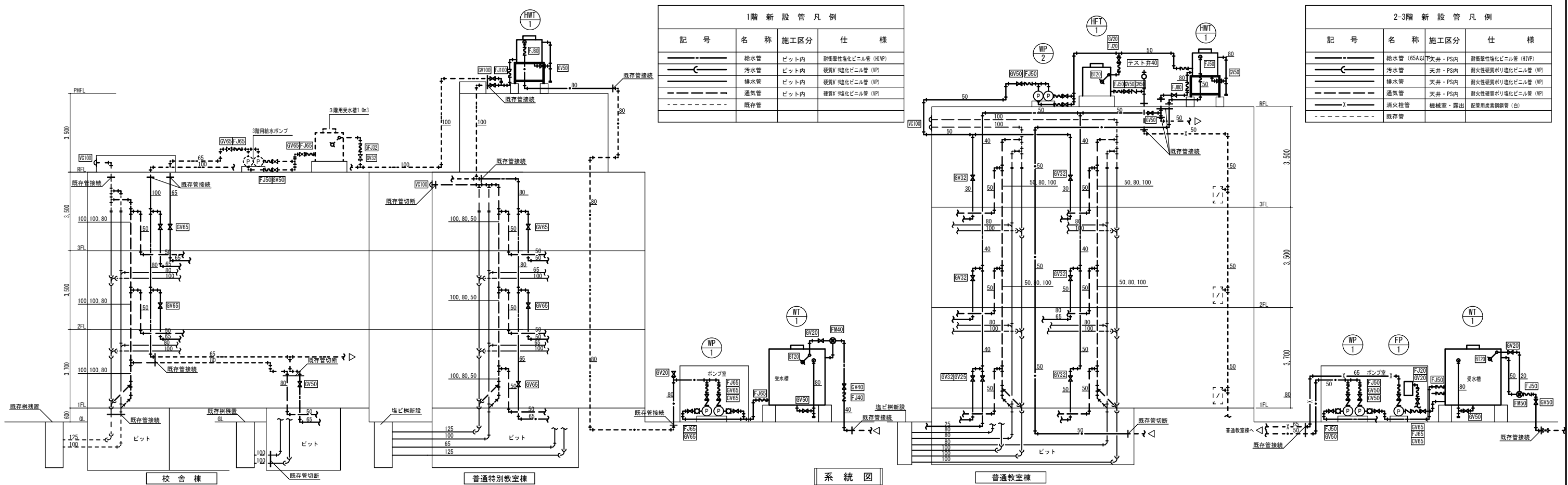
設置場所								合計
普通特別教室棟								
1階女子トイレ	1階男子トイレ	2階女子トイレ	2階男子トイレ	3階女子トイレ	3階男子トイレ	3階車椅子トイレ		
3	2	3	2	3	2		15組	
1	1	1	1	1	1		6組	
4	3	4	3	4	3		21個	
	3		3		3		9組	
2	1	2	1	2	1		9組	
1		1		1			3組	
2	1	2	1	2	1		9枚	

設置場所								合計
普通教室棟								
1階女子トイレ	1階男子トイレ	2階女子トイレ	2階男子トイレ	3階女子トイレ	3階男子トイレ	3階車椅子トイレ		
4	2	4	2	4	2		18組	
4	2	4	2	4	2		18組	
	3		3		3		9組	
2	2	2	2	2	2		12組	
1	1	1	1	1	1		6組	
2	2	2	2	2	2		12枚	

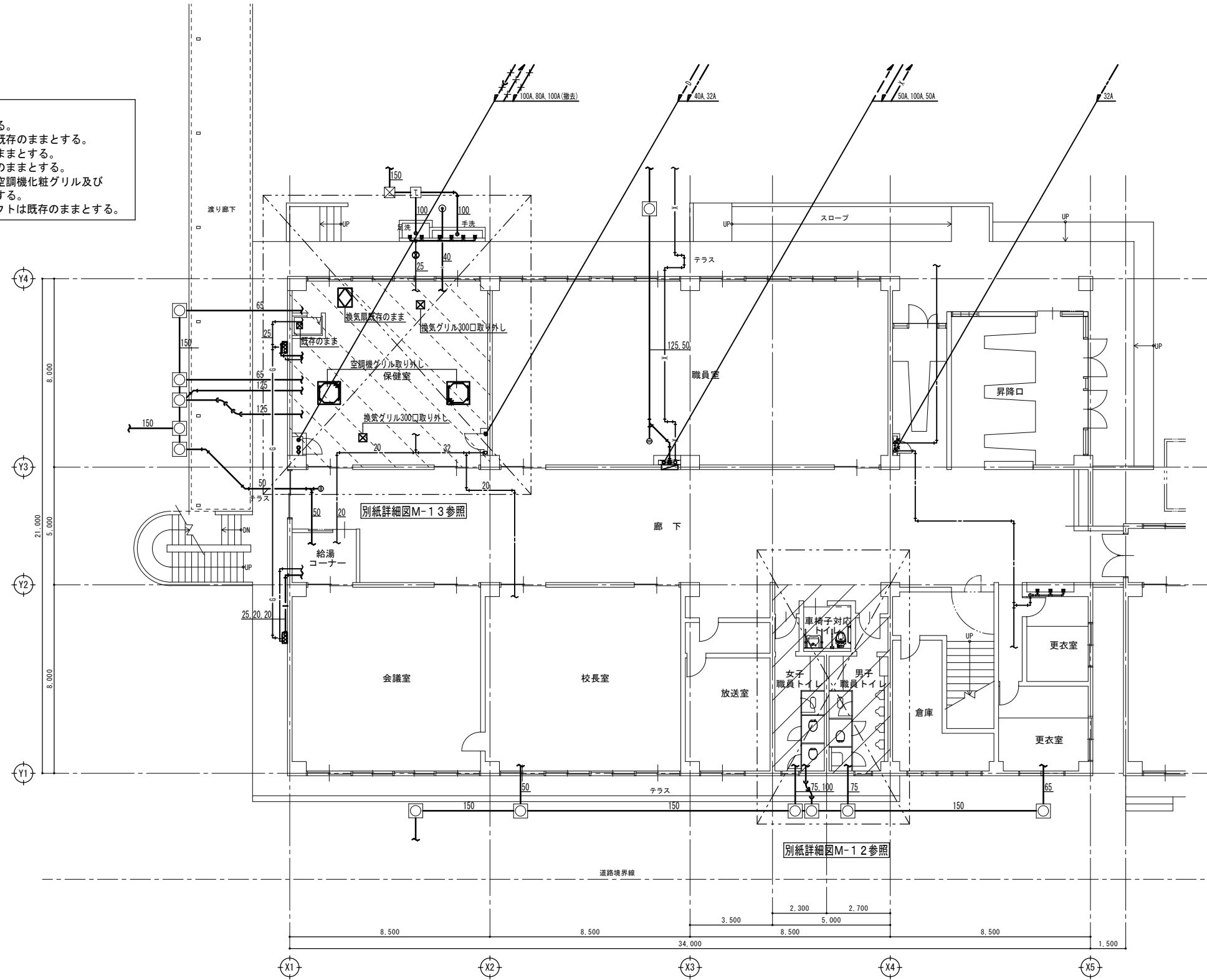
改修前



改修後



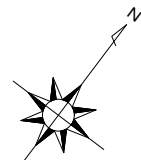
- ※1階保健室注記
1. PS内立管（保温共）を撤去する。
 2. ビット内排水管は塩ビ管のため既存のままとする。
 3. 地中埋設配管及び樹は既存のままとする。
 4. トイレ改修以外の配管は既存のままとする。
 5. 天井解体（建築工事）に伴い空調機化粧グリル及び換気グリルを撤去（再使用）する。
 6. 同上工事に伴う冷媒管及びダクトは既存のままとする。



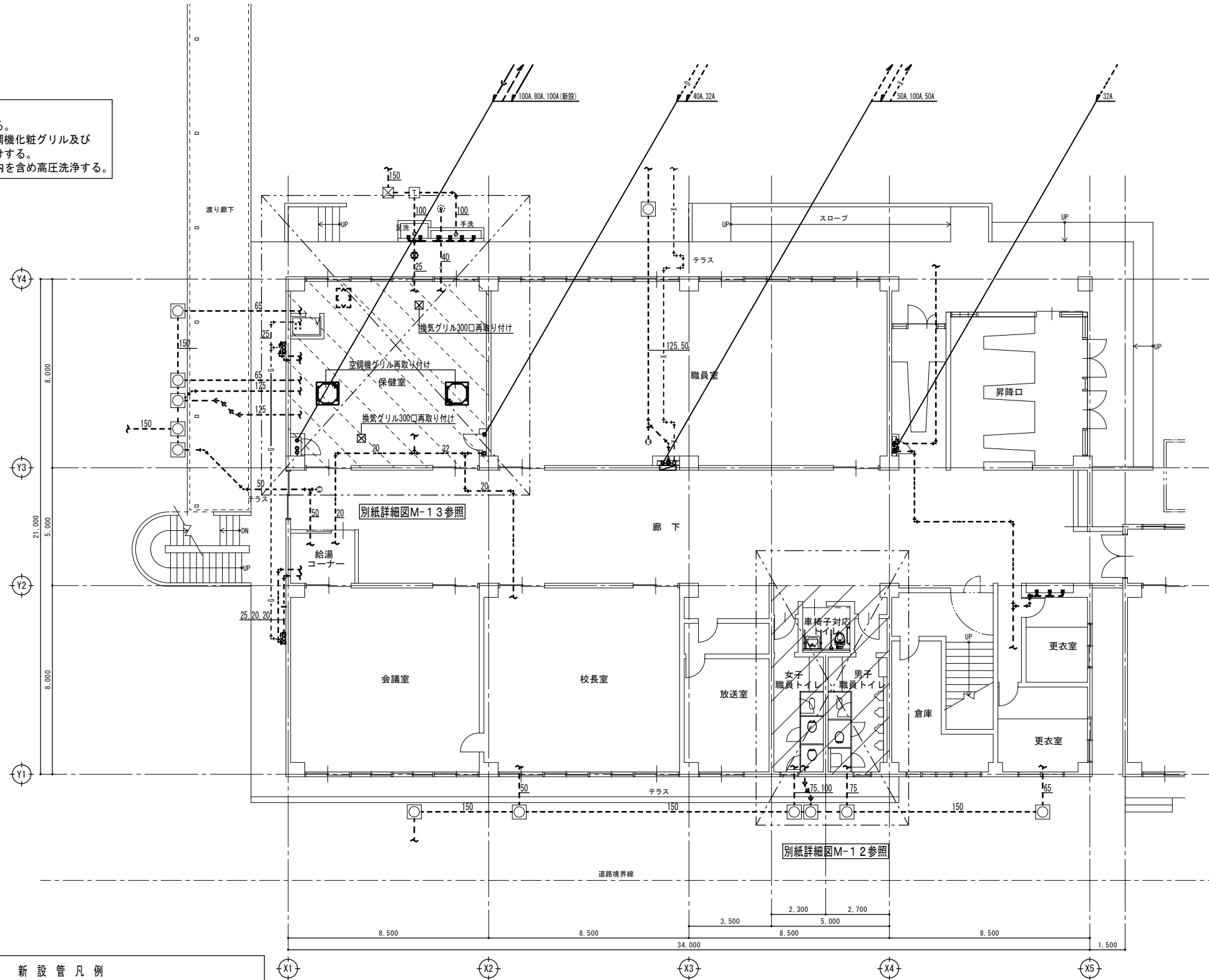
既存撤去管凡例			
記号	名称	施工区分	仕様
—●—●—●—	給水管	PS内	水道用塩ビライニング鋼管
—●—●—●—	汚水管	PS内	排水用塩ビライニング鋼管
—●—●—●—	排水管	PS内	排水用塩ビライニング鋼管
—●—●—●—	通気管	PS内	配管用炭素鋼管

1階平面図（改修前） S=1/100

- 凡例
- : トイレ改修部分を表す。
 - : 天井・一部壁改修部分を表す。



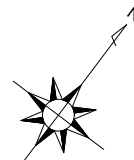
※1階保健室注記
 1. PS内立管（保温共）を新設する。
 2. 天井改修（建築工事）後に空調機化粧グリル及び換気グリルを清掃後再取り付けする。
 3. 屋外排水管は塩ビ管のため樹内を含め高圧洗浄する。



新設管凡例			
記号	名称	施工区分	仕様
	給水管	PS内	耐衝撃性硬質塩ビ管 (HIVP)
	污水管	PS内	耐火性硬質塩ビ化ビニル管 (VP)
	排水管	PS内	耐火性硬質塩ビ化ビニル管 (VP)
	通気管	PS内	耐火性硬質塩ビ化ビニル管 (VP)
	既存管		

1階平面図（改修後） S=1/100

凡例
 : トイレ改修部分を表す。
 : 天井・一部壁改修部分を表す。

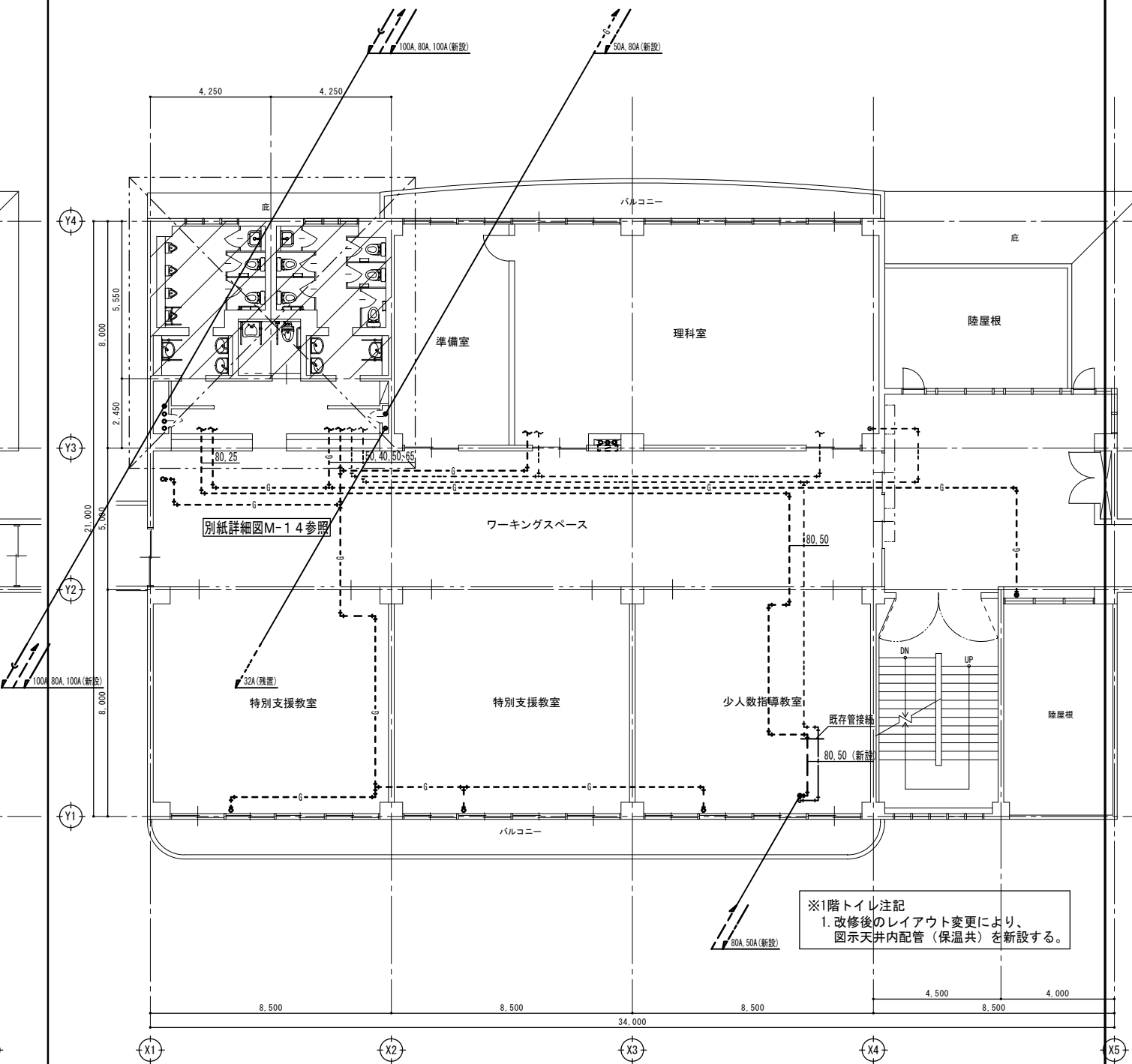
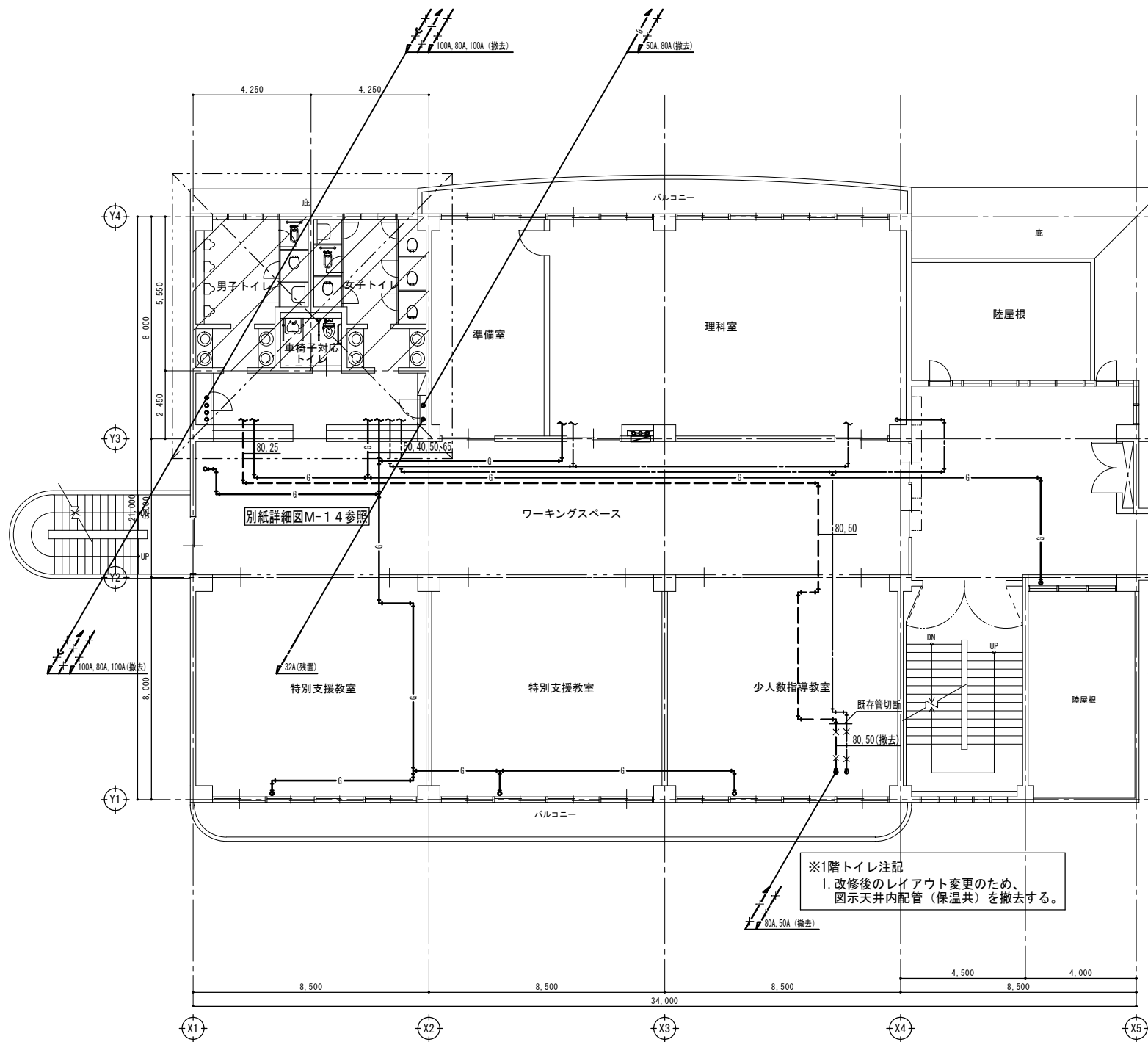


既存撤去管凡例

記号	名称	施工区分	仕様
---x---	給水管	PS内	水道用塩ビライニング鋼管
---x---	汚水管	PS内	排水用塩ビライニング鋼管
---x---	排水管	PS内	排水用塩ビライニング鋼管
---x---	通気管	PS内	配管用炭素鋼鋼管

新設管凡例

記号	名称	施工区分	仕様
---	給水管	PS内	耐衝撃性硬質塩ビ管 (HIVP)
---	汚水管	PS内	耐火性硬質塩ビ管 (VP)
---	排水管	PS内	耐火性硬質塩ビ管 (VP)
---	通気管	PS内	耐火性硬質塩ビ管 (VP)
---	既存管		



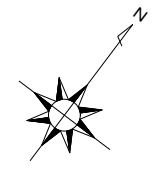
※1階トイレ注記
1. 改修後のレイアウト変更のため、
図示天井内配管 (保温共) を撤去する。

※1階トイレ注記
1. 改修後のレイアウト変更により、
図示天井内配管 (保温共) を新設する。

2階平面図 (改修前) S=1/100

2階平面図 (改修後) S=1/100

凡例
// : トイレ改修部分を表す。



改修前

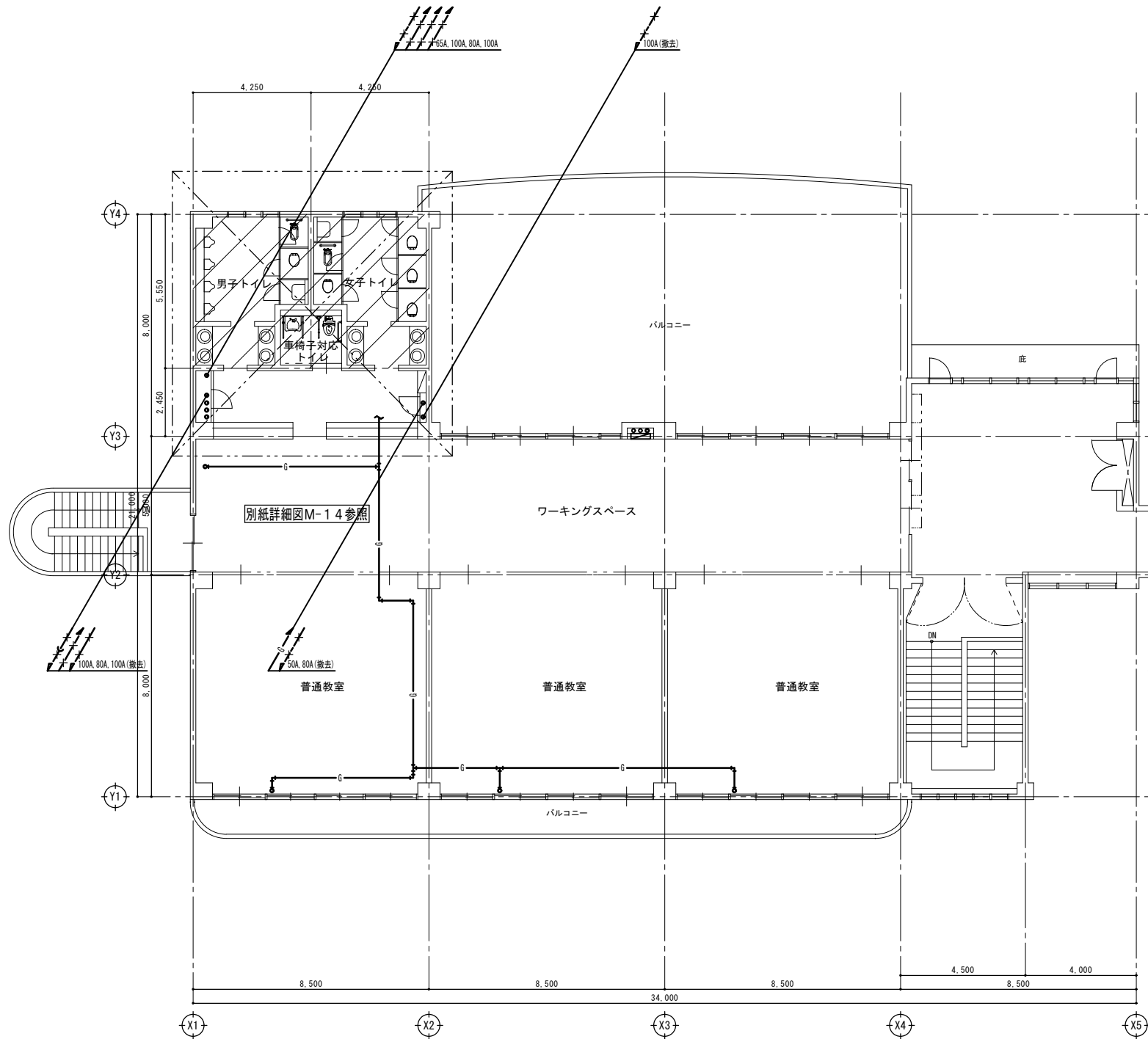
改修後

既存撤去管凡例

記号	名称	施工区分	仕様
---x---	給水管	PS内	水道用塩ビライニング鋼管
---x---	汚水管	PS内	排水用塩ビライニング鋼管
---x---	排水管	PS内	排水用塩ビライニング鋼管
---x---	通気管	PS内	配管用炭素鋼鋼管

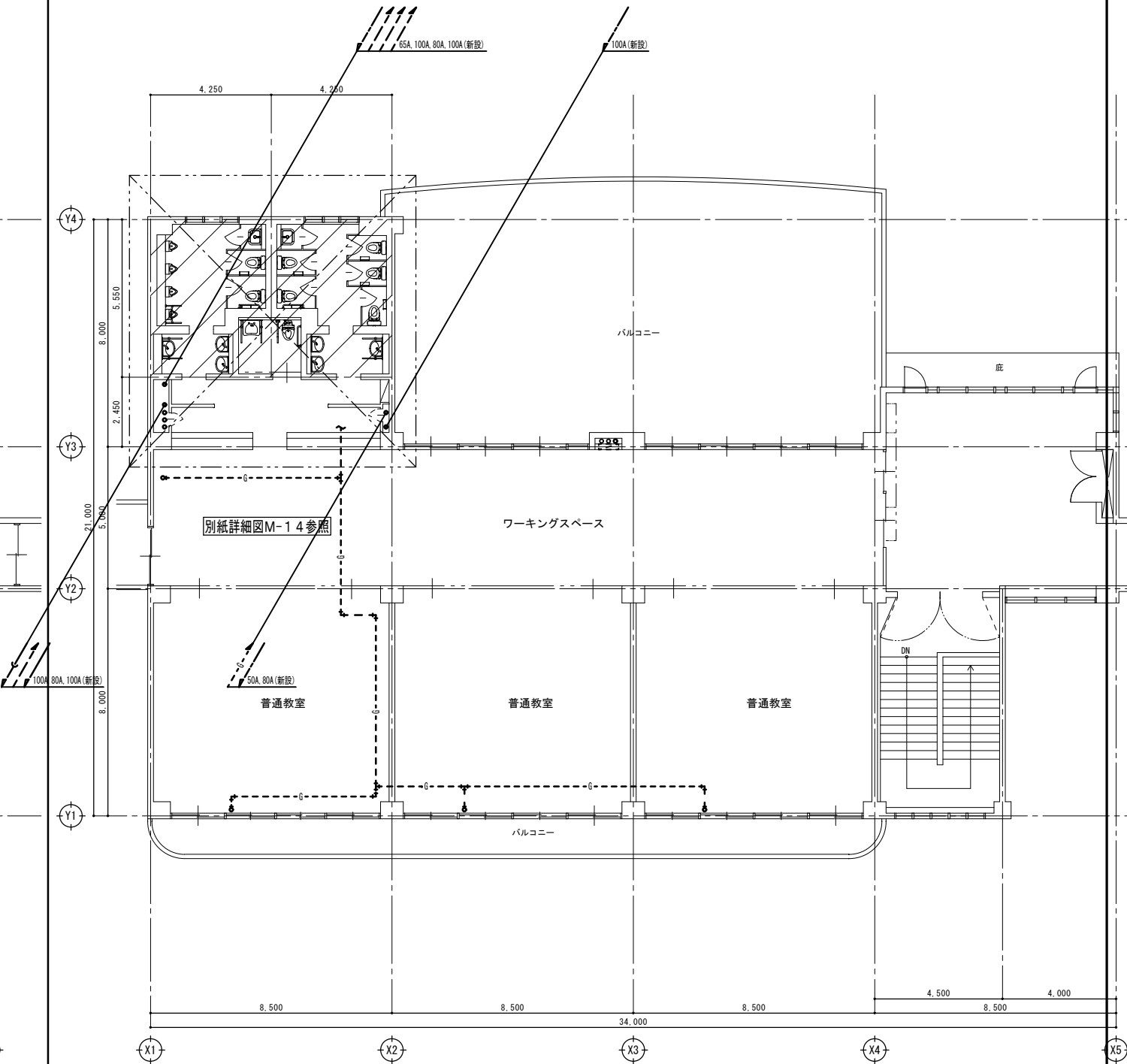
新設管凡例

記号	名称	施工区分	仕様
---	給水管	PS内	耐衝撃性硬質塩ビ管 (HIVP)
---	汚水管	PS内	耐火性硬質塩ビ管 (VP)
---	排水管	PS内	耐火性硬質塩ビ管 (VP)
---	通気管	PS内	耐火性硬質塩ビ管 (VP)
---	既存管		



3階平面図 (改修前) S=1/100

凡例
 : トイレ改修部分を表す。



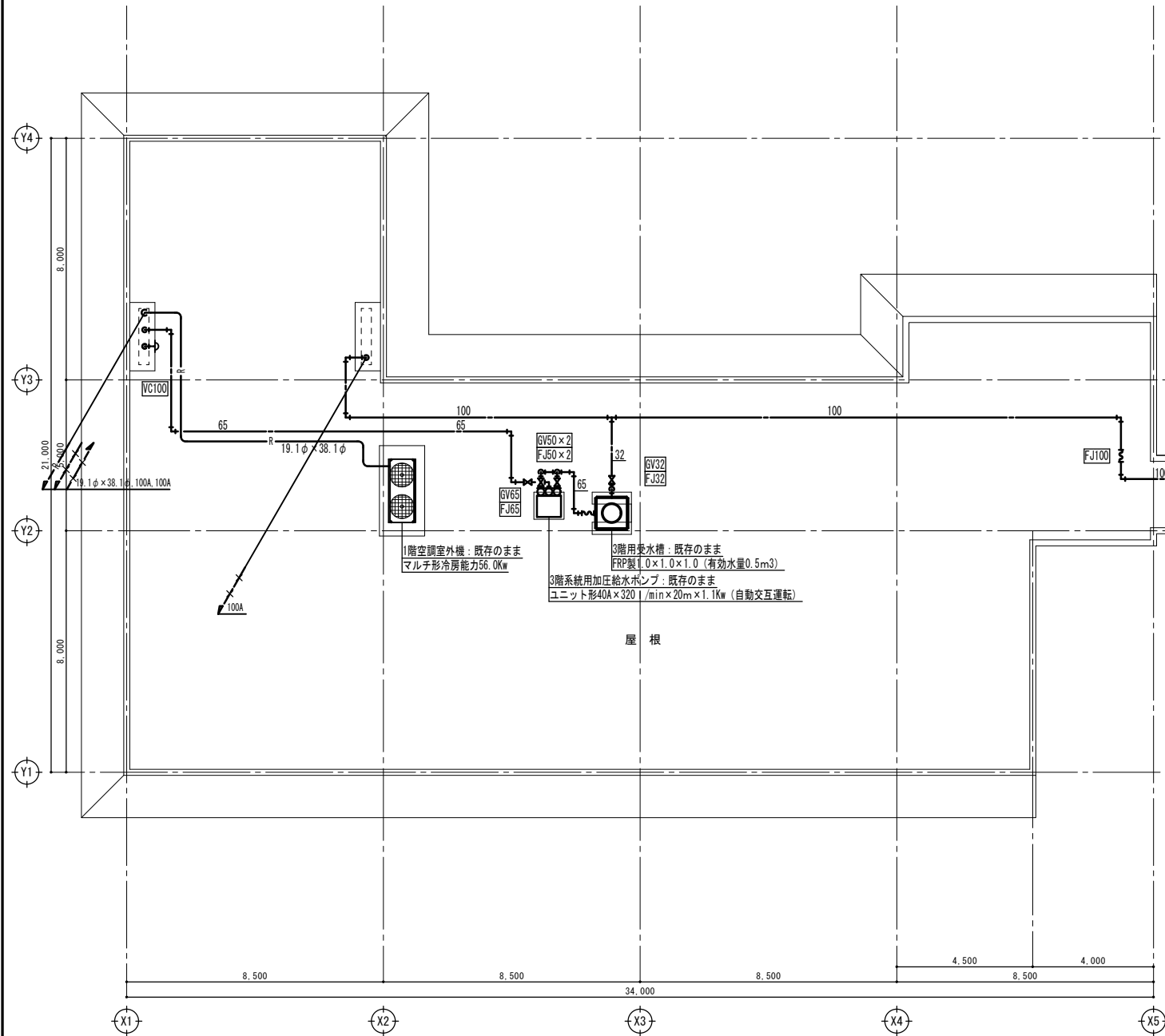
3階平面図 (改修後) S=1/100

既存撤去管凡例			
記号	名称	施工区分	仕様
	給水管	PS内	水道用塩ビライニング鋼管
	通気管	PS内	配管用炭素鋼管

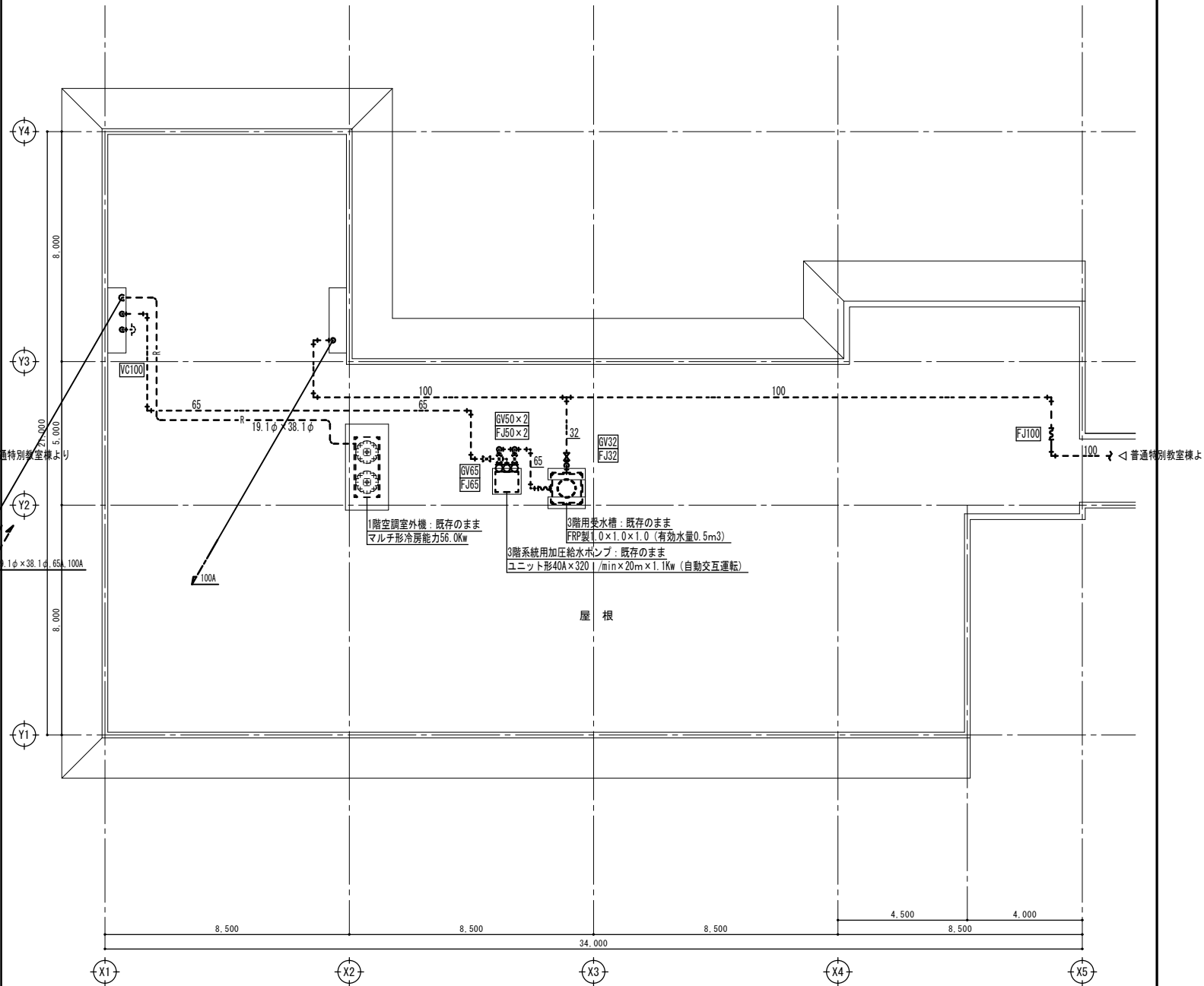
※R階注記
 1. PS内給水立管（保温共）及び通気立管を撤去する。
 2. 受水槽・加圧給水ポンプ・空調室外機は配管共既存のままとする。

新設管凡例			
記号	名称	施工区分	仕様
	給水管	PS内	耐衝撃性硬質塩ビ管 (HIVP)
	通気管	PS内	耐火性硬質塩ビ管 (VP)
	既存管		

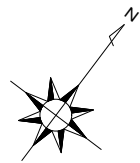
※R階注記
 1. PS内給水立管及び通気立管を新設する。
 2. 受水槽・加圧給水ポンプ・空調室外機は配管共既存のままとする。

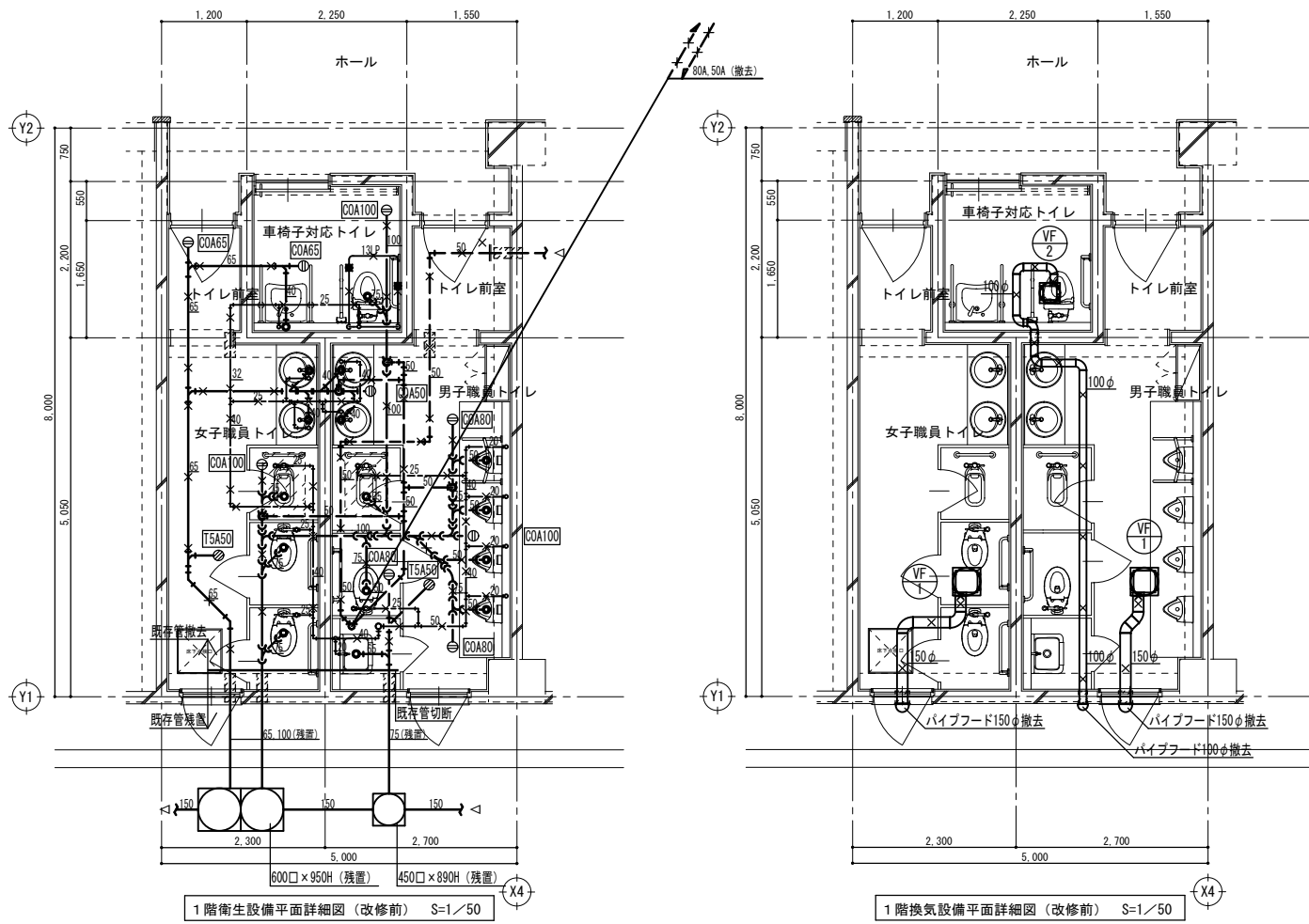


R階平面図 (改修前) S=1/100



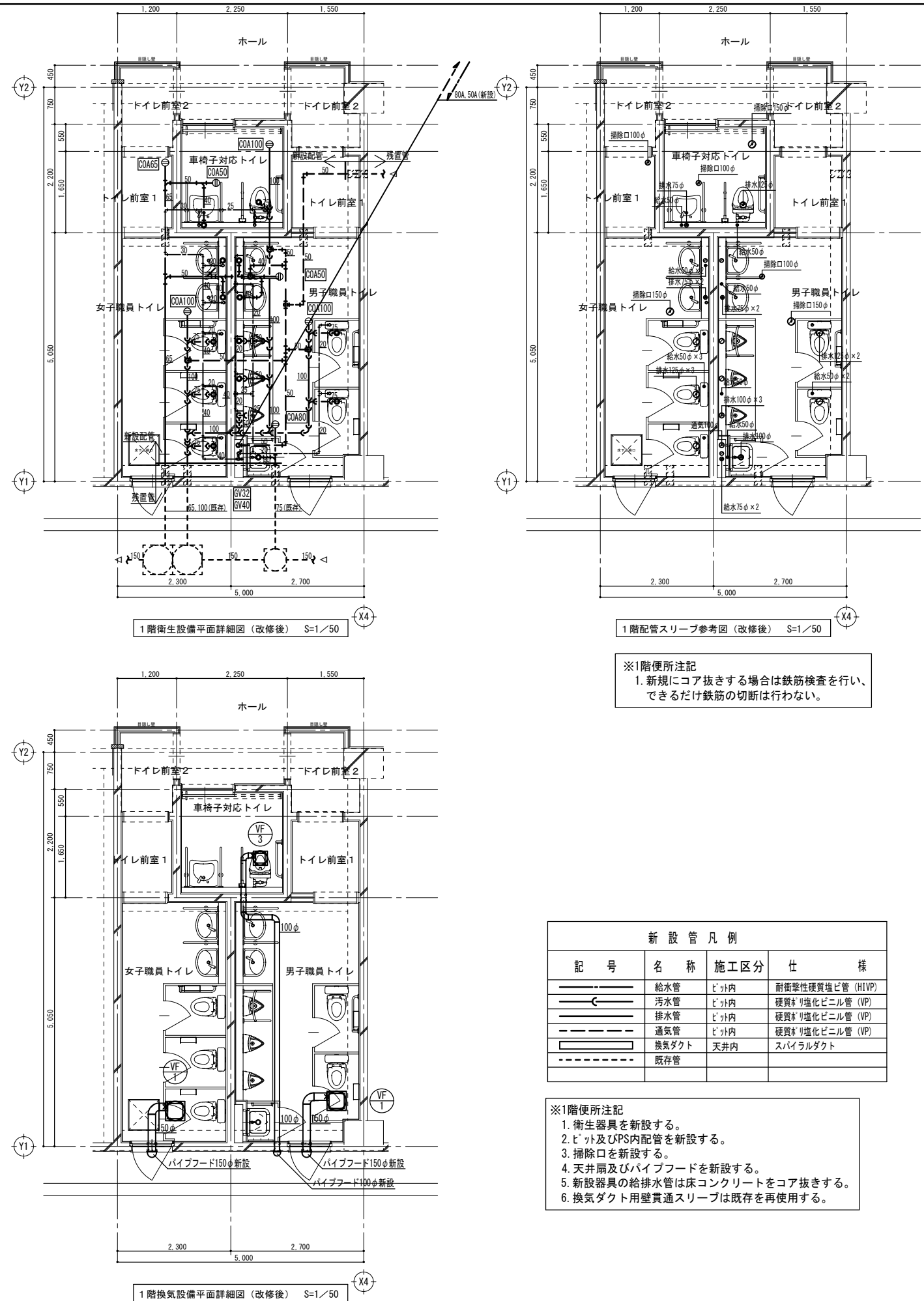
R階平面図 (改修後) S=1/100





記号	名称	施工区分	仕様
	給水管	ビツ内	水道用塩ビラインング鋼管
	汚水管	ビツ内	硬質塩化ビニル管
	排水管	ビツ内	硬質塩化ビニル管
	通気管	ビツ内	硬質塩化ビニル管
	換気ダクト	天井内	スパイラルダクト

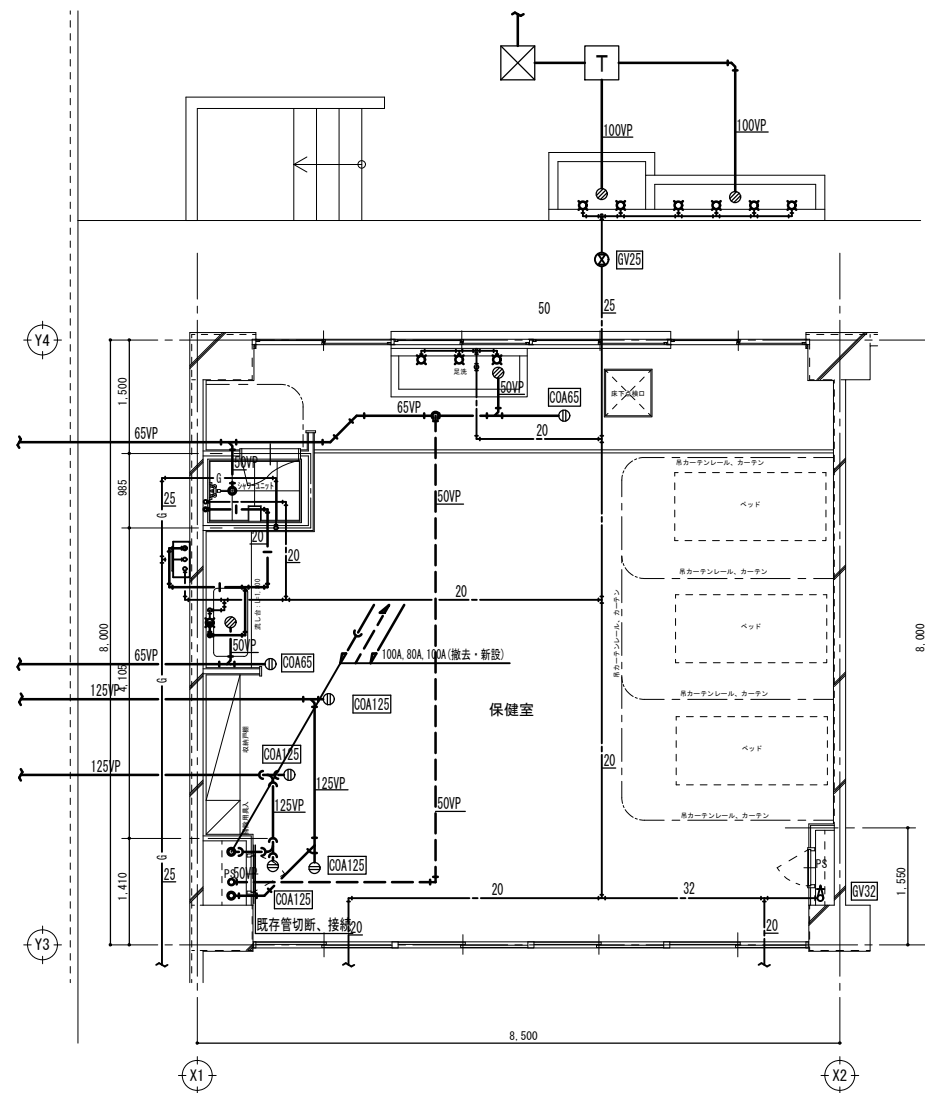
- ※1階便所注記
1. 衛生器具及び水栓を撤去し処分する。
 2. ビツ内配管及び露出管（保温共）の図示配管を撤去する。
 3. 掃除口、床排水トラップを撤去する。
 4. 天井扇及びパイプフードを撤去する。
 5. 和風便器撤去後の開口閉鎖（補強共）は建築工事とする。
 6. 屋外の既存埋設排水管及びび柵は残置する。



記号	名称	施工区分	仕様
	給水管	ビツ内	耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (HIVP)
	汚水管	ビツ内	硬質塩化ビニル管 (VP)
	排水管	ビツ内	硬質塩化ビニル管 (VP)
	通気管	ビツ内	硬質塩化ビニル管 (VP)
	換気ダクト	天井内	スパイラルダクト
	既存管		

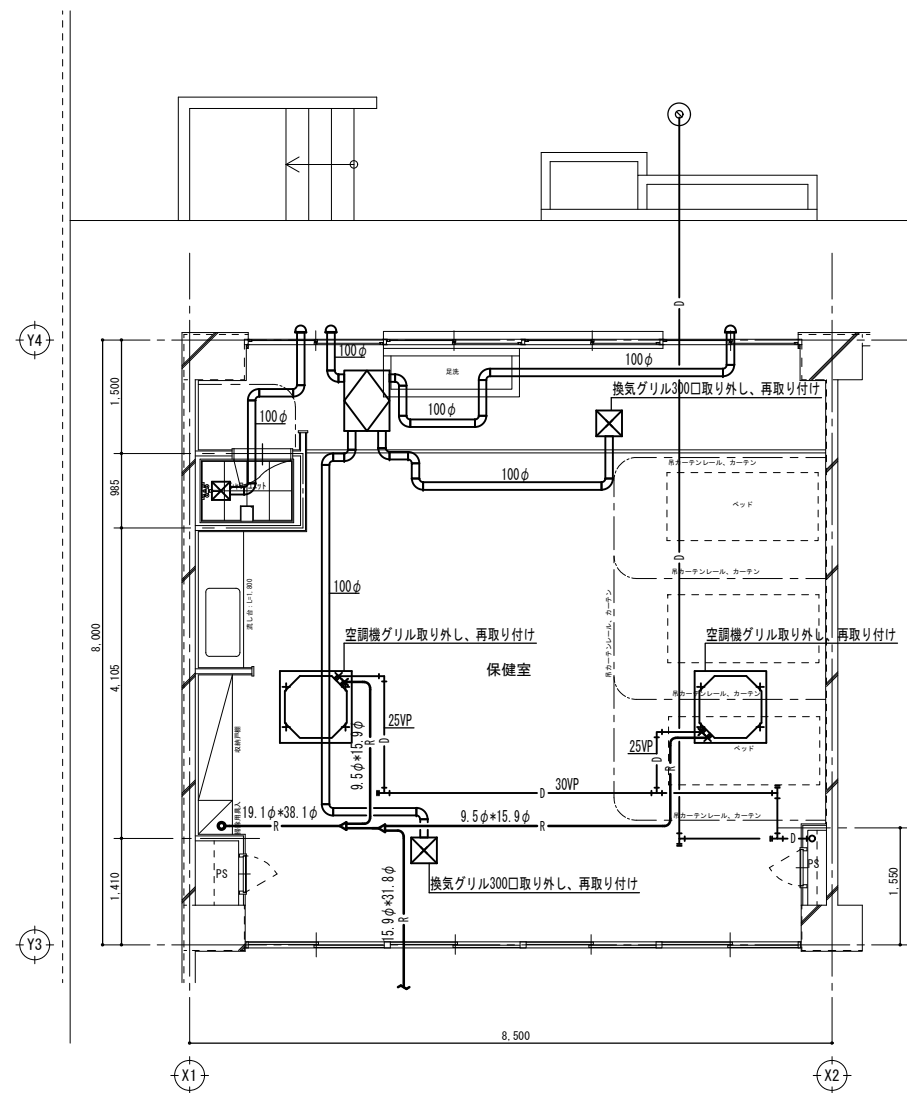
- ※1階便所注記
1. 衛生器具を新設する。
 2. ビツ及びPS内配管を新設する。
 3. 掃除口を新設する。
 4. 天井扇及びパイプフードを新設する。
 5. 新設器具の給排水管は床コンクリートをコア抜く。
 6. 換気ダクト用壁貫通スリーブは既存を再使用する。

※1階便所注記
1. 新規にコア抜く場合は鉄筋検査を行い、できるだけ鉄筋の切断は行わない。



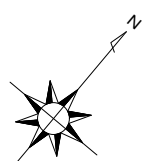
1階衛生設備平面詳細図 S=1/50

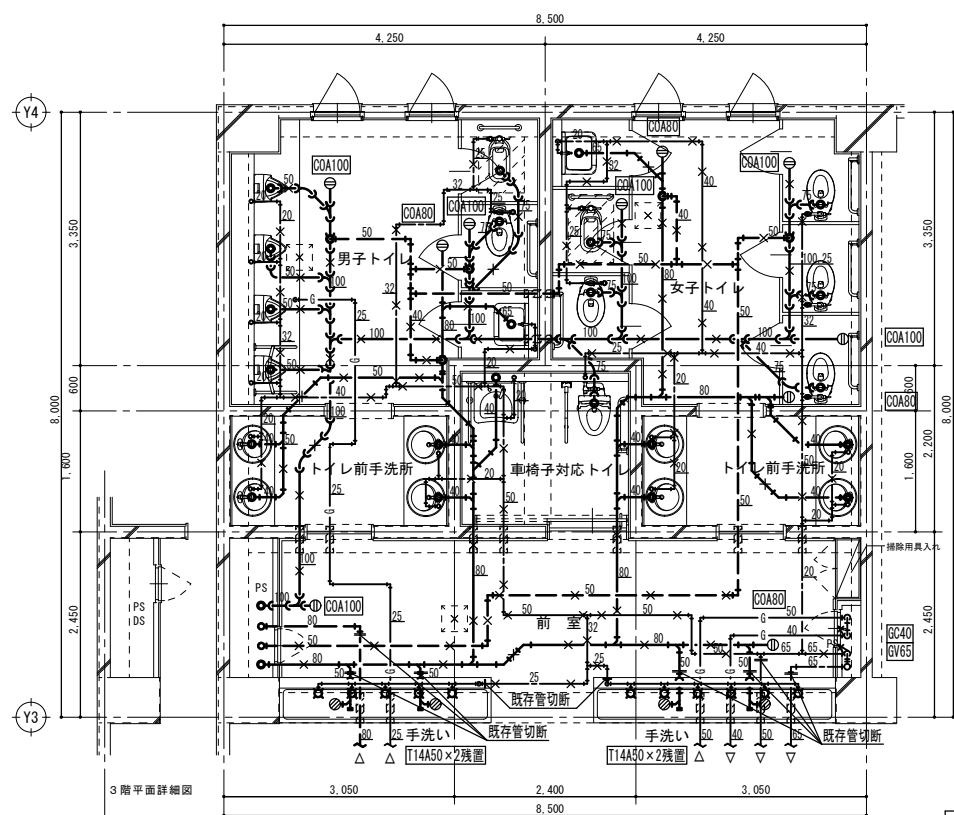
※1階保健室注記
1. PS内立管（保温共）を撤去、新設する。



1階空調換気設備平面詳細図 S=1/50

※1階保健室注記
1. 天井改修（建築工事）に伴い、空調機化粧グリル及び換気グリルを取り外し再取り付けする。

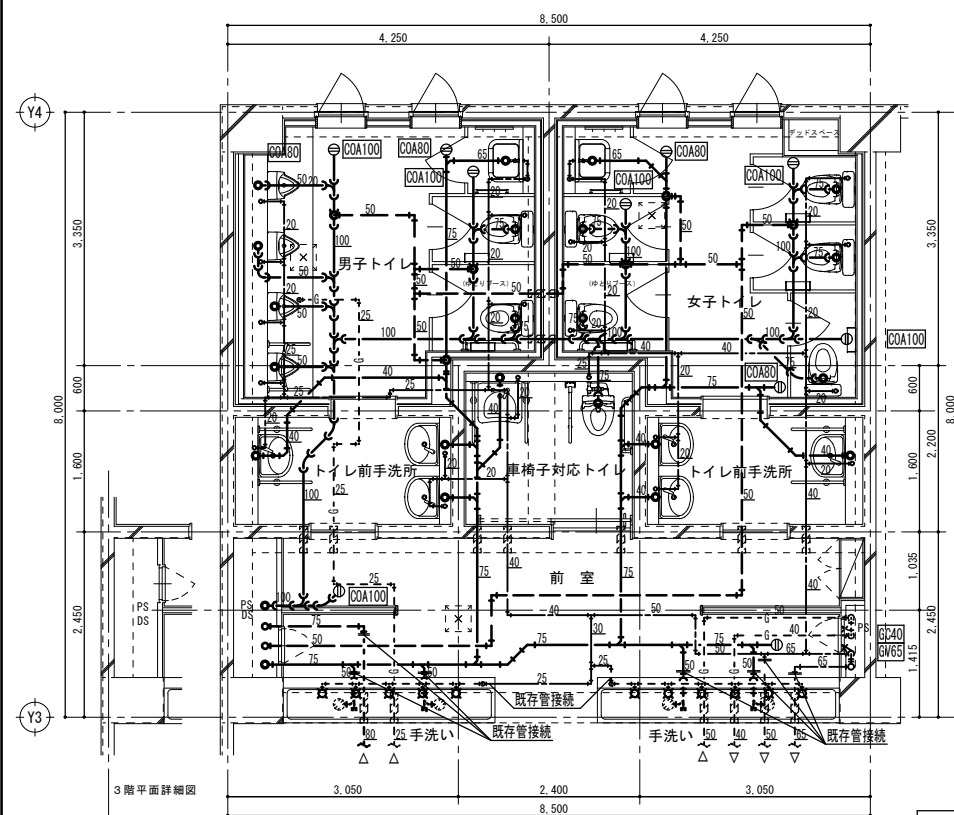




- ※2階便所注記
1. 衛生器具及び水栓を撤去し処分する。
 2. 天井内配管(保温共)の図示配管を撤去する。
 3. 掃除口、床排水トラップを撤去する。
 4. 手洗い流しの壁内給排水管は既存のままとする。
 5. 和風便器撤去後の開口閉鎖(補強共)は建築工事とする。
 6. 1階保健室の天井断材は建築工事とする。
 7. ガス配管は既存のままとする。

既存撤去管凡例

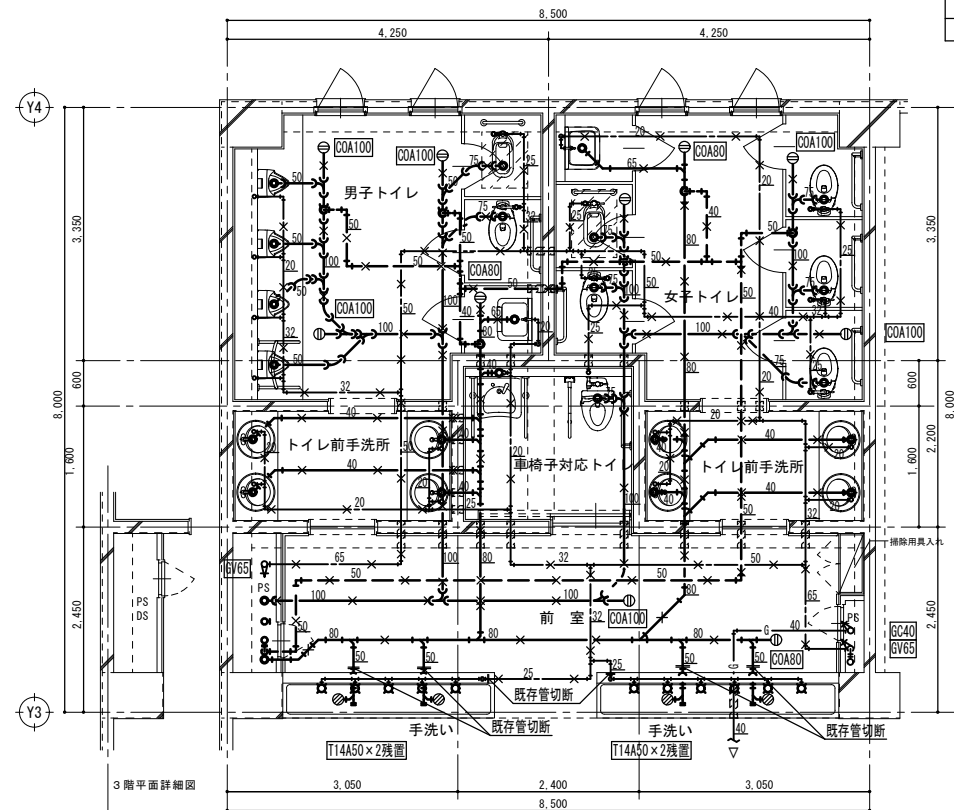
記号	名称	施工区分	仕様
—x—x—	給水管	天井内	水通用塩ビラインング鋼管
—x—x—	汚水管(主管)	天井内	排水用塩ビラインング鋼管
—x—x—	汚水管(枝管)	天井内	硬質塩化ビニル管
—x—x—	排水管(主管)	天井内	排水用塩ビラインング鋼管
—x—x—	排水管(支管)	天井内	硬質塩化ビニル管
—x—x—	通気管	天井内	配管用炭素鋼管



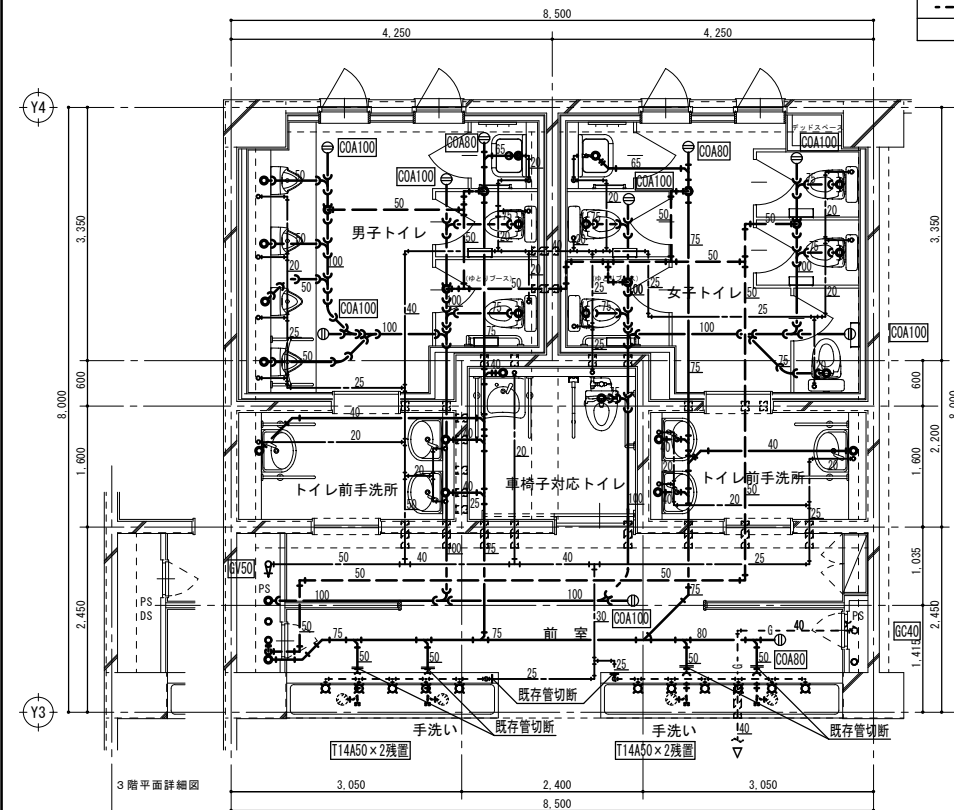
- ※2階便所注記
1. 衛生器具及び水栓を新設する。
 2. 天井内及びFCS内配管を新設する。
 3. 掃除口を新設する。
 4. 手洗い流しの給排水管に接続する。
 5. 新設器具の給排水管は床コンクリートをコア抜きの。
 6. 梁・壁貫通スリーブは既存を再使用する。

新設管凡例

記号	名称	施工区分	仕様
—x—x—	給水管	天井内	耐衝撃性硬質塩ビ管 (HIVP)
—x—x—	汚水管	天井内	耐火性硬質塩化ビニル管 (VP)
—x—x—	排水管	天井内	耐火性硬質塩化ビニル管 (VP)
—x—x—	通気管	天井内	耐火性硬質塩化ビニル管 (VP)
—x—x—	換気ダクト	天井内	スライラルダクト
—x—x—	既存管		

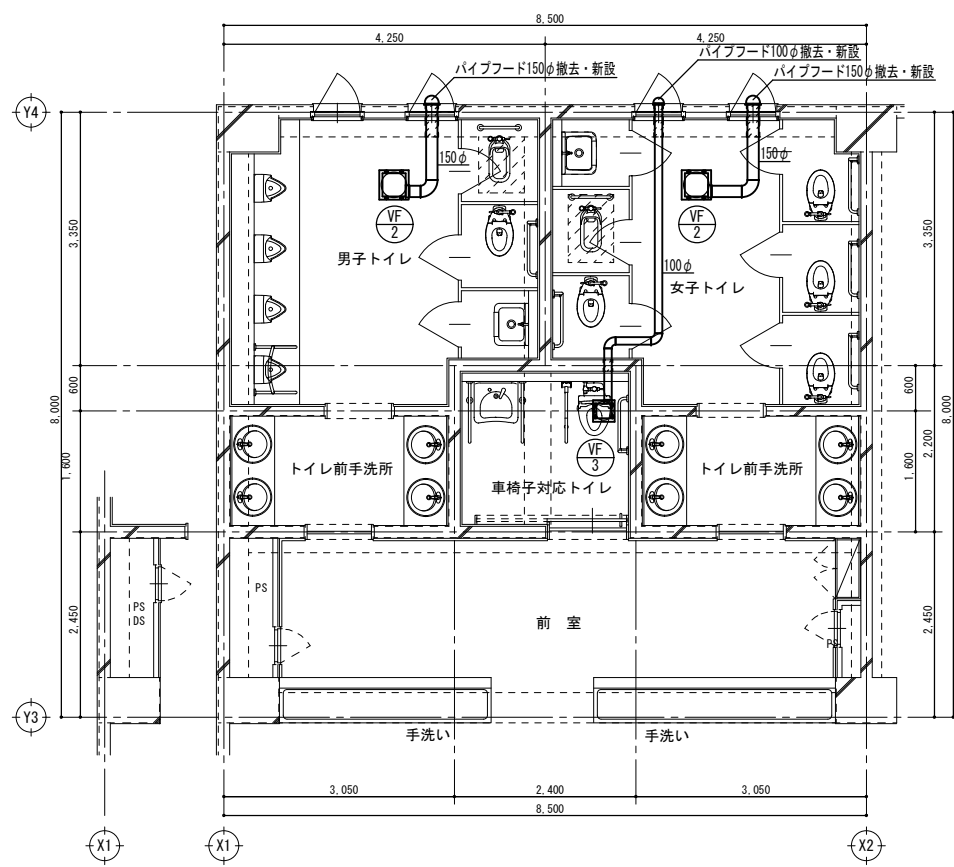


- ※3階便所注記
1. 衛生器具及び水栓を撤去し処分する。
 2. 天井内配管(保温共)の図示配管を撤去する。
 3. 掃除口、床排水トラップを撤去する。
 4. 手洗い流しの壁内給排水管は既存のままとする。
 5. 和風便器撤去後の開口閉鎖(補強共)は建築工事とする。
 6. ガス配管は既存のままとする。



- ※2階便所注記
1. 衛生器具及び水栓を新設する。
 2. 天井内及びFCS内配管を新設する。
 3. 掃除口を新設する。
 4. 手洗い流しの給排水管に接続する。
 5. 新設器具の給排水管は床コンクリートをコア抜きの。
 6. 梁・壁貫通スリーブは既存を再使用する。

改修前

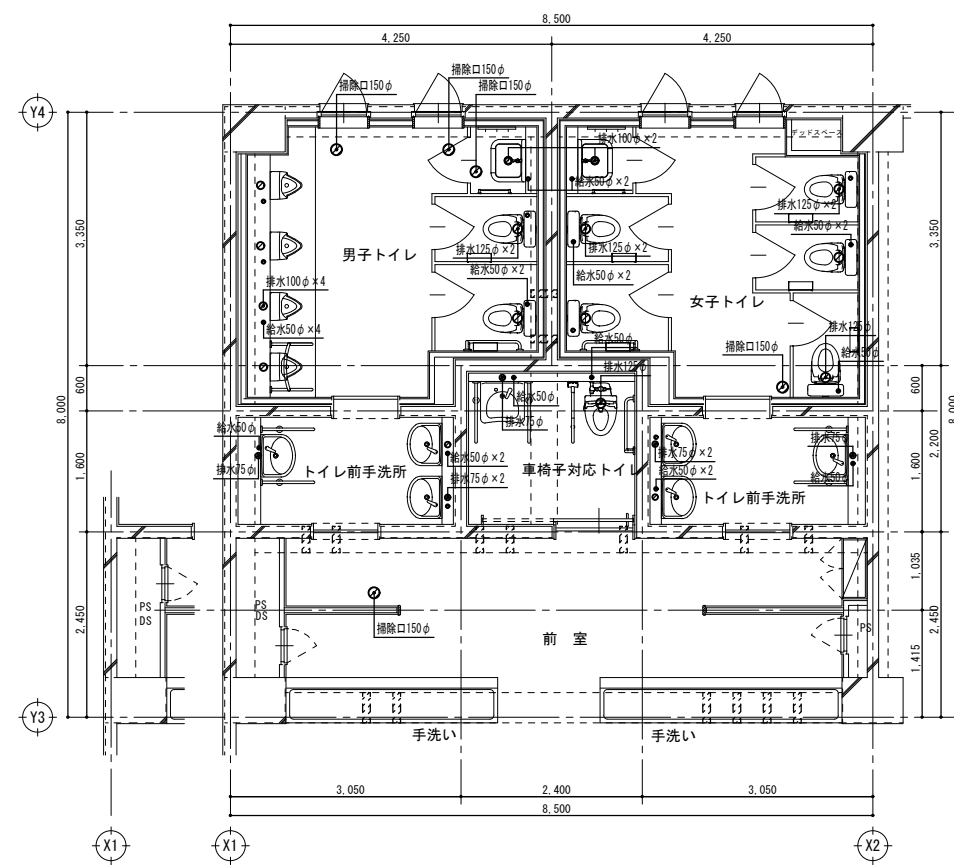


2-3階換気設備平面詳細図 (改修前) S=1/50

撤去凡例			
記号	名称	施工区分	仕様
✕	換気ダクト	天井内	スパイラルダクト

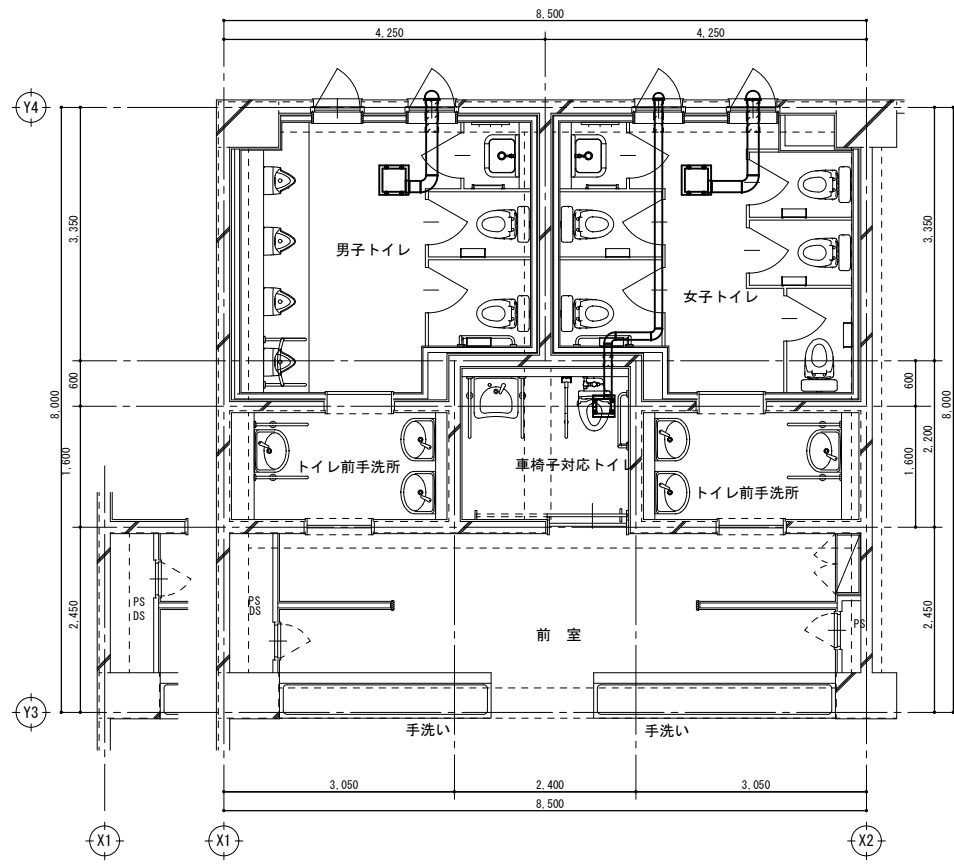
※1階便所注記
1. 天井扇及びダクト・パイプフードを撤去する。

改修後



2階配管スリーブ平面参考図 (改修後) S=1/50

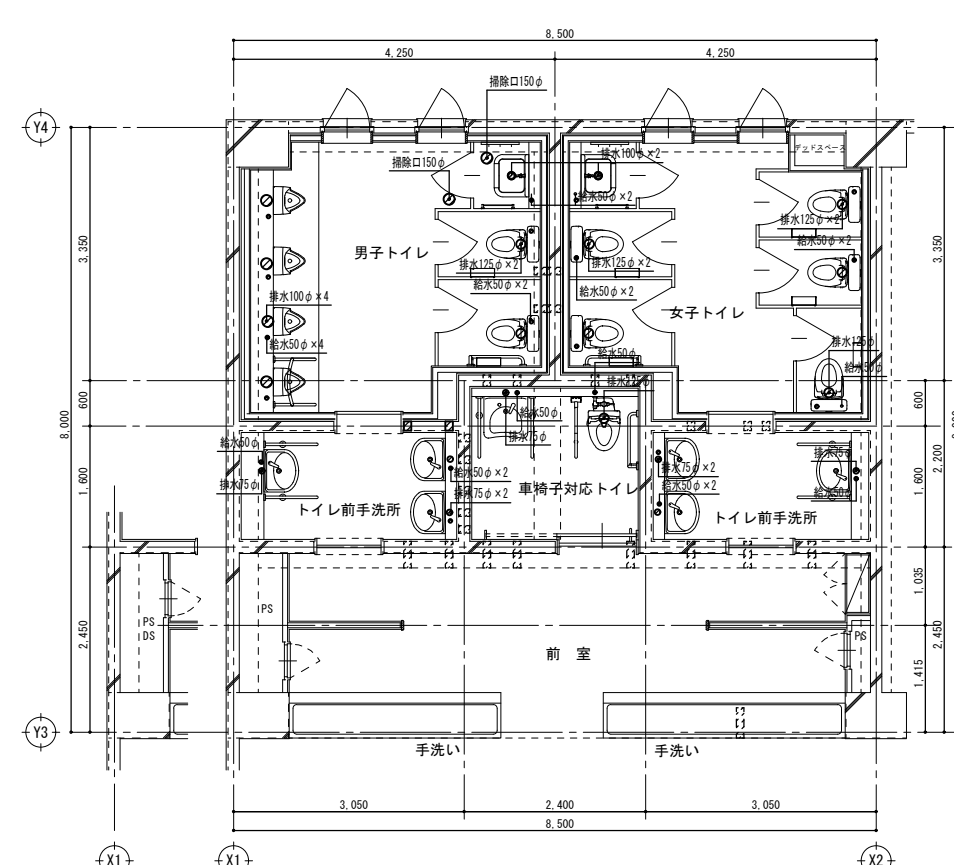
※2-3階便所注記
1. 新規にコア抜きする場合は鉄筋検査を行い、できるだけ鉄筋の切断は行わない。



2-3階換気設備平面詳細図 (改修後) S=1/50

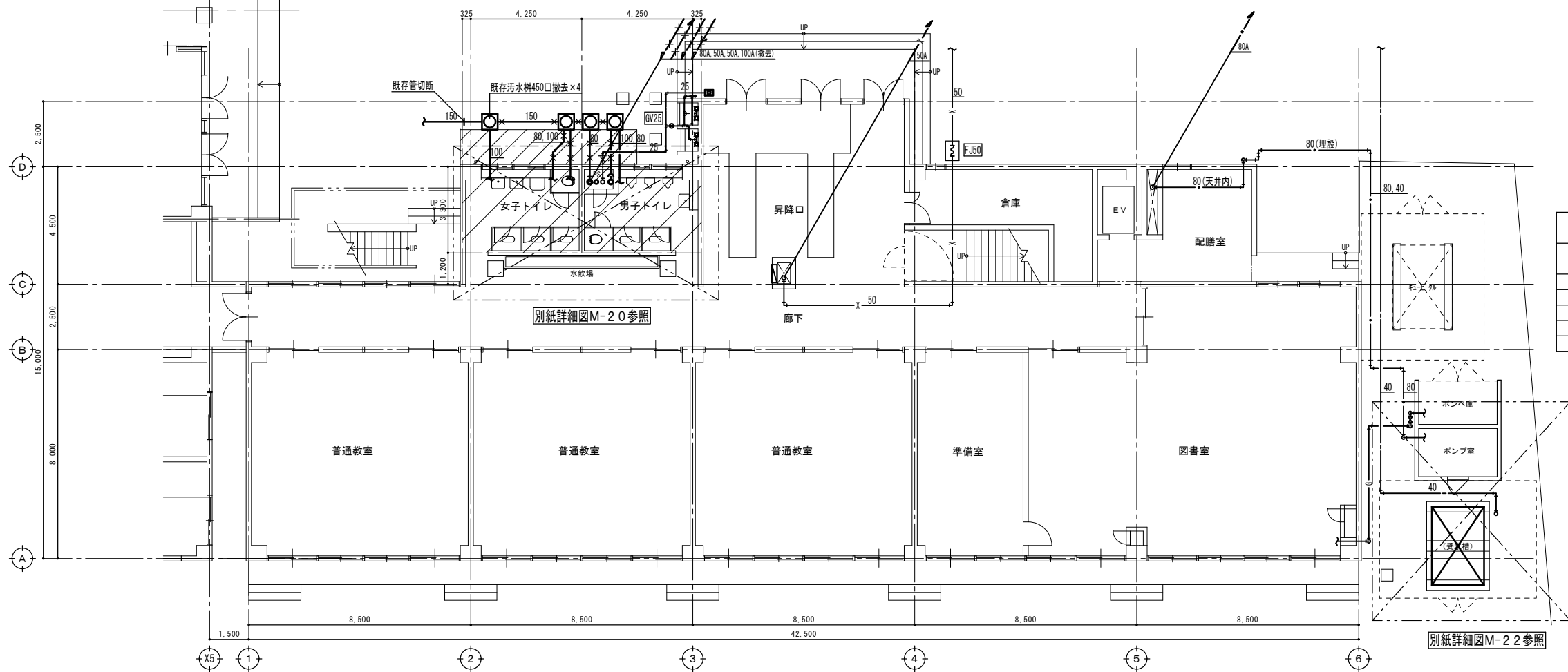
新設凡例			
記号	名称	施工区分	仕様
—	換気ダクト	天井内	スパイラルダクト

※1階便所注記
1. 天井扇及びダクト・パイプフードを新設する。
2. 梁及び壁貫通スリーブは既存再使用とする。



3階配管スリーブ平面参考図 (改修後) S=1/50

改修前



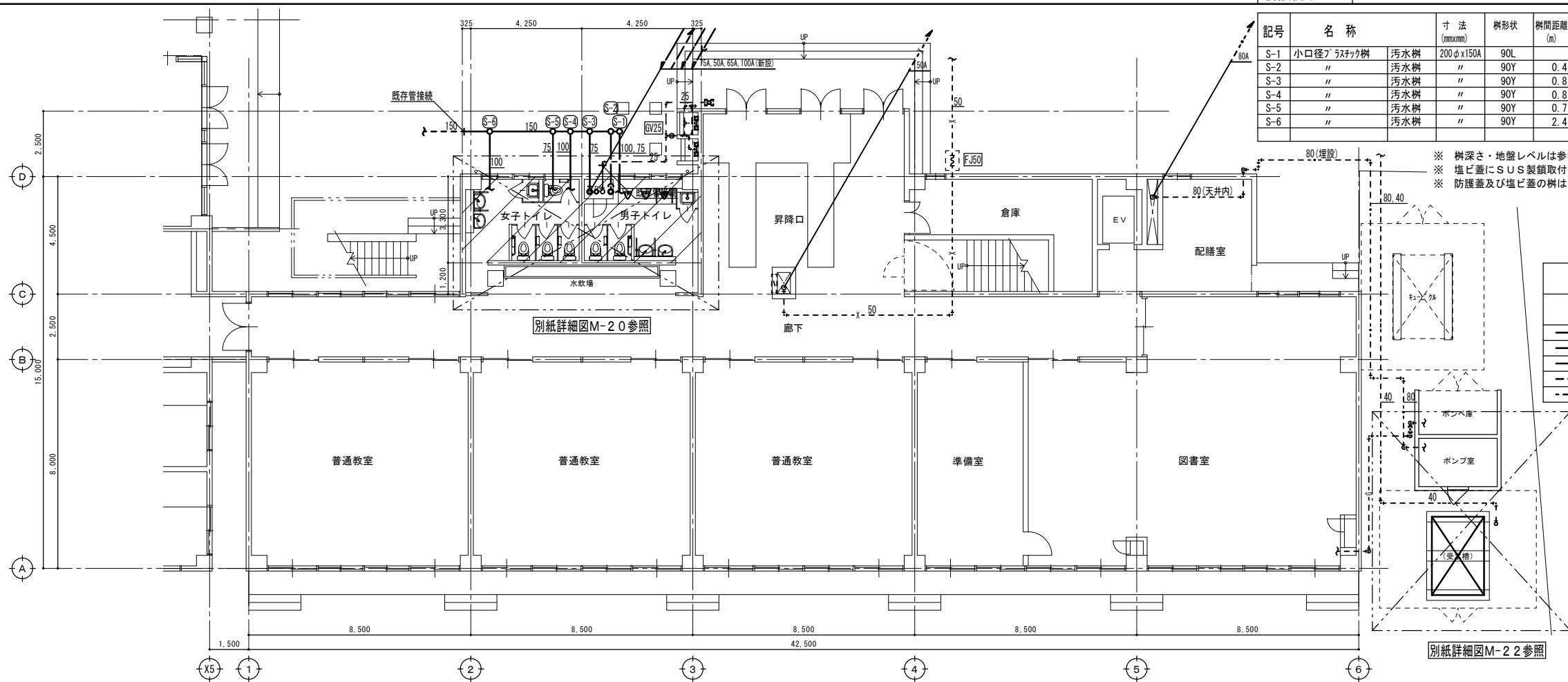
記号	名称	施工区分	仕様
—x—x—	給水管	PS内	水道用塩ビライニング鋼管
—x—C—x—	汚水管	PS内	排水用塩ビライニング鋼管
—x—x—	排水管	PS内	排水用塩ビライニング鋼管
—x—x—	通気管	PS内	配管用炭素鋼鋼管

舗装取り壊し、補修部分

1階平面図(改修前) S=1/100

凡例 : トイレ改修部分を表す。

改修後



新設樹リスト

記号	名称	寸法 (maxmm)	樹形状	樹間距離 (m)	樹深さ (mm)	管底深さ GL-(mm)	地盤高さ GL±(mm)	蓋仕様	耐荷重	備考
S-1	小口径プラスチック樹	200φx150A	90L		450	380	0	防護蓋	T-2	SUS製鎖付
S-2	汚水樹	90Y	90Y	0.4	470	470	0	防護蓋	T-2	〃
S-3	汚水樹	90Y	90Y	0.8	490	490	0	防護蓋	T-2	〃
S-4	汚水樹	90Y	90Y	0.8	510	510	0	防護蓋	T-2	〃
S-5	汚水樹	90Y	90Y	0.7	530	530	0	防護蓋	T-2	〃
S-6	汚水樹	90Y	90Y	2.4	580	580	0	防護蓋	T-2	〃

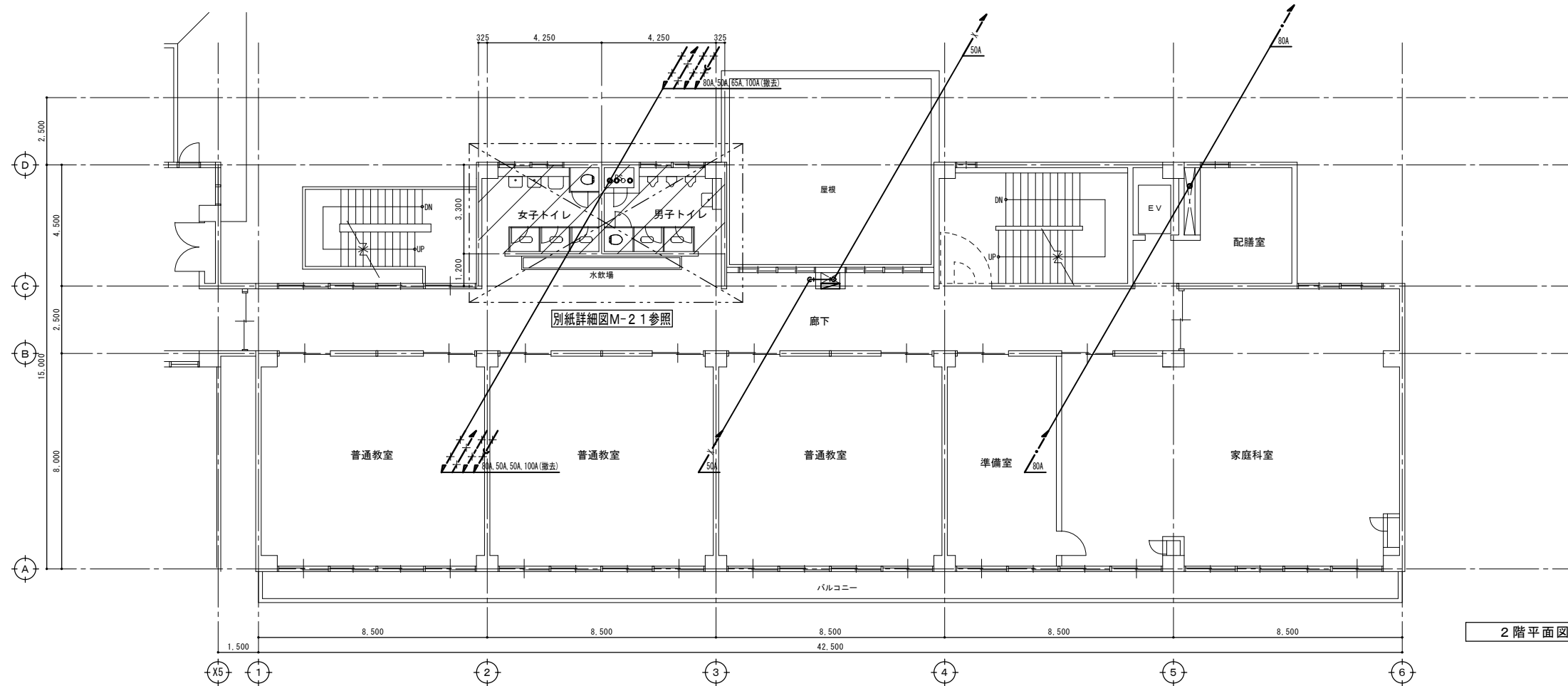
※ 樹深さ・地盤レベルは参考値とし、実際の施工に当たっては現地を充分調査の上、再度決定のこと。
 ※ 塩ビ蓋にSUS製鎖取付のこと。排水勾配は自治体の基準による。
 ※ 防護蓋及び塩ビ蓋の樹はコンクリート根巻きをすること。

記号	名称	施工区分	仕様
—x—x—	給水管	PS内	耐衝撃性硬質塩ビ管 (HIVP)
—x—C—x—	汚水管	PS内	耐火性硬質塩ビ管 (VP)
—x—x—	排水管	PS内	耐火性硬質塩ビ管 (VP)
—x—x—	通気管	PS内	耐火性硬質塩ビ管 (VP)
—x—x—	既存管		

1階平面図(改修後) S=1/100

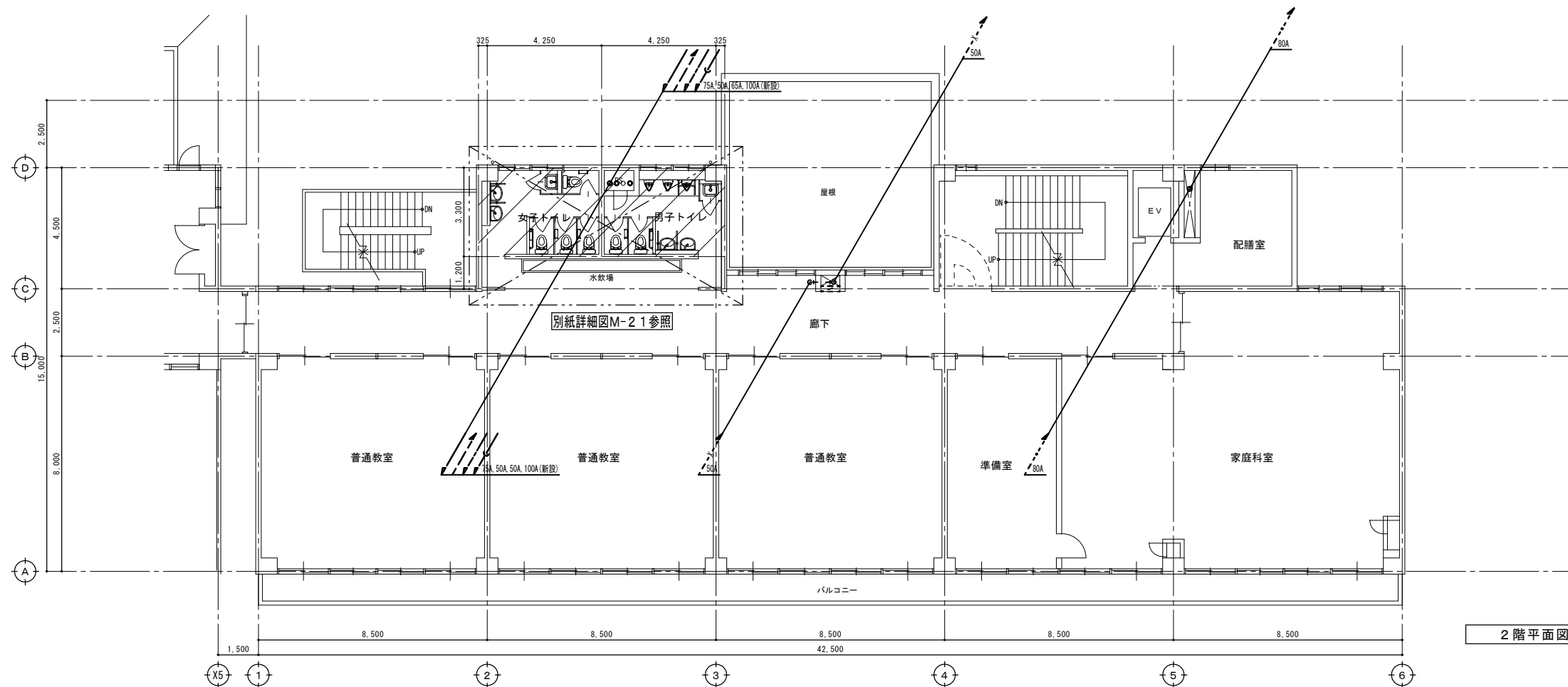
凡例 : トイレ改修部分を表す。

改修前



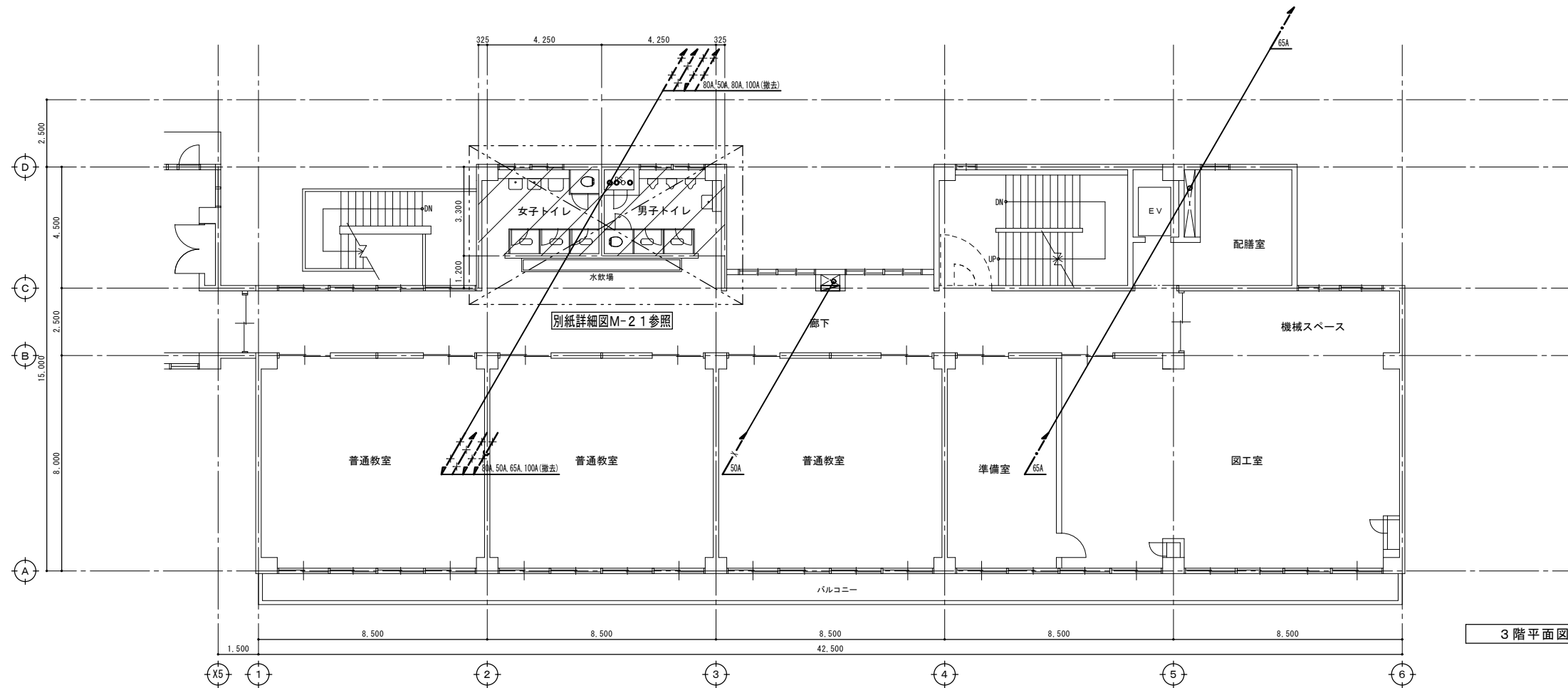
記号	名称	施工区分	仕様
	給水管	PS内	水道用塩ビライニング鋼管
	污水管	PS内	排水用塩ビライニング鋼管
	排水管	PS内	排水用塩ビライニング鋼管
	通気管	PS内	配管用炭素鋼鋼管

改修後



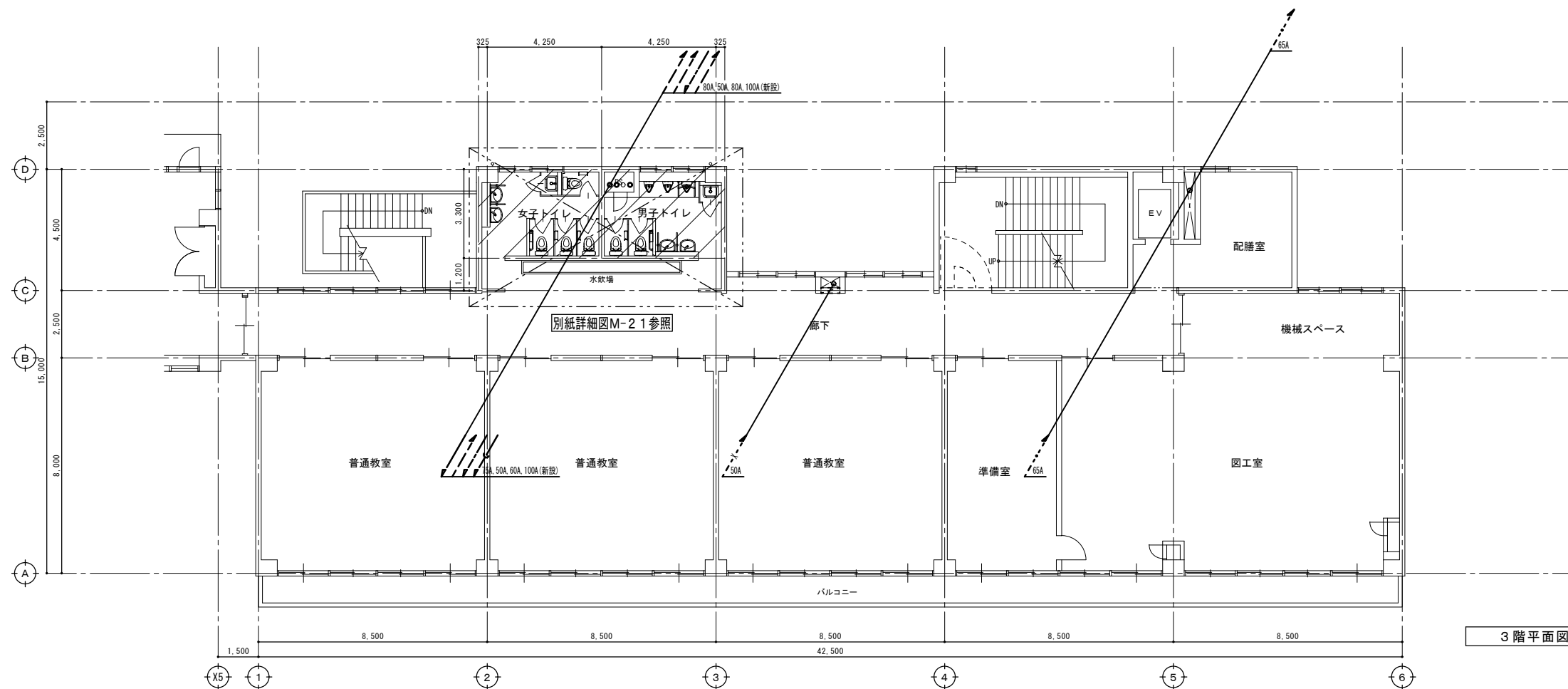
記号	名称	施工区分	仕様
	給水管	PS内	耐衝撃性硬質塩ビ管 (HIVP)
	污水管	PS内	耐火性硬質塩ビ管 (VP)
	排水管	PS内	耐火性硬質塩ビ管 (VP)
	通気管	PS内	耐火性硬質塩ビ管 (VP)
	既存管		

改修前



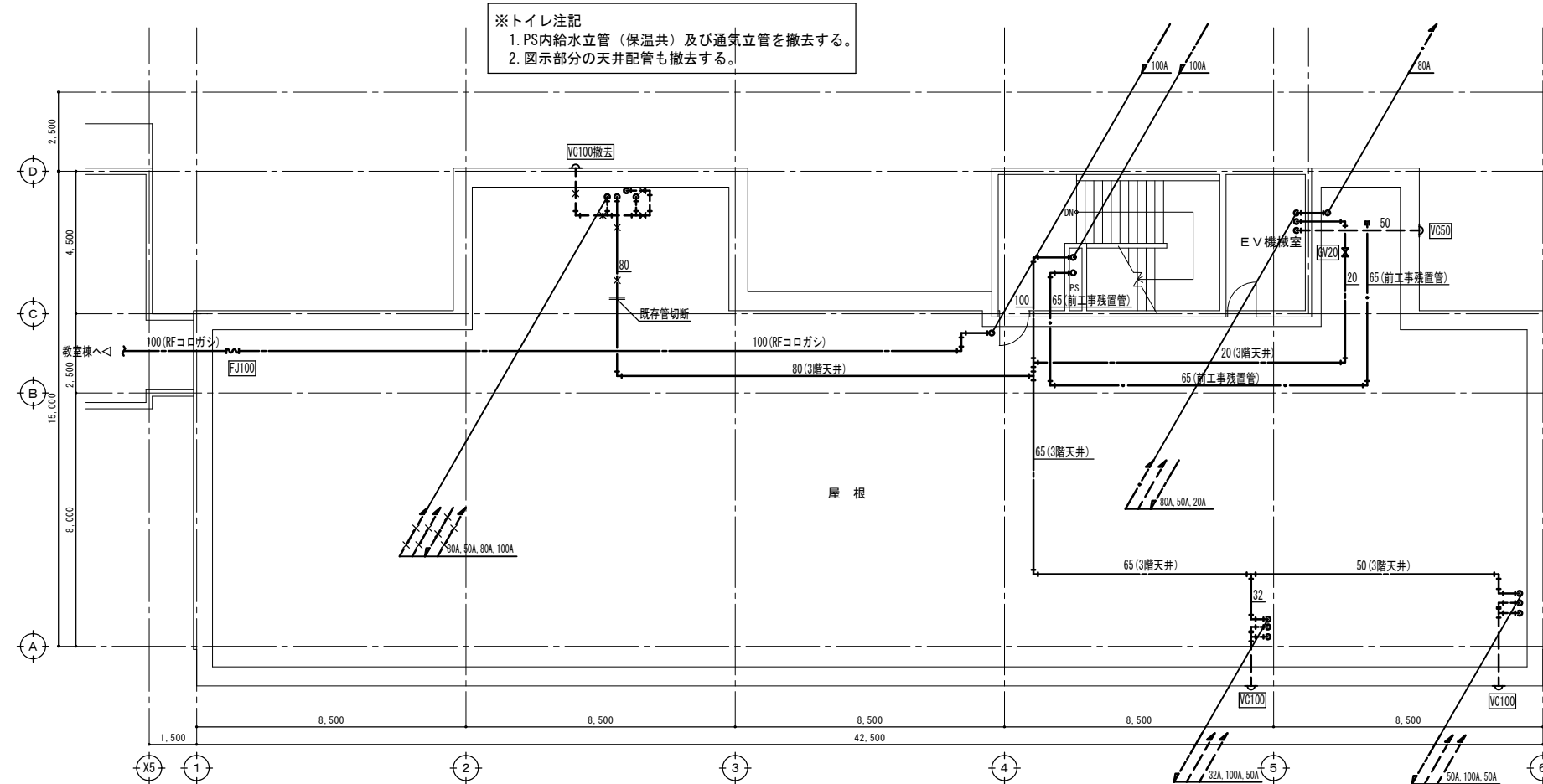
記号	名称	施工区分	仕様
	給水管	PS内	水道用塩ビライニング鋼管
	污水管	PS内	排水用塩ビライニング鋼管
	排水管	PS内	排水用塩ビライニング鋼管
	通気管	PS内	配管用炭素鋼鋼管

改修後

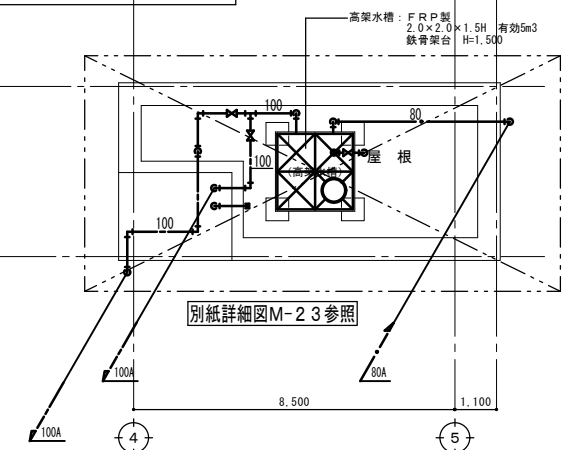


記号	名称	施工区分	仕様
	給水管	PS内	耐衝撃性硬質塩ビ管 (HIVP)
	污水管	PS内	耐火性硬質塩ビ管 (VP)
	排水管	PS内	耐火性硬質塩ビ管 (VP)
	通気管	PS内	耐火性硬質塩ビ管 (VP)
	既存管		

改修前



※PH階注記
 1. FRP製高架水槽 (鉄骨架台共) を撤去する。
 2. 水槽回り配管 (保温共) を撤去する。
 3. 基礎は再使用する、補修は建築工事とする。



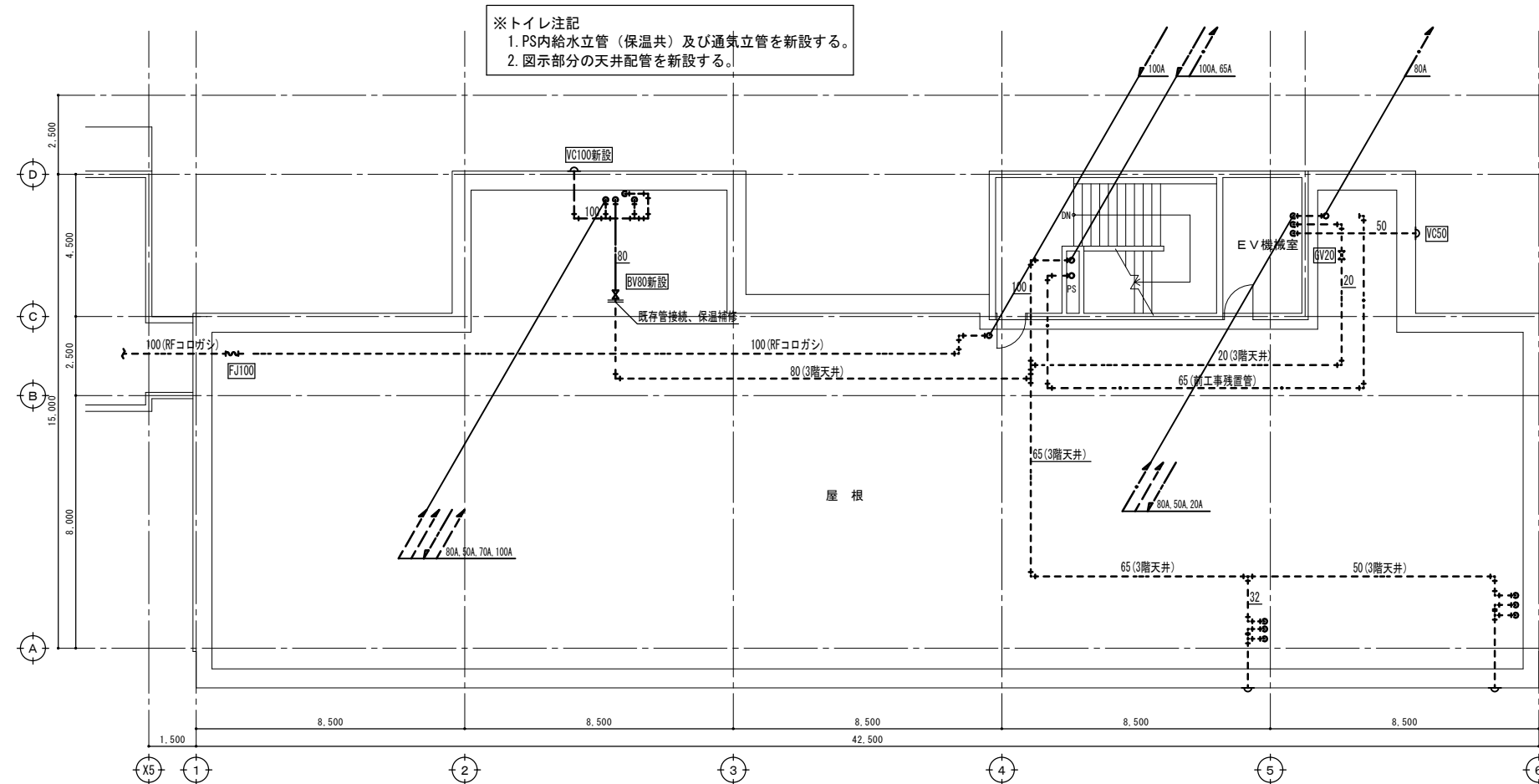
既存撤去管凡例

記号	名称	施工区分	仕様
—x—x—	給水管	PS内	水道用塩ビラインング鋼管
-x-x-	通気管	PS内	配管用炭素鋼鋼管

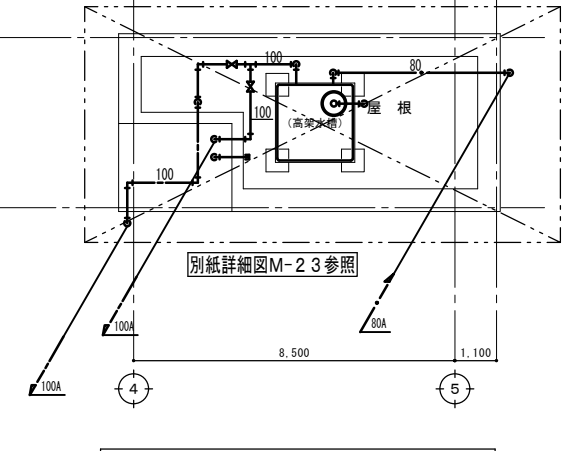
R階平面図 (改修前) S=1/100

PH階平面図 (改修前) S=1/100

改修後



※PH階注記
 1. 鋼板製高架水槽 (鉄骨架台共) を新設する。
 2. 水槽回り配管 (保温共) を新設する。
 3. 基礎は再使用する。



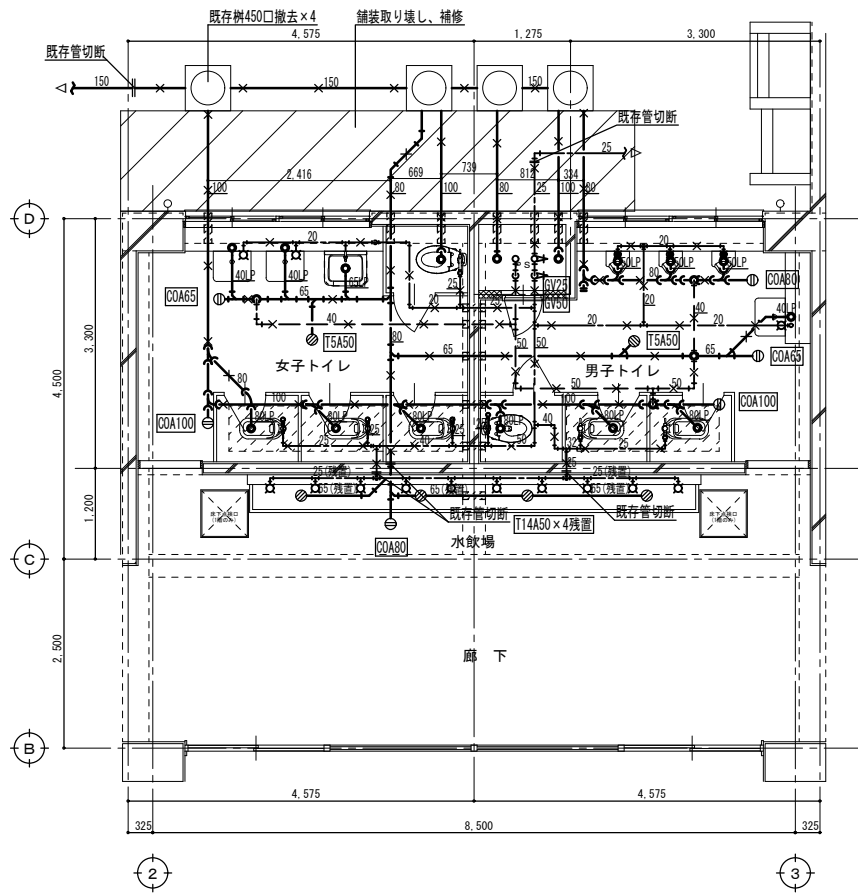
新設管凡例

記号	名称	施工区分	仕様
———	給水管	PS内	耐衝撃性硬質塩ビ管 (HIVP)
———	通気管	PS内	耐火性硬質塩ビ管 (VP)
- - - -	既存管		

R階平面図 (改修後) S=1/100

PH階平面図 (改修後) S=1/100

改修前

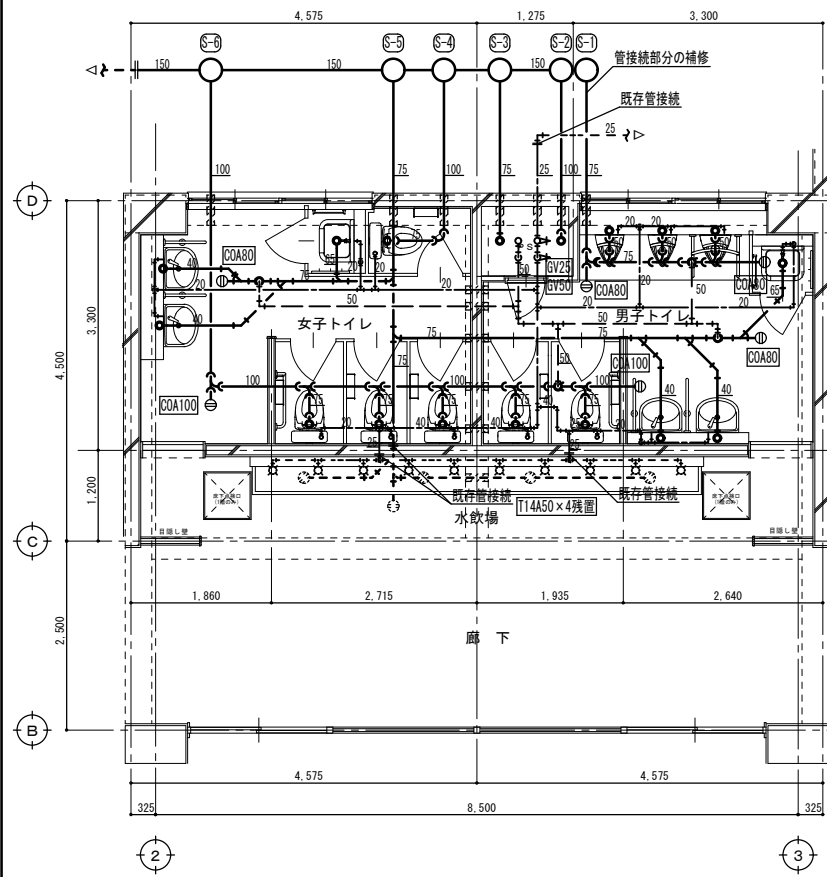


1階衛生設備平面詳細図 (改修前) S=1/50

記号	名称	施工区分	仕様
—×—×—	給水管	ビツ内	水道用塩ビライニング鋼管
—×—×—	汚水管	ビツ内	排水用鑄鉄管
—×—×—	排水管	ビツ内	配管用炭素鋼鋼管
—×—×—	排水管	ビツ内	排水用鉛管
—×—×—	通気管	ビツ内	配管用炭素鋼鋼管
—×—×—	換気ダクト	天井内	スパイラルダクト

- ※1階便所注記
1. 衛生器具及び水栓を撤去し処分する。
 2. ビツ内及びPS内配管 (保温共) を撤去する。
 3. 掃除口、床排水トラップを撤去する。
 4. 手洗い流しの壁内給水管及び図示排水管は残置とする。
 5. 天井扇及びダクト、パイプフードを撤去・新設する。
 6. 和風便器撤去後の開口閉鎖 (補強共) は建築工事とする。
 7. 屋外の既存埋設排水管は樹も撤去する。

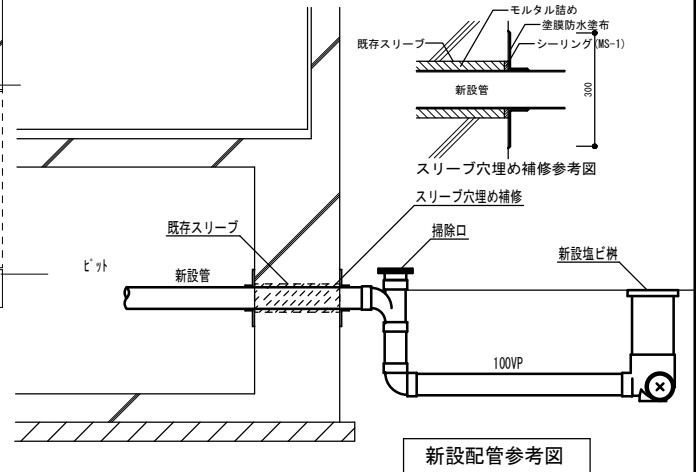
改修後



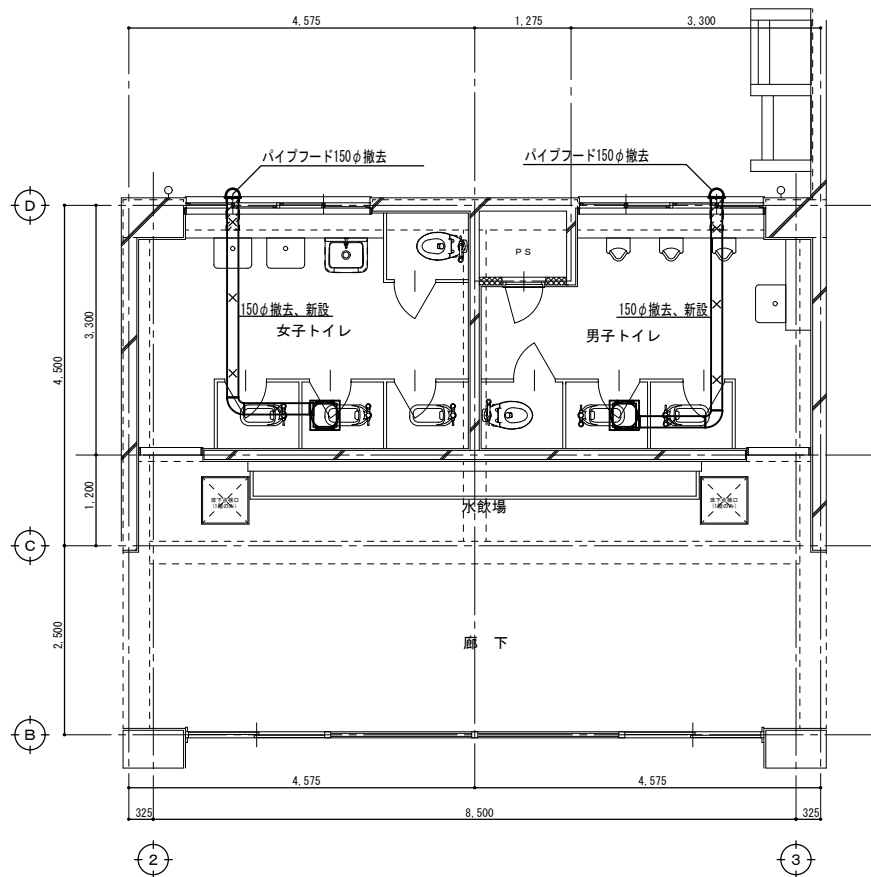
1階衛生設備平面詳細図 (改修後) S=1/50

記号	名称	施工区分	仕様
—○—○—	給水管	ビツ内	耐衝撃性硬質塩ビ管 (HVP)
—○—○—	汚水管	ビツ内	硬質塩化ビニル管 (VP)
—○—○—	排水管	ビツ内	硬質塩化ビニル管 (VP)
—○—○—	通気管	ビツ内	硬質塩化ビニル管 (VP)
—○—○—	換気ダクト	天井内	スパイラルダクト
—○—○—	既存管		

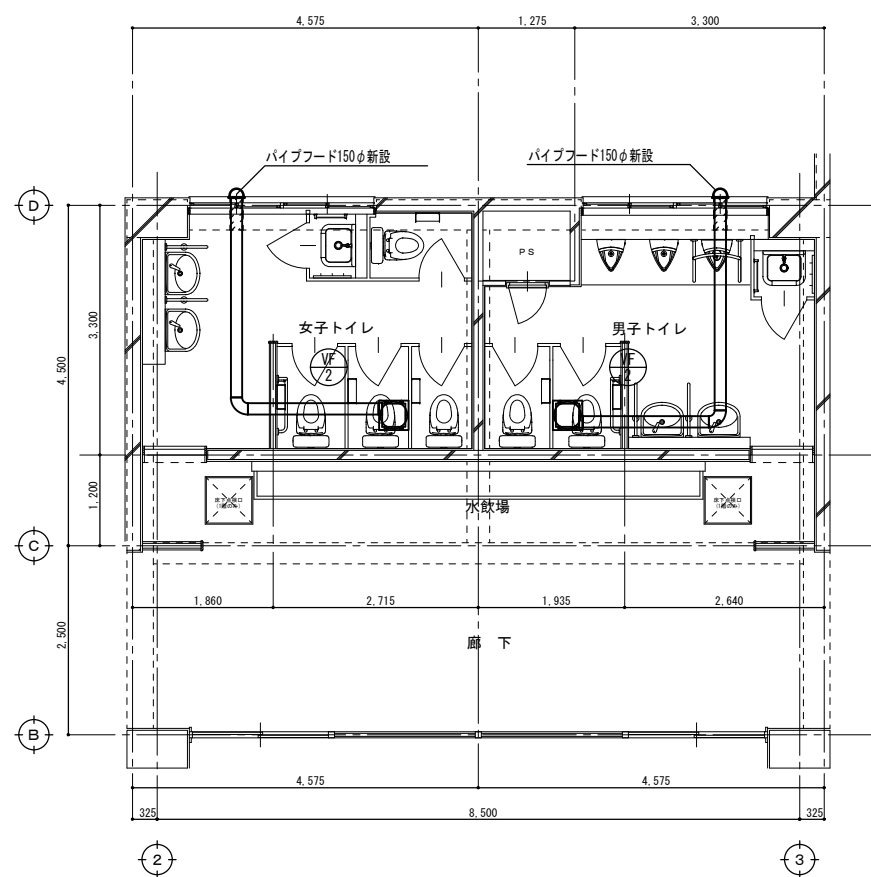
- ※1階便所注記
1. 衛生器具を新設する。
 2. ビツ及びPS内配管を新設する。
 3. 掃除口を新設する。
 4. 水飲み流しの給排水管に接続する。
 5. 天井扇及びダクト・パイプフードを新設する。
 6. 新設器具の給排水管は床コンクリートをコア抜きする。
 7. 換気ダクト用梁貫通スリーブは既存を再使用する。
 8. 図示屋外排水管及びプラスチック柵を新設する。



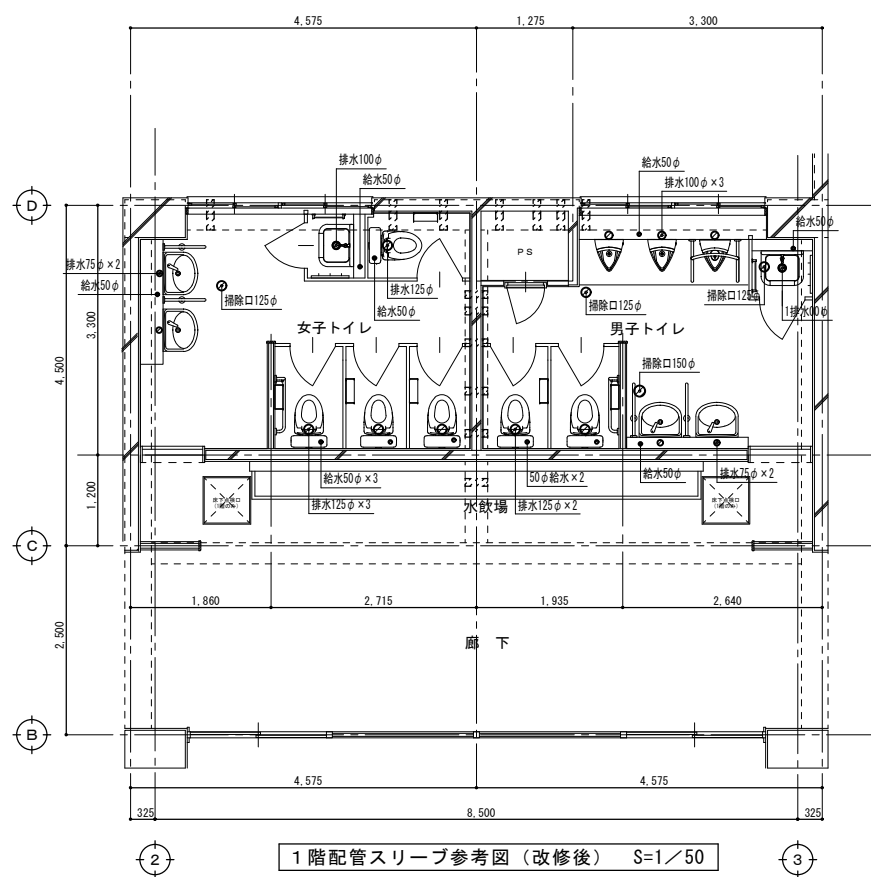
新設配管参考図



1階換気設備平面詳細図 (改修前) S=1/50



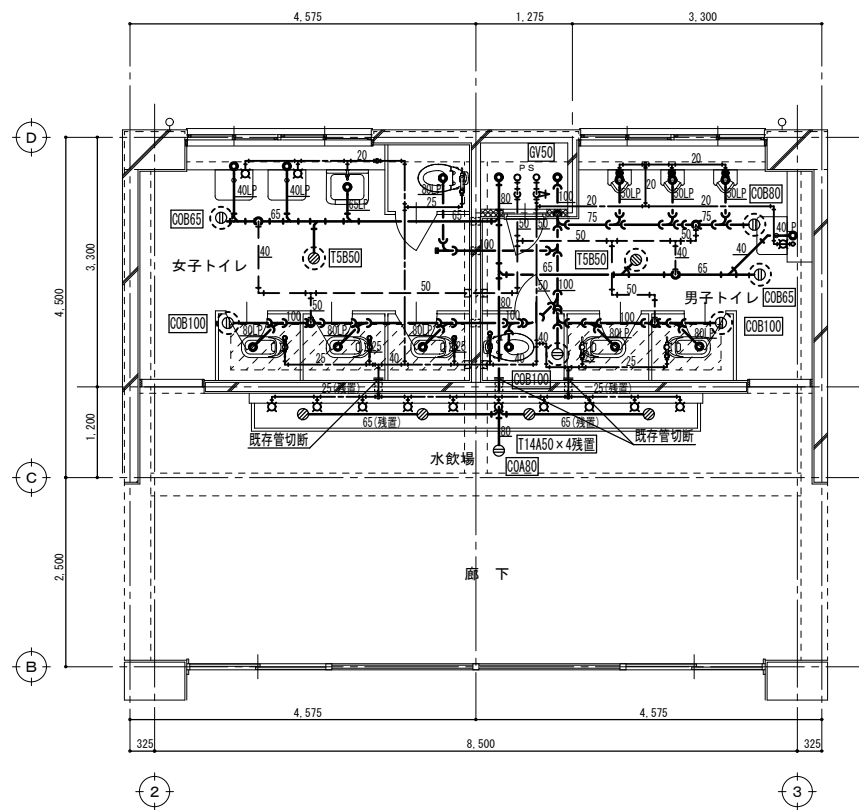
1階換気設備平面詳細図 (改修後) S=1/50



1階配管スリーブ参考図 (改修後) S=1/50

- ※1階便所注記
1. 新規にコア抜きする場合は鉄筋検査を行い、できるだけ鉄筋の切断は行わない。

改修前

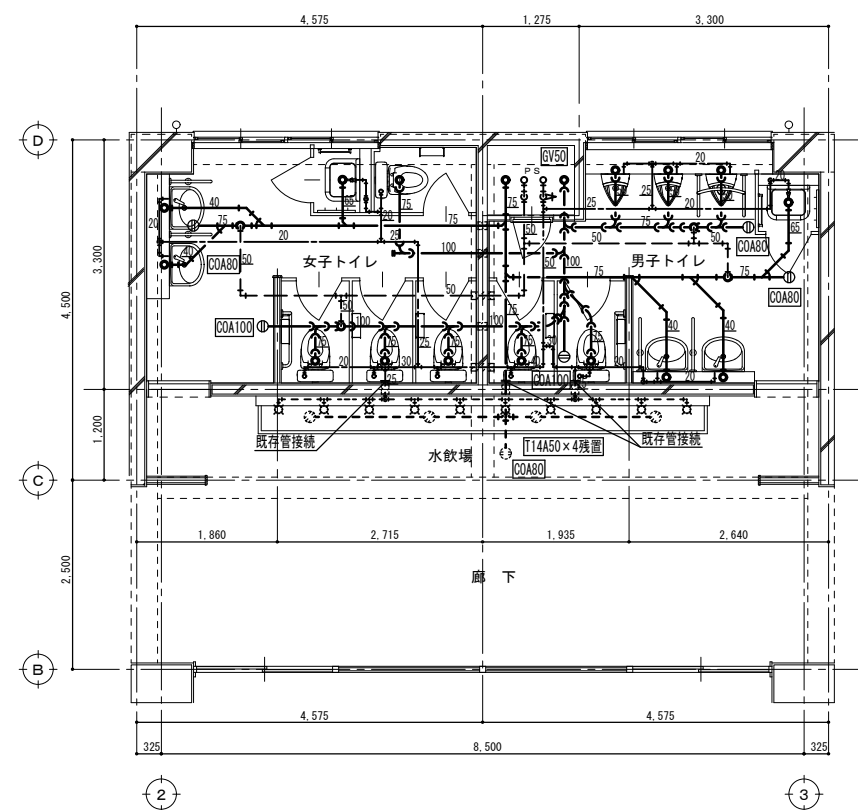


2-3階衛生設備平面詳細図 (改修前) S=1/50

既存撤去管凡例			
記号	名称	施工区分	仕様
—x—x—	給水管	天井内	水通用地ビニリング鋼管
—x—x—	汚水管	天井内	排水用鑄鉄管
—x—x—	排水管	天井内	配管用炭素鋼鋼管
—x—x—	通気管	天井内	配管用炭素鋼鋼管
—x—x—	換気ダクト	天井内	スパイラルダクト

- ※2-3階便所注記
1. 衛生器具及び水栓を撤去し処分する。
 2. 天井内及びPS内配管 (保温共) を撤去する。
 3. 掃除口、床排水トラップを撤去する。
 4. 手洗い流しの壁内給水管及び図示排水管は残置とする。
 5. 天井扇及びダクト、パイプフードを撤去する。
 6. 和風便器撤去後の開口閉鎖 (補強共) は建築工事とする。
 7. 屋外の既存埋設排水管は樹接続まで撤去する。

改修後

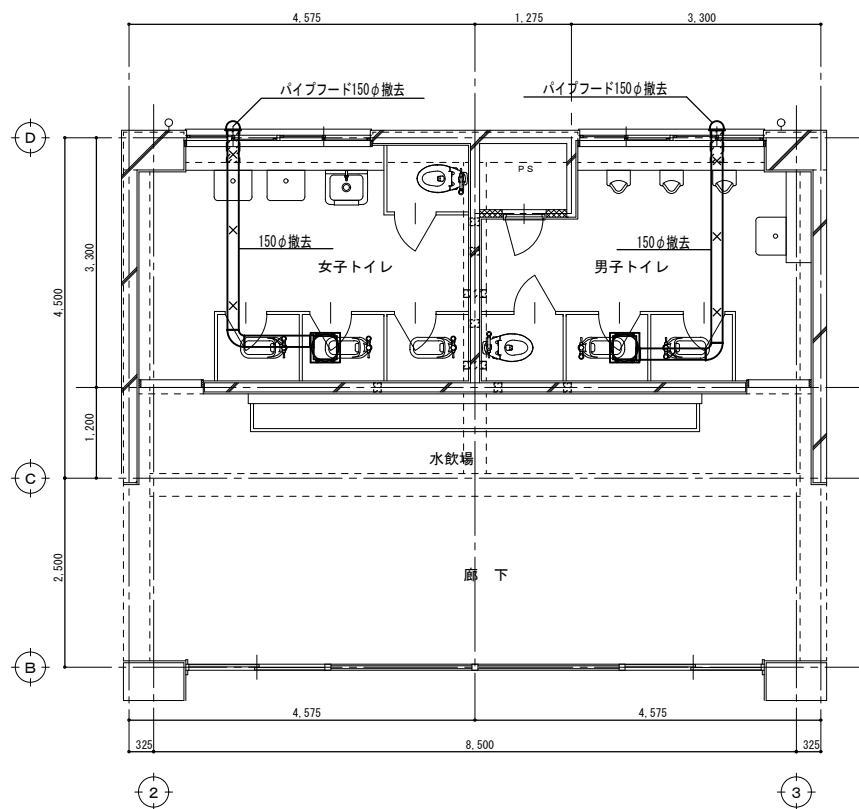


2-3階衛生設備平面詳細図 (改修後) S=1/50

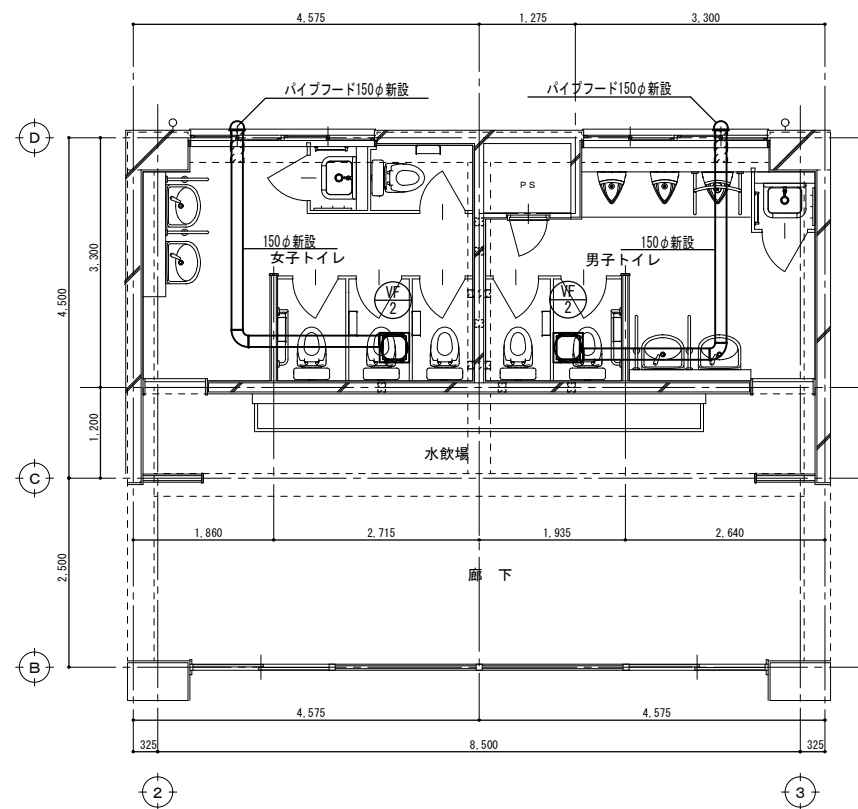
新設管凡例			
記号	名称	施工区分	仕様
—	給水管	天井内	耐衝撃性硬質塩ビ管 (HIVP)
—	汚水管	天井内	耐火性硬質塩ビ管 (VP)
—	排水管	天井内	耐火性硬質塩ビ管 (VP)
—	通気管	天井内	耐火性硬質塩ビ管 (VP)
—	換気ダクト	天井内	スパイラルダクト
—	既存管		

- ※2-3階便所注記
1. 衛生器具を新設する。
 2. 天井内及びPS内配管を新設する。
 3. 掃除口を新設する。
 4. 水飲み流しの給排水管に接続する。
 5. 天井扇及びダクト・パイプフードを新設する。
 6. 新設器具の給排水管は床コンクリートをコア抜きする。
 7. 換気ダクト用梁貫通スリーブは既存管を再使用する。

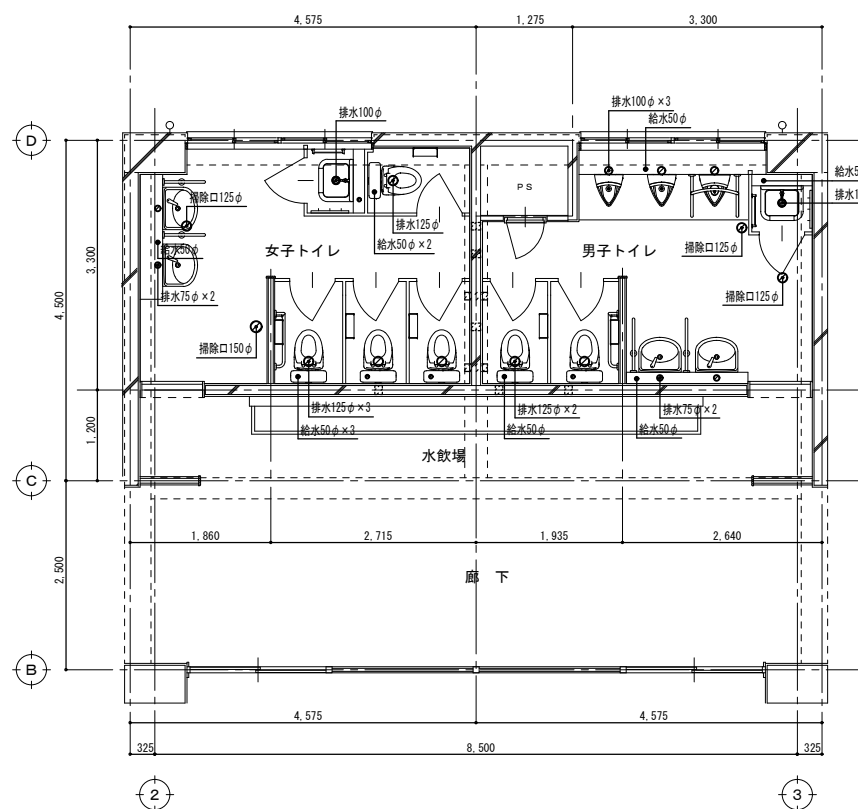
- ※1階便所注記
1. 新規にコア抜きする場合は鉄筋検査を行い、できるだけ鉄筋の切断は行わない。



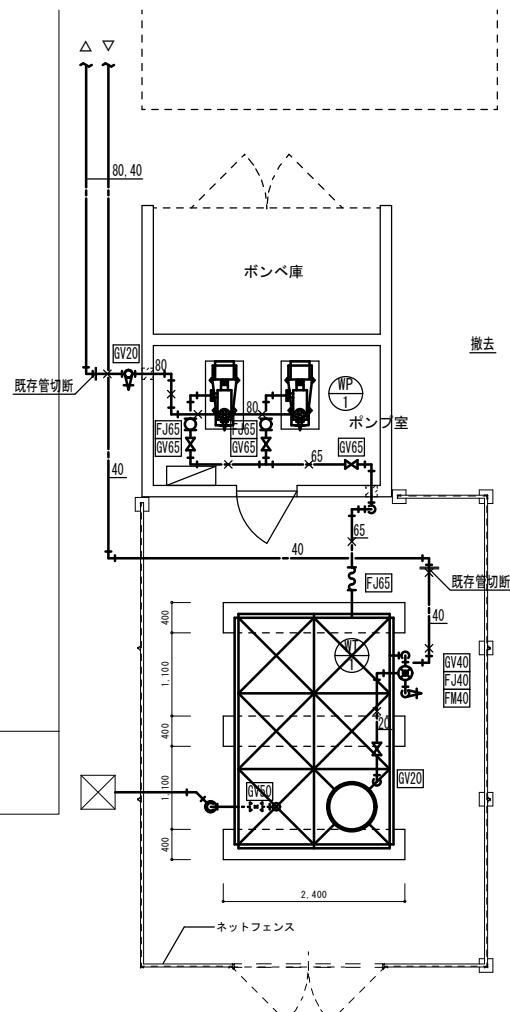
2-3階換気設備平面詳細図 (改修前) S=1/50



2-3階換気設備平面詳細図 (改修後) S=1/50



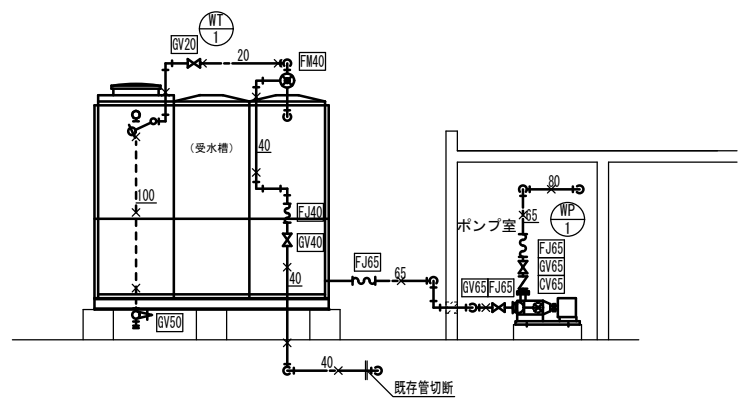
2-3階配管スリーブ参考図 (改修後) S=1/50



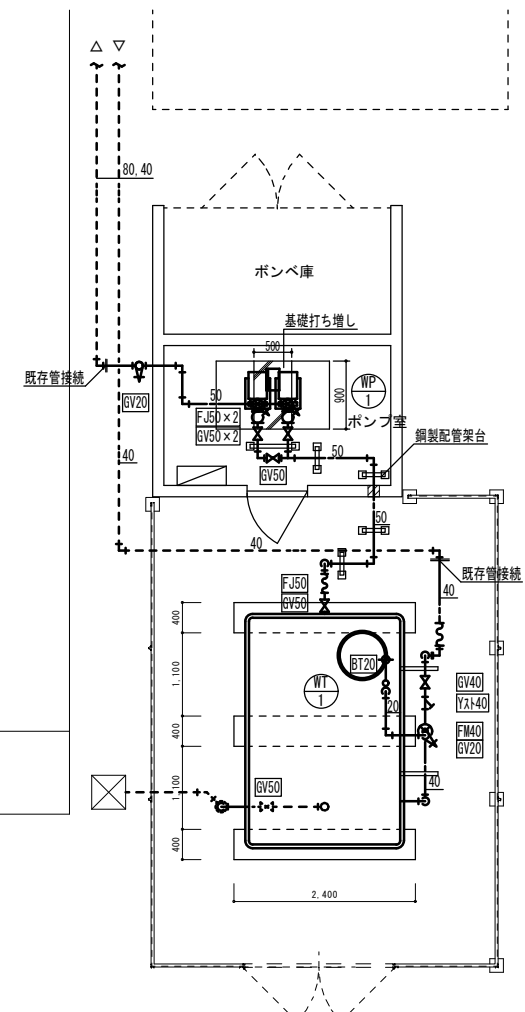
平面図 (改修前) S=1/50

既存撤去管凡例			
記号	名称	施工区分	仕様
—x—x—	給水管	機械室・架空	水道用塩ビライニング鋼管
—x—x—		地中埋設	水道用塩ビライニング鋼管

※受水槽・ポンプ室注記
 1. 受水槽及び揚水ポンプを撤去し処分する。
 2. 水槽及びポンプ回り配管 (保温共) の図示配管を撤去する。
 3. 水槽及びポンプの基礎は再使用する。



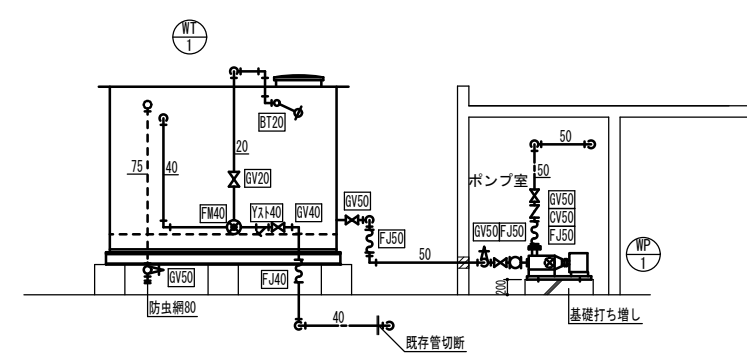
立面図 (改修前) S=1/50



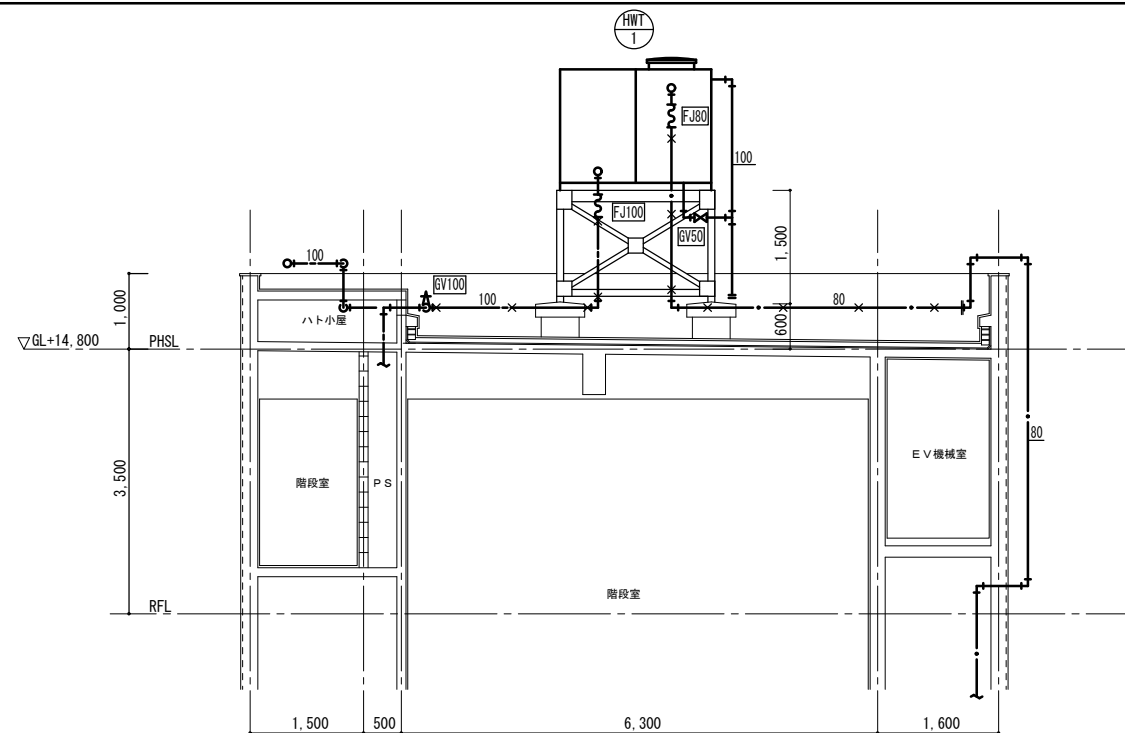
平面図 (改修後) S=1/50

新設管凡例			
記号	名称	施工区分	仕様
—	給水管	機械室・架空	耐衝撃性硬質塩ビ管 (HIVP)
—		地中埋設	耐衝撃性硬質塩ビ管 (HIVP)
—	排水管	架空	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
- - -	既存管		

※受水槽・ポンプ室注記
 1. 受水槽及び揚水ポンプを新設する。
 2. 水槽及びポンプ回り配管 (保温共) を新設する。
 3. 水槽及びポンプの基礎は再使用する。
 4. 新設ポンプの基礎は既存を打ち増しする。



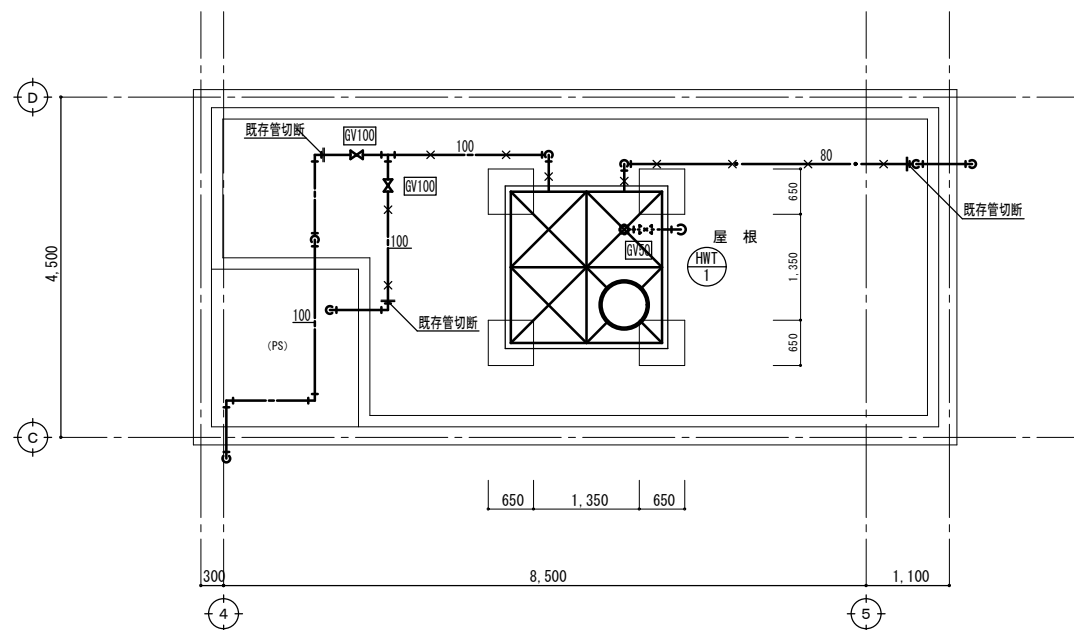
立面図 (改修後) S=1/50



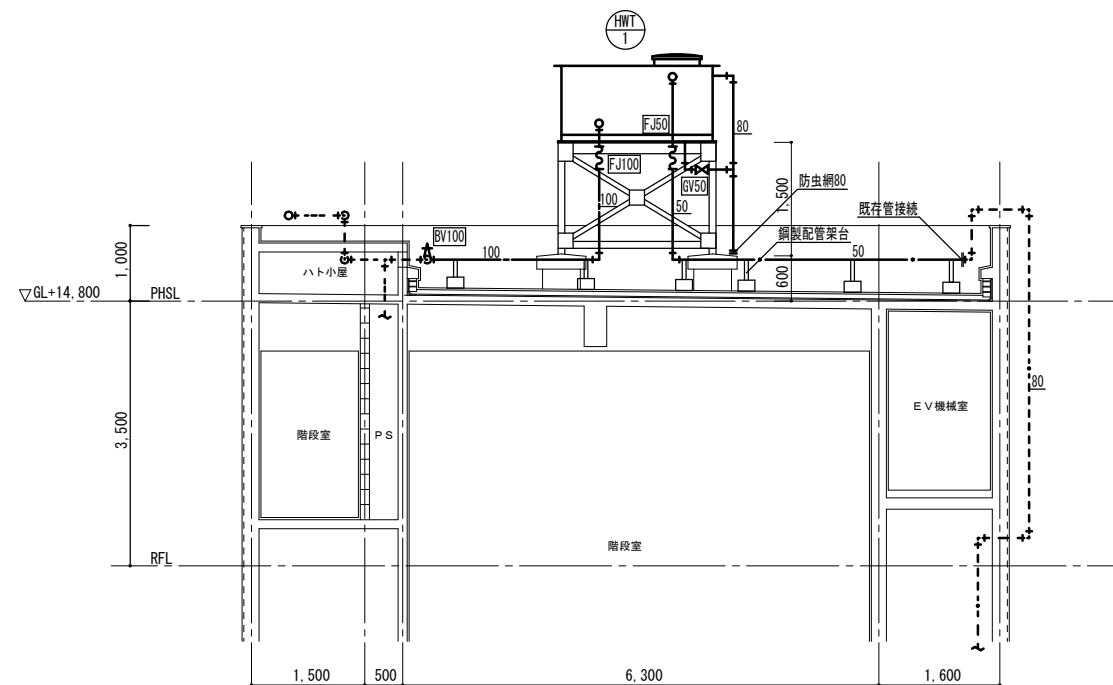
PH階断面図 (改修前) S=1/50

既存撤去管凡例			
記号	名称	施工区分	仕様
---x---	給水管	架空	水道用塩ビライニング鋼管

※高架水槽注記
 1. 高架水槽及び鉄骨架台を撤去し処分する。
 2. 水槽回り配管 (保温共) の図示配管を撤去する。
 3. 水槽及びポンプの基礎は再使用する。



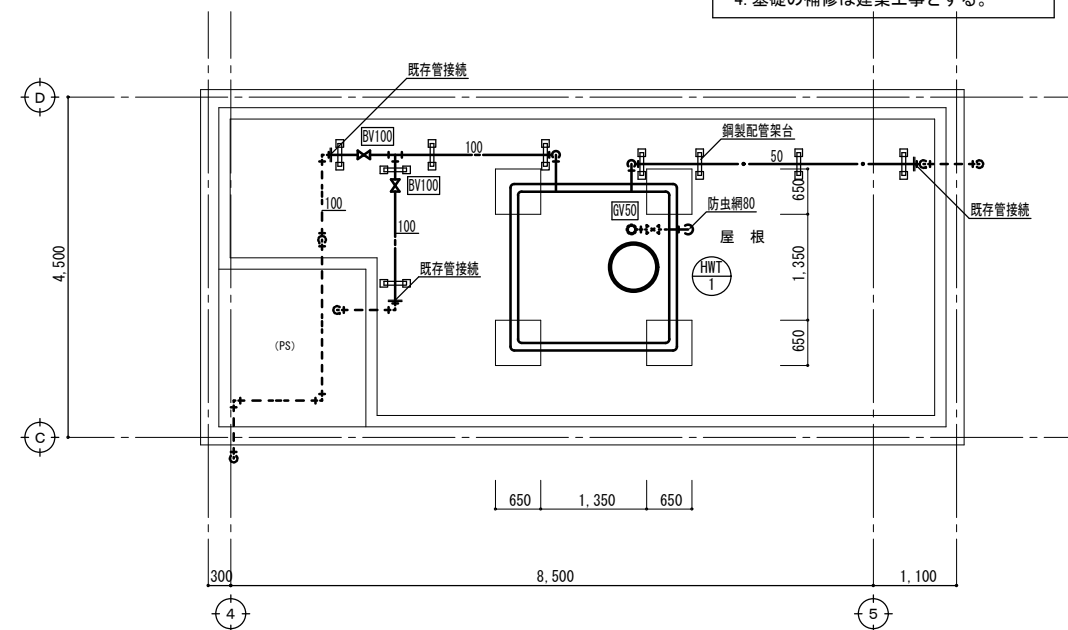
PH階屋根伏図 (改修前) S=1/50



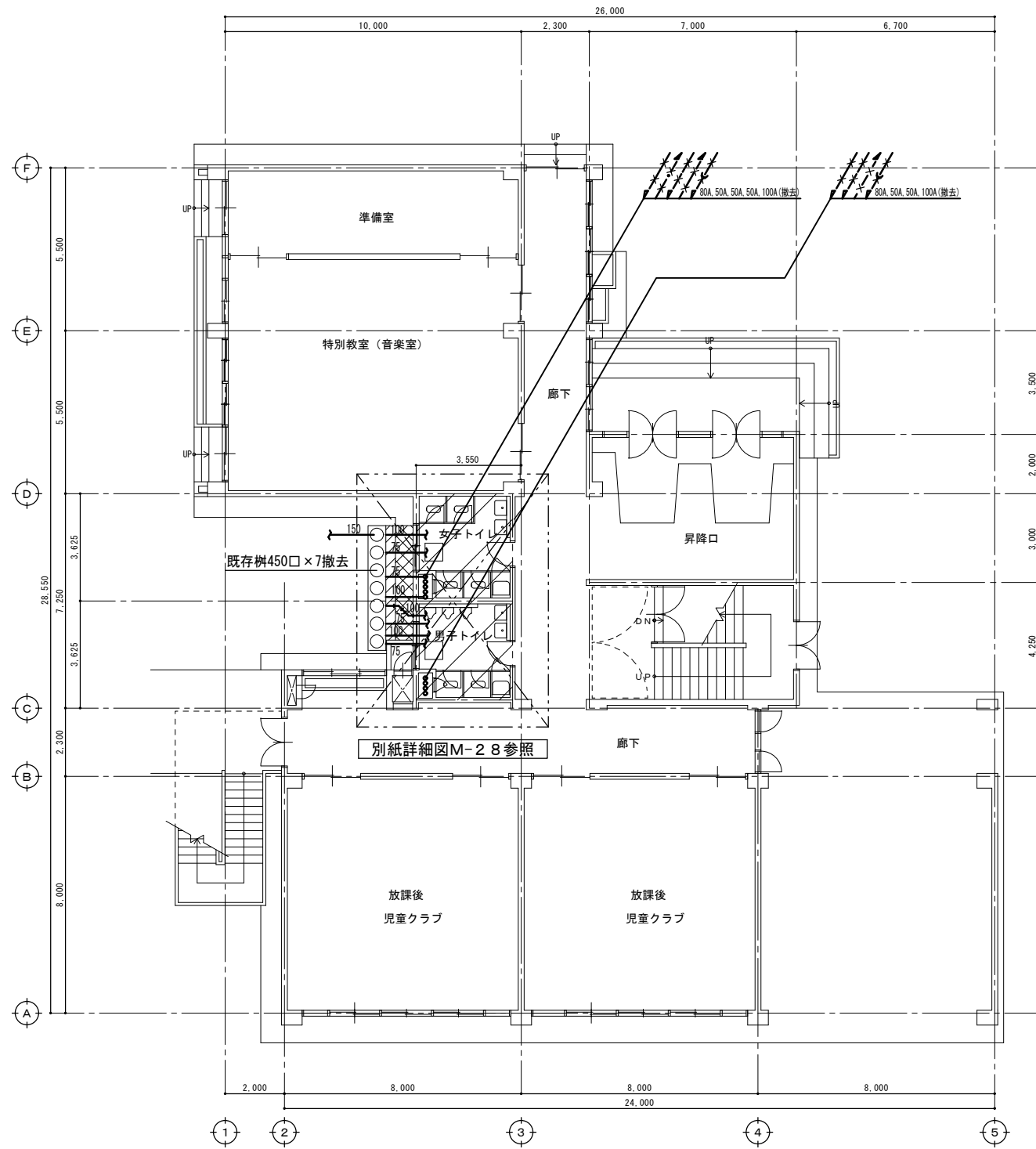
PH階断面図 (改修後) S=1/50

新設管凡例			
記号	名称	施工区分	仕様
---	給水管	架空	耐衝撃性硬質塩ビ管 (HIVP)
---	既存管		

※受水槽・ポンプ室注記
 1. 高架水槽及び鉄骨架台を新設する。
 2. 水槽回り配管 (保温共) を新設する。
 3. 水槽の基礎は再使用する。
 4. 基礎の補修は建築工事とする。



PH階屋根伏図 (改修後) S=1/50



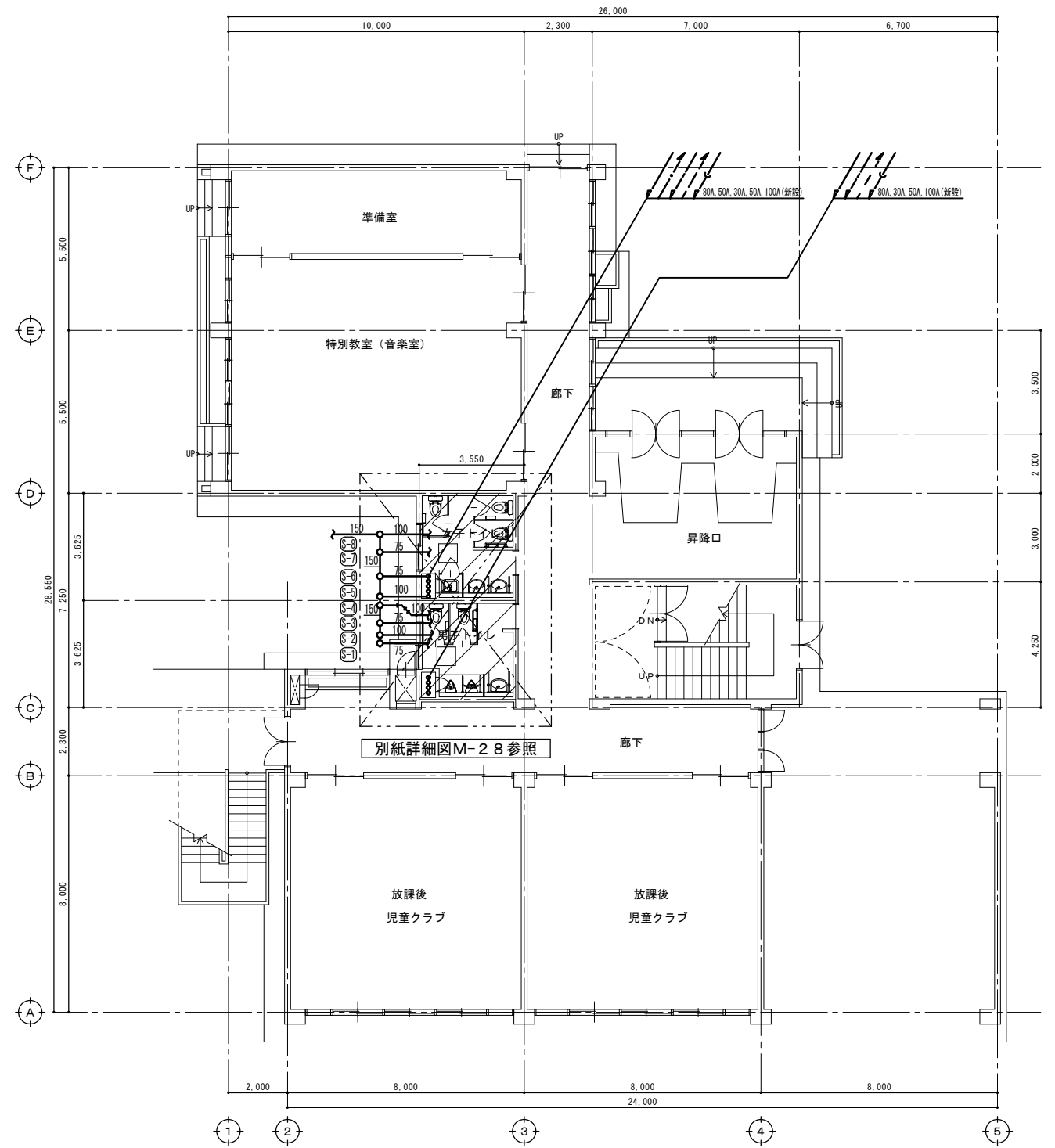
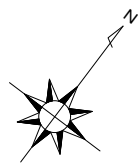
凡例

斜線：トイレ改修部分を表す。

1階平面図 (改修前) S=1/100

記号	名称	施工区分	仕様
—x—x—	給水管	ビツ内	水道用塩ビライニング鋼管
—x—x—	汚水管	ビツ内	排水用鋳鉄管
—x—x—	排水管	ビツ内	配管用炭素鋼管
—x—x—	排水管	ビツ内	排水用鉛管
—x—x—	通気管	ビツ内	配管用炭素鋼管

斜線	掘削・埋め戻し部分
格子	土間コンクリート取り壊し・補修部分



凡例

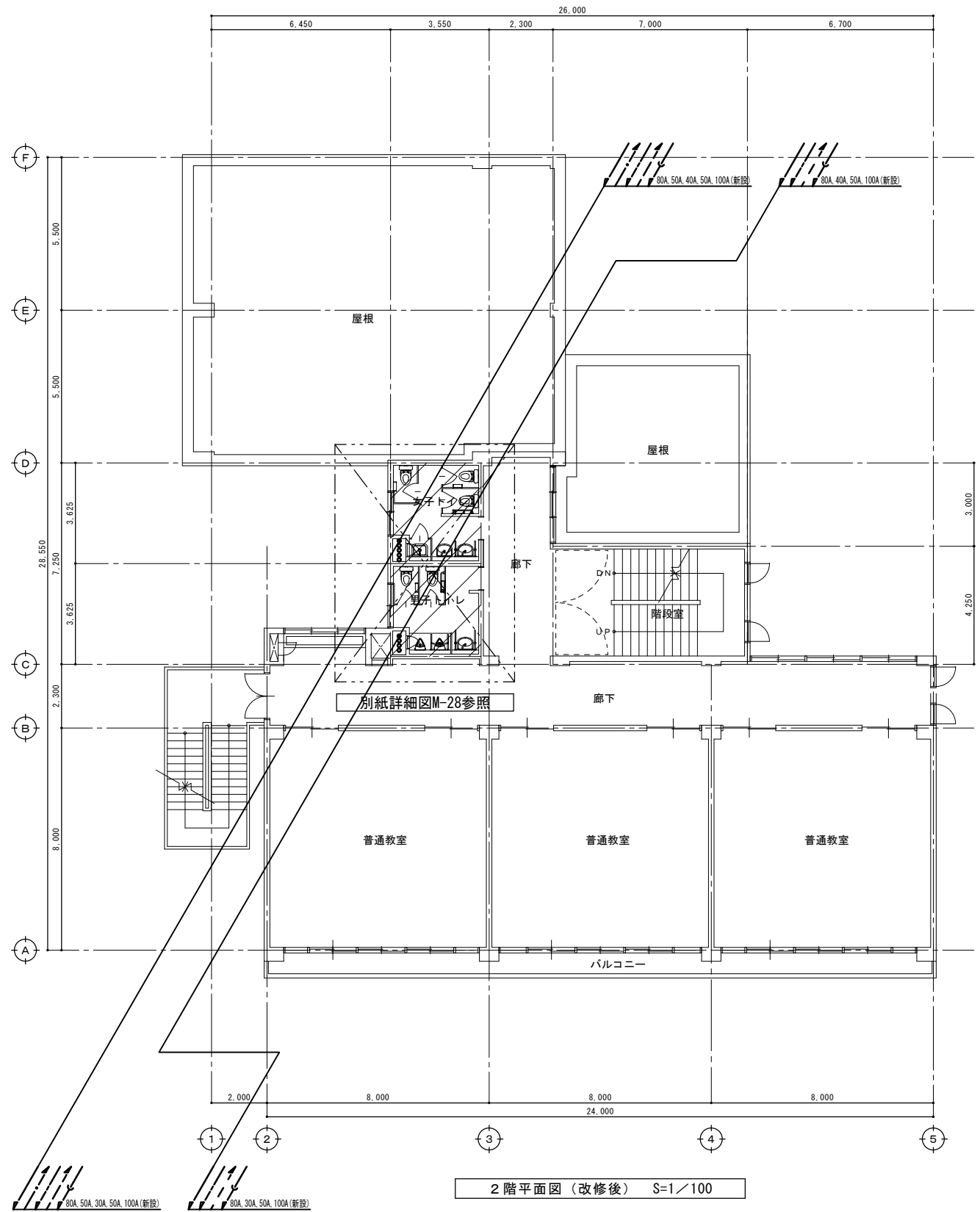
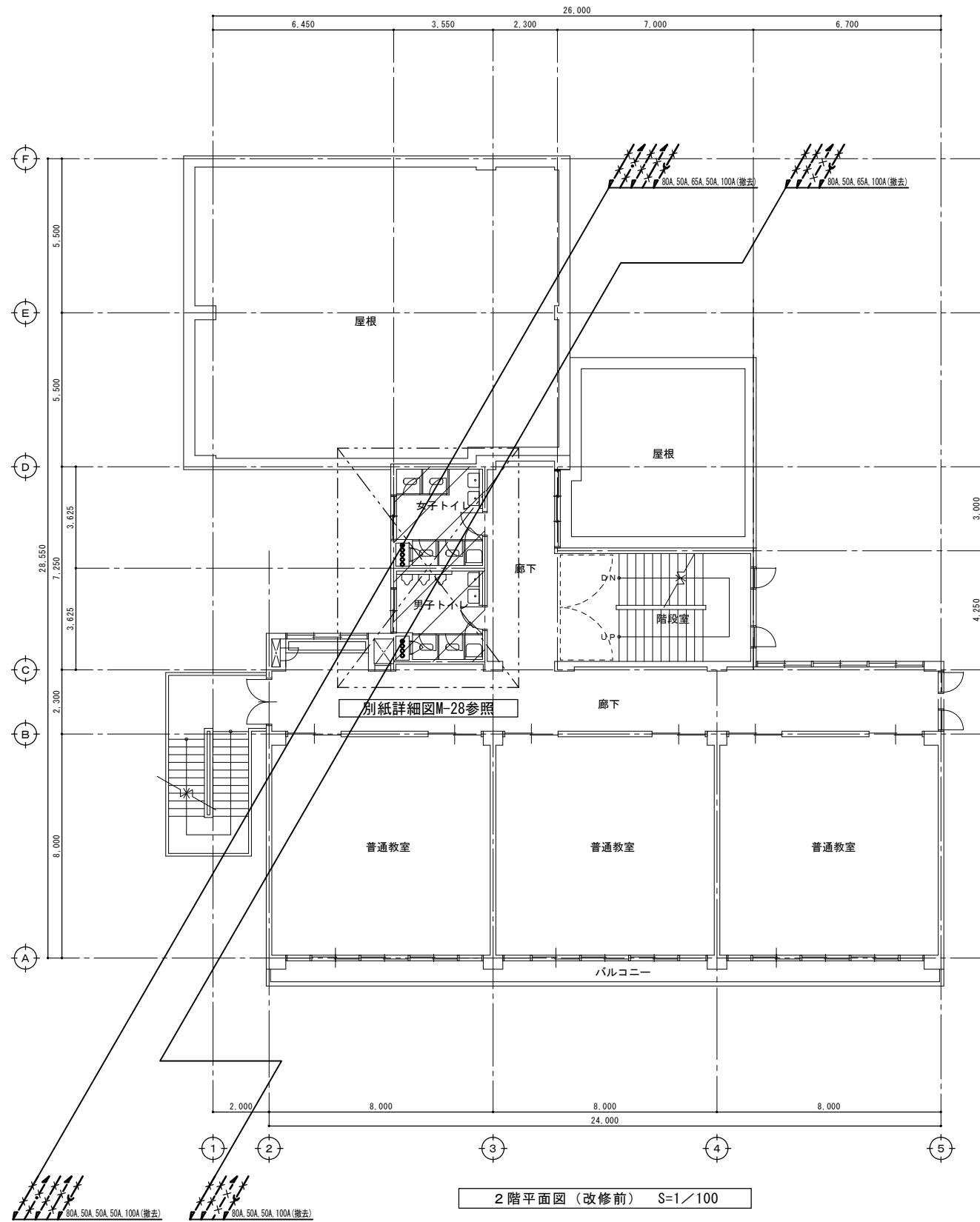
斜線：トイレ改修部分を表す。

1階平面図 (改修後) S=1/100

新設樹リスト

記号	名称	寸法 (mm)	樹形状	樹間距離 (m)	樹深さ (mm)	管底深さ (GL±(mm))	地盤高さ (GL±(mm))	蓋仕様	耐荷重	備考
S-1	小口径プラスチック樹	200φx150A	90L		450	450	0	塩ビ蓋		SUS製鎖付
S-2	汚水樹	90Y	90Y	0.4	470	470				
S-3	汚水樹	90Y	90Y	0.4	490	490				
S-4	汚水樹	90Y	90Y	0.5	510	510				
S-5	汚水樹	90Y	90Y	0.5	530	530				
S-6	汚水樹	90Y	90Y	0.6	550	550				
S-7	汚水樹	90Y	90Y	0.8	570	570				
S-8	汚水樹	90Y	90Y	0.6	600	600				

※ 樹深さ・地盤レベルは参考値とし、実際の施工に当たっては現地を充分調査の上、再度決定のこと。
 ※ 塩ビ蓋にSUS製鎖取付のこと。排水勾配は自治体の基準による。
 ※ 防護蓋及び塩ビ蓋の樹はコンクリート根巻きをすること。



2階平面図(改修前) S=1/100

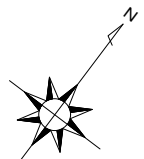
2階平面図(改修後) S=1/100

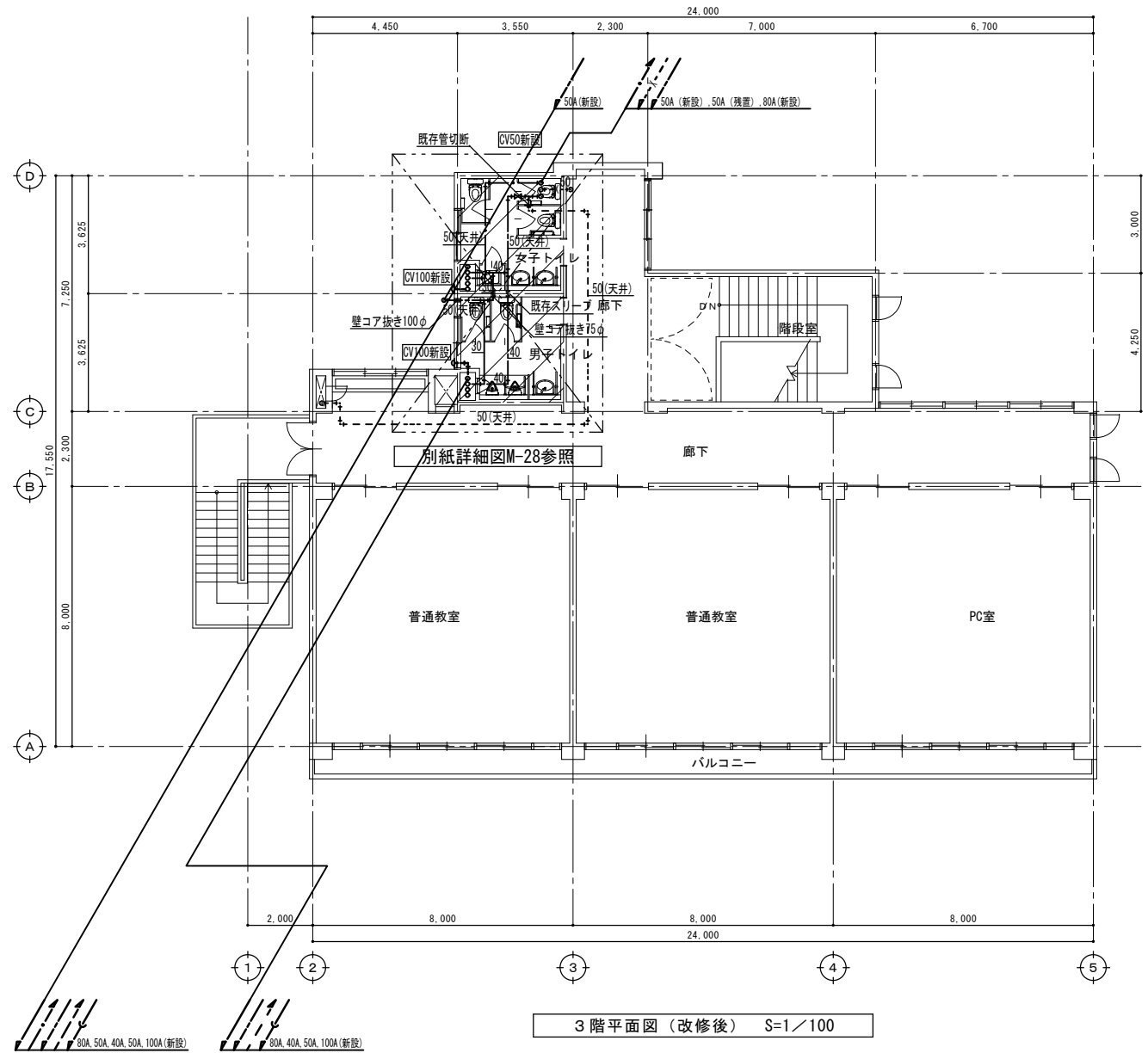
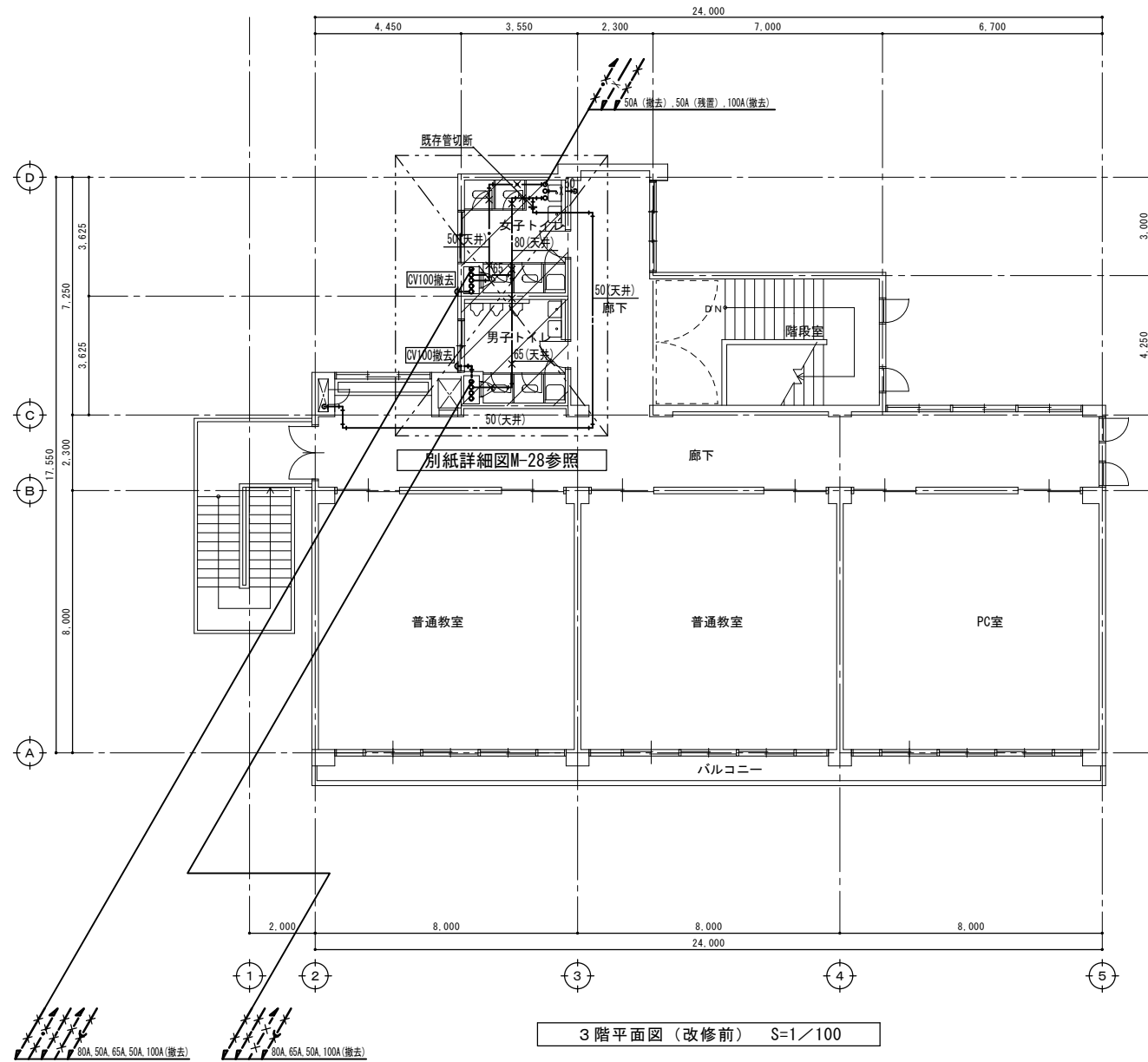
記号	名称	施工区分	仕様
—x—x—	給水管	天井内	水道用塩ビラインング鋼管
—x—x—	汚水管	天井内	排水用錆鉄管
—x—x—	排水管	天井内	配管用炭素鋼管
—x—x—	給水管	天井内	排水用鉛管
—x—x—	通気管	天井内	配管用炭素鋼管

凡例 : トイレ改修部分を表す。

記号	名称	施工区分	仕様
—x—x—	給水管	天井内	耐衝撃性硬質塩ビ管 (HIVP)
—x—x—	汚水管	天井内	耐火性硬質塩ビ塩化ビニル管 (VP)
—x—x—	排水管	天井内	
—x—x—	通気管	天井内	
—x—x—	既存管		

凡例 : トイレ改修部分を表す。





既存撤去管凡例

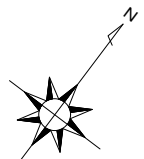
記号	名称	施工区分	仕様
—x—x—	給水管	天井内	水道用塩ビライニング鋼管
—x—x—	汚水管	天井内	排水用鋳鉄管
—x—x—	排水管	天井内	配管用炭素鋼管
—x—x—	排水管	天井内	排水用鉛管
—x—x—	通気管	天井内	配管用炭素鋼管

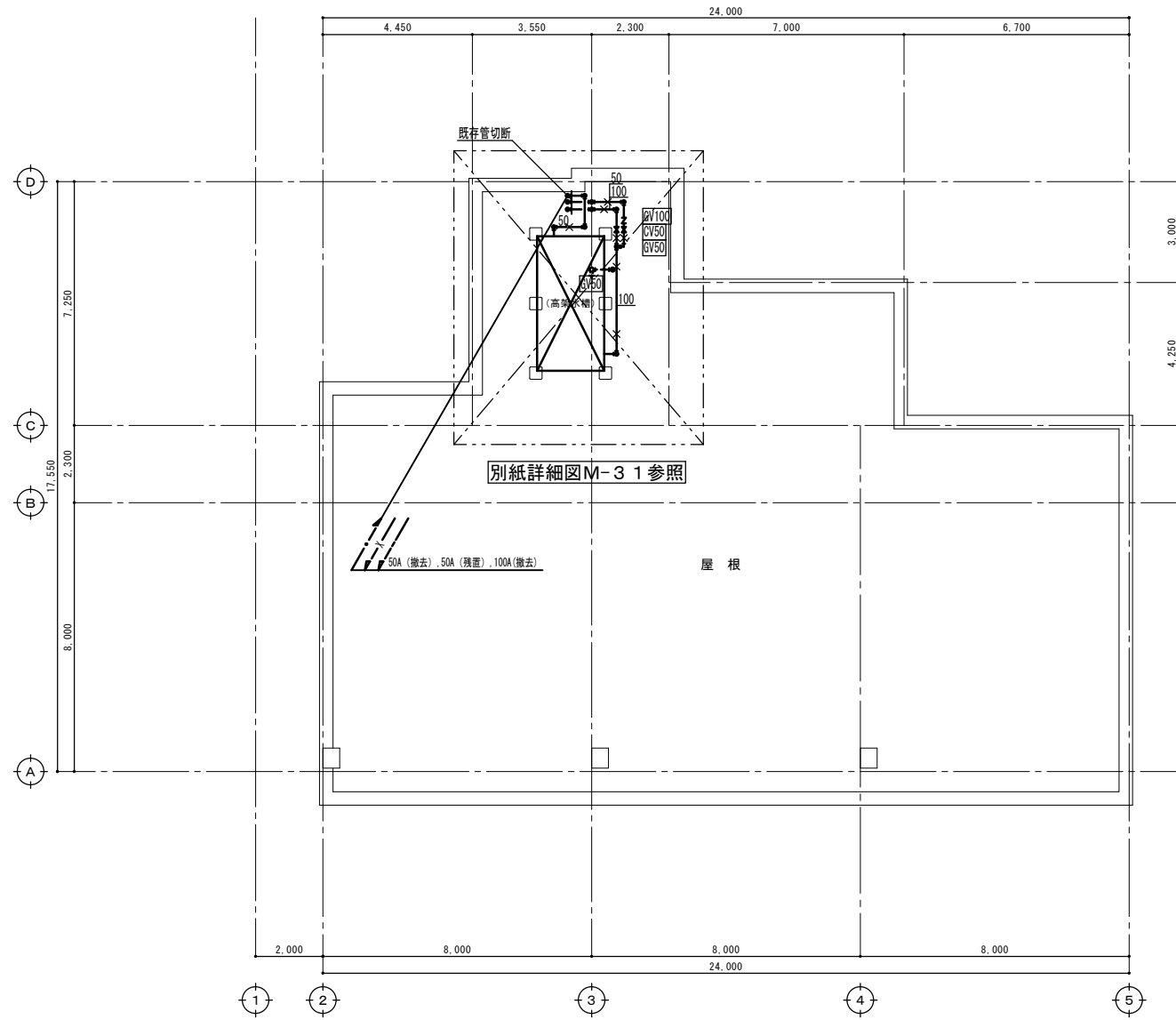
凡例 : トイレ改修部分を表す。

新設管凡例

記号	名称	施工区分	仕様
—x—x—	給水管	天井内	耐衝撃性硬質塩ビ管 (HIVP)
—x—x—	汚水管	天井内	耐火性硬質塩ビ管 (VP)
—x—x—	排水管	天井内	耐火性硬質塩ビ管 (VP)
—x—x—	通気管	天井内	耐火性硬質塩ビ管 (VP)
—x—x—	既存管		

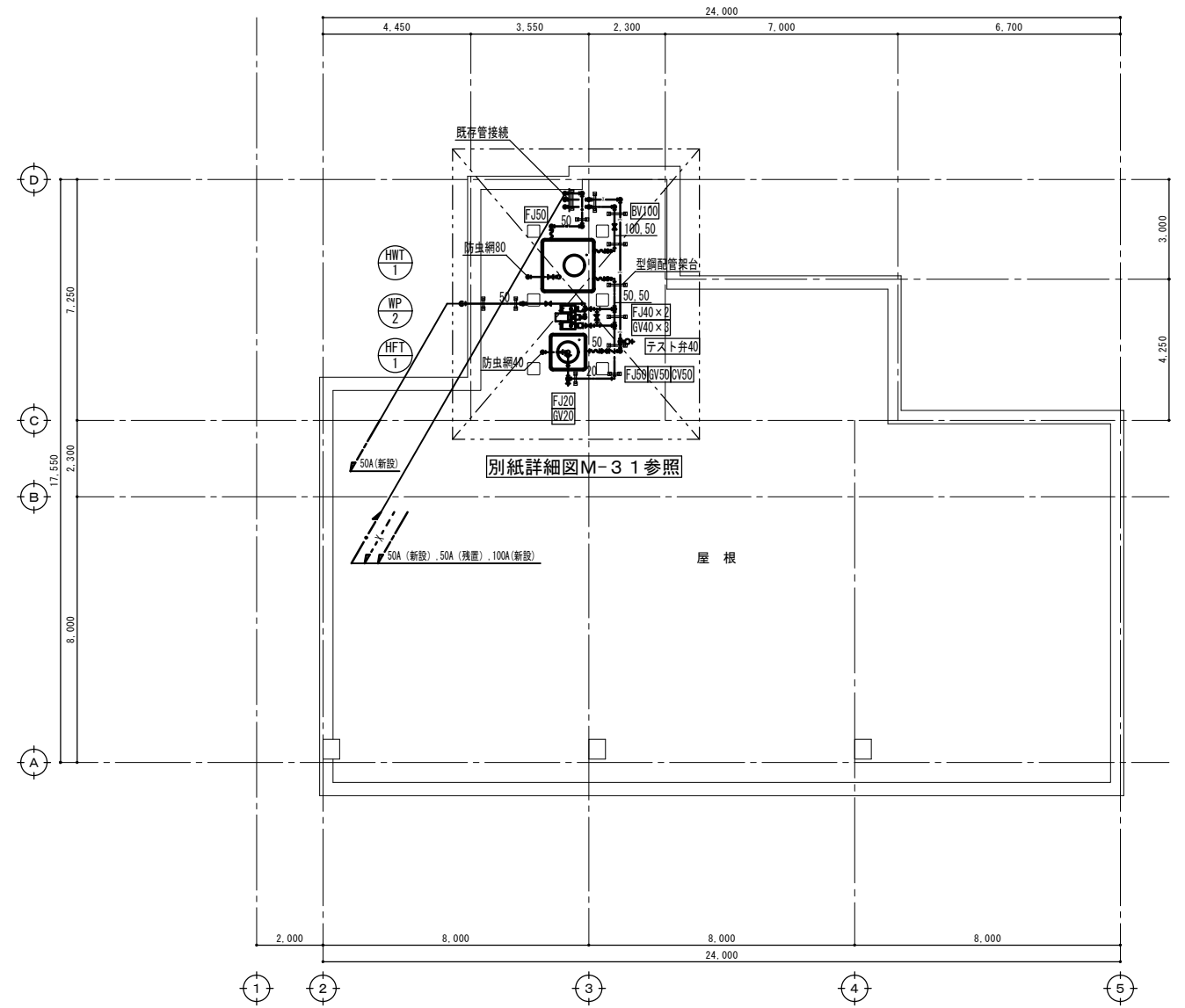
凡例 : トイレ改修部分を表す。





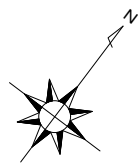
R階平面図 (改修前) S=1/100

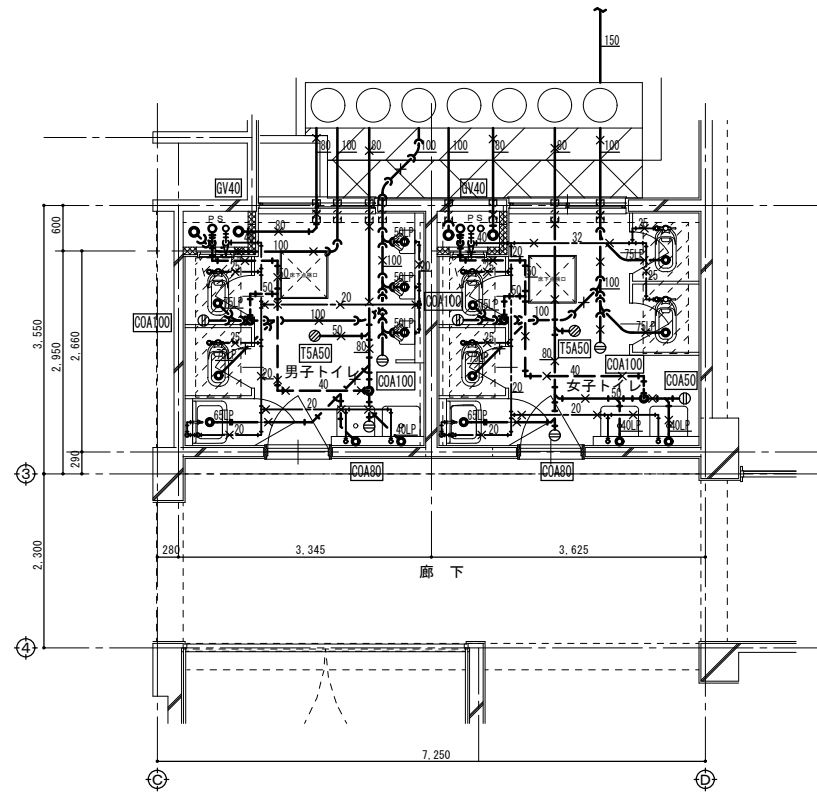
既存撤去管凡例			
記号	名称	施工区分	仕様
	給水管	架空	水道用塩ビライニング鋼管
	消火栓管	架空	配管用炭素鋼管



R階平面図 (改修後) S=1/100

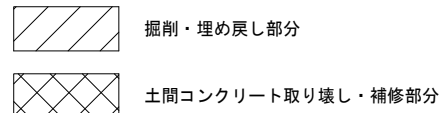
新設管凡例			
記号	名称	施工区分	仕様
	給水管	架空	耐衝撃性硬質塩ビ管 (HIVP)
	消火栓管	架空	配管用炭素鋼管
	既存管		



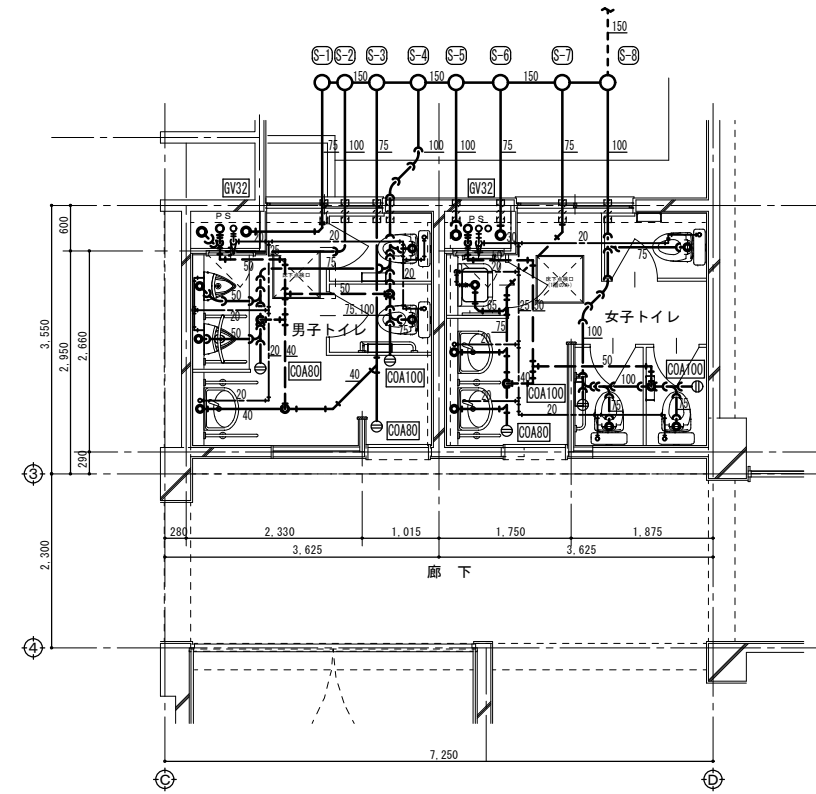


1階衛生設備平面詳細図 (改修前) S=1/50

記号	名称	施工区分	仕様
—x—x—	給水管	ビッド内	水道用塩ビライニング鋼管
—x—x—	汚水管	ビッド内	排水用鉄管
—x—x—	排水管	ビッド内	配管用炭素鋼管
—x—x—	排水用鉛管	ビッド内	排水用鉛管
—x—x—	通気管	ビッド内	配管用炭素鋼管
—x—x—	換気ダクト	天井内	スパイラルダクト



- ※1階便所注記
1. 衛生器具及び水栓を撤去し処分する。
 2. ビッド内及びP.S.内配管（保温共）を撤去する。
 3. 掃除口、床排水トラップを撤去する。
 4. 排水管は樹接続まで撤去する。
 5. 天井扇及びダクト、バンドキャップを撤去する。
 6. 和風便器撤去後の開口閉鎖（補強共）は建築工事とする。
 7. 屋外の既存埋設排水管は樹接続まで撤去する。

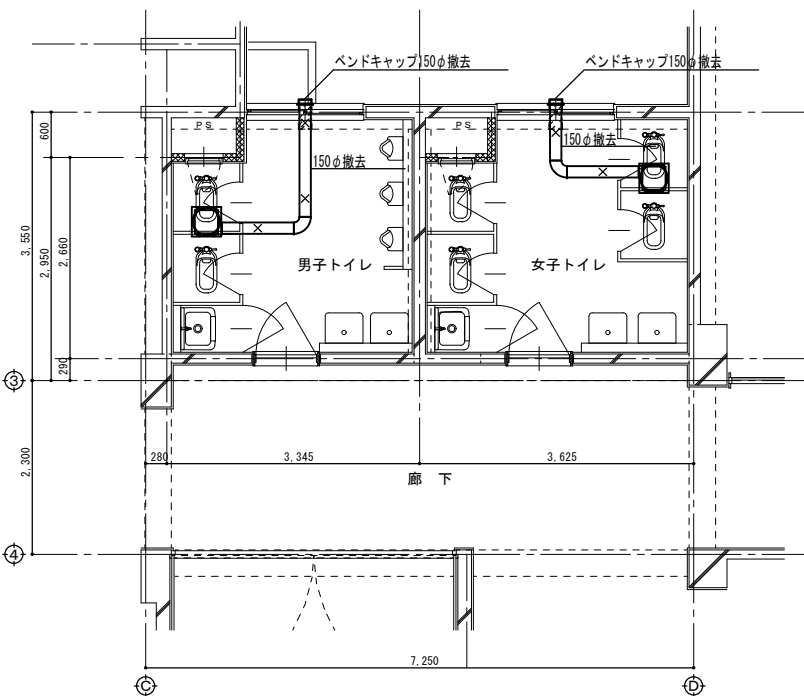


1階衛生設備平面詳細図 (改修後) S=1/50

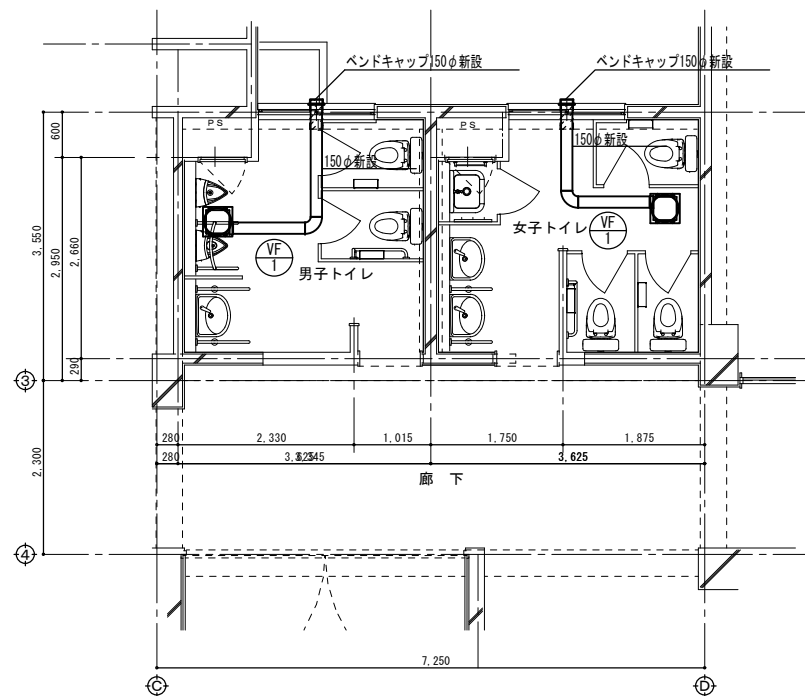
記号	名称	施工区分	仕様
—●—●—	給水管	ビッド内	耐衝撃性硬質塩ビ管 (HIVP)
—○—○—	汚水管	ビッド内	硬質塩化ビニル管 (VP)
—□—□—	排水管	ビッド内	硬質塩化ビニル管 (VP)
—◇—◇—	通気管	ビッド内	硬質塩化ビニル管 (VP)
—○—○—	換気ダクト	天井内	スパイラルダクト
—x—x—	既存管		

- ※1階便所注記
1. 衛生器具を新設する。
 2. ビッド及びP.S.内配管を新設する。
 3. 掃除口を新設する。
 4. 排水管を樹まで新設し、接続口を補修する。
 5. 天井扇及びダクト・パイプフードを新設する。
 6. 新設器具の給排水管は床コンクリートをコア抜く。
 7. 換気ダクト用梁貫通スリーブは既存を再使用する。
 8. 図示屋外排水管及びプラスチック樹を新設する。

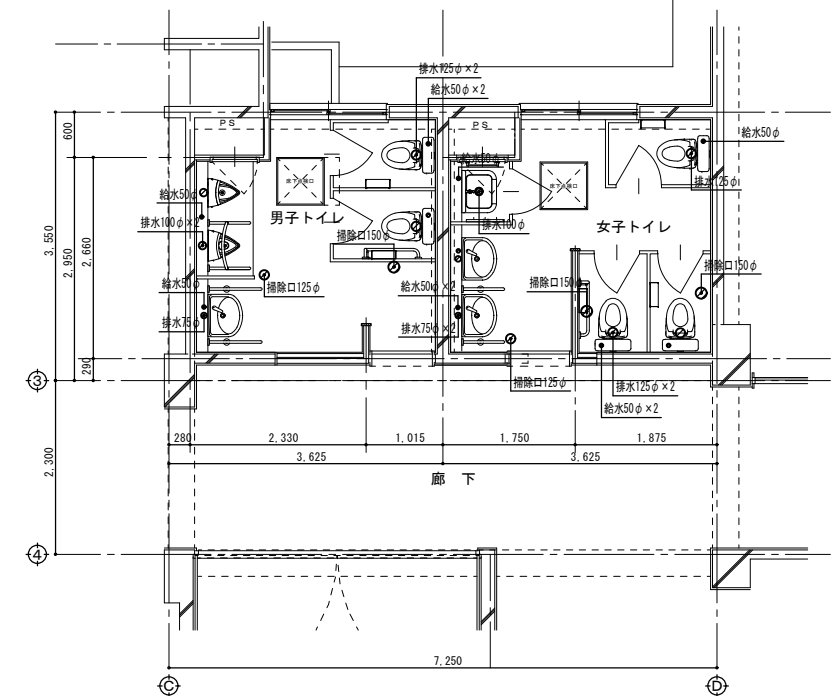
- ※1階便所注記
1. 新規にコア抜く場合は鉄筋検査を行い、できるだけ鉄筋の切断は行わない。



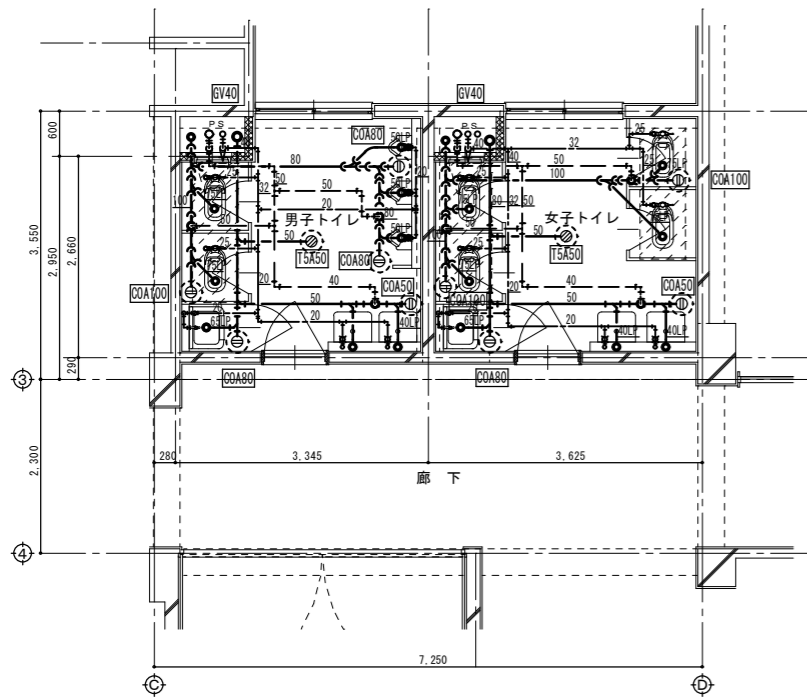
1階換気設備平面詳細図 (改修前) S=1/50



1階換気設備平面詳細図 (改修後) S=1/50



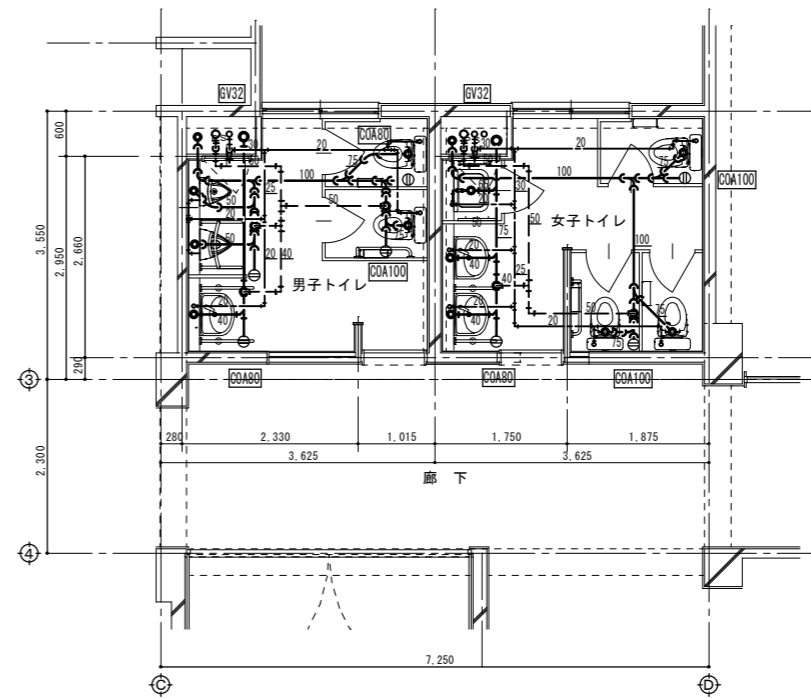
1階配管スリーブ参考図 (改修後) S=1/50



2・3階衛生設備平面詳細図 (改修前) S=1/50

記号	名称	施工区分	仕様
---x---	給水管	天井内	水道用塩ビライニング鋼管
---x<---	汚水管	天井内	排水用鑄鉄管
---x---	排水管	天井内	配管用炭素鋼鋼管
---x---	排水管	天井内	排水用鉛管
---x---	通気管	天井内	配管用炭素鋼鋼管
---x---	換気ダクト	天井内	スパイラルダクト

※2-3階便所注記
 1. 衛生器具及び水栓を撤去し処分する。
 2. 天井内及びPS内配管 (保温共) を撤去する。
 3. 掃除口、床排水トラップを撤去する。
 4. 天井扇及びダクト、バンドキャップを撤去する。
 5. 和風便器撤去後の開口閉鎖 (補強共) は建築工事とする。

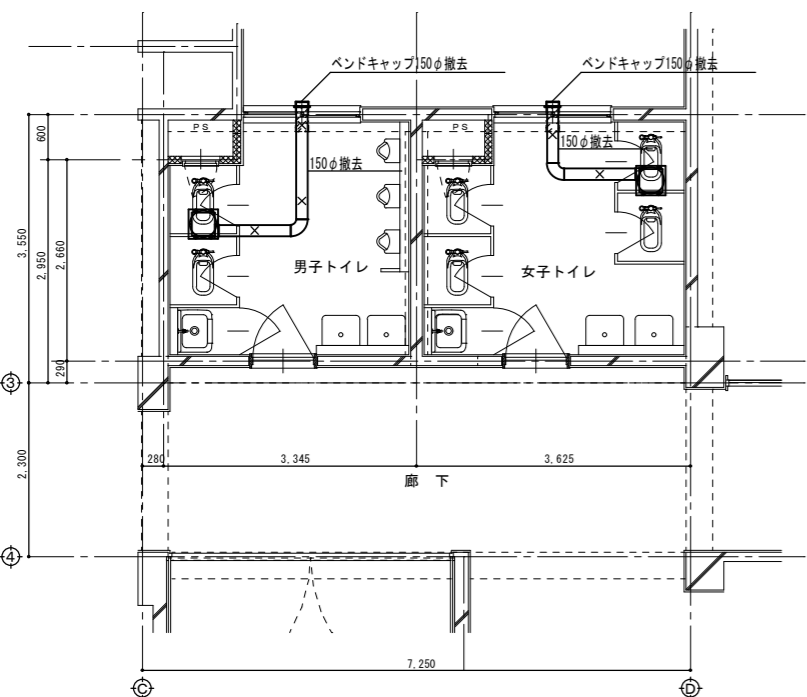


2・3階衛生設備平面詳細図 (改修後) S=1/50

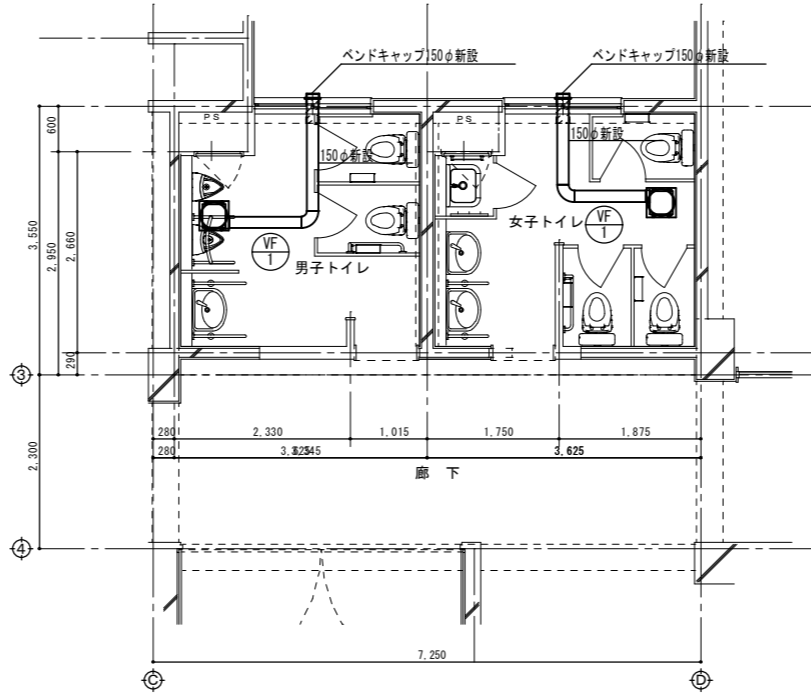
記号	名称	施工区分	仕様
---	給水管	天井内	耐衝撃性硬質塩ビ管 (HIVP)
---<---	汚水管	天井内	耐火性硬質塩ビ管 (VP)
---	排水管	天井内	耐火性硬質塩ビ管 (VP)
---	通気管	天井内	耐火性硬質塩ビ管 (VP)
---	換気ダクト	天井内	スパイラルダクト
---	既存管		

※2-3階便所注記
 1. 衛生器具を新設する。
 2. 天井内及びPS内配管を新設する。
 3. 掃除口を新設する。
 4. 天井扇及びダクト・パイプフードを新設する。
 5. 新設器具の給排水管は床コンクリートをコア抜きする。
 6. 換気ダクト用梁貫通スリーブは既存を再使用する。

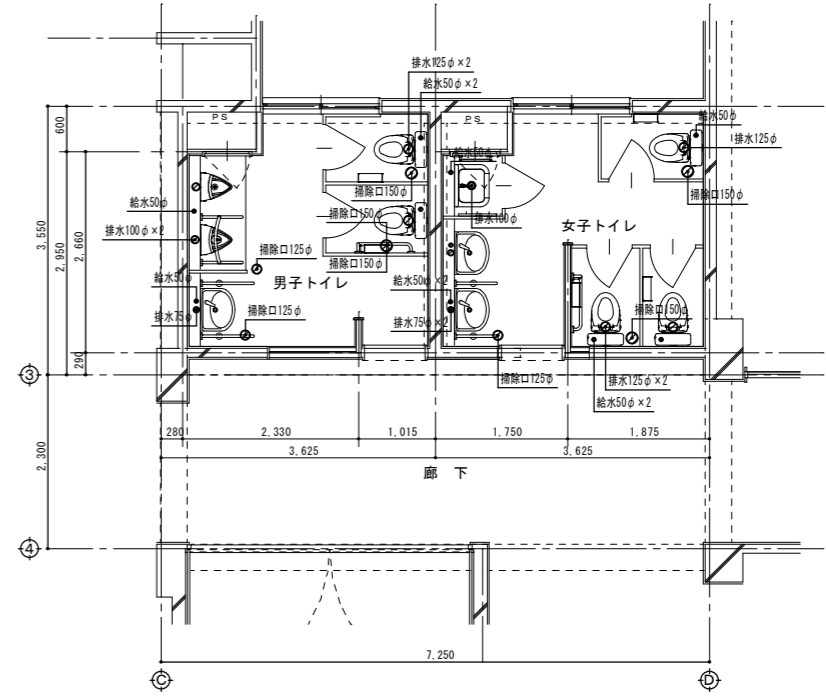
※2-3階便所注記
 1. 新規にコア抜きする場合は鉄筋検査を行い、できるだけ鉄筋の切断は行わない。



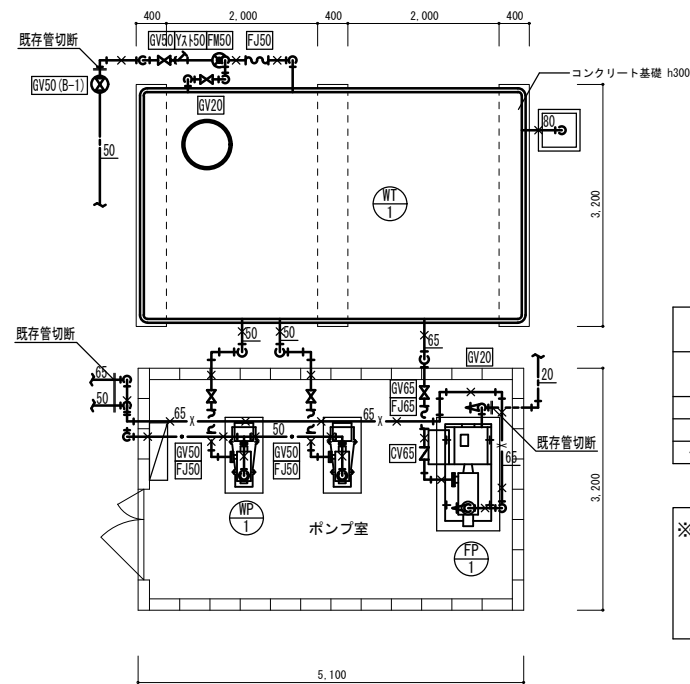
2・3階換気設備平面詳細図 (改修前) S=1/50



2・3階換気設備平面詳細図 (改修後) S=1/50



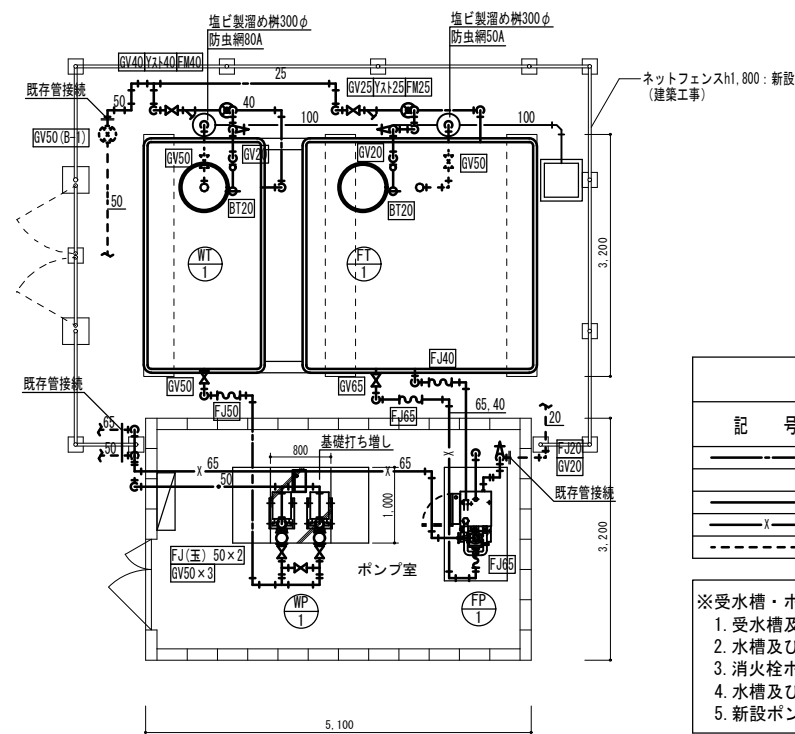
2・3階配管スリーブ参考図 (改修後) S=1/50



平面図 (改修前) S=1/50

既存撤去管凡例			
記号	名称	施工区分	仕様
---x---	給水管	機械室・架空	水道用塩ビライニング鋼管
---		地中埋設	水道用塩ビライニング鋼管
---x---	消火栓管	機械室・架空	配管用炭素鋼管

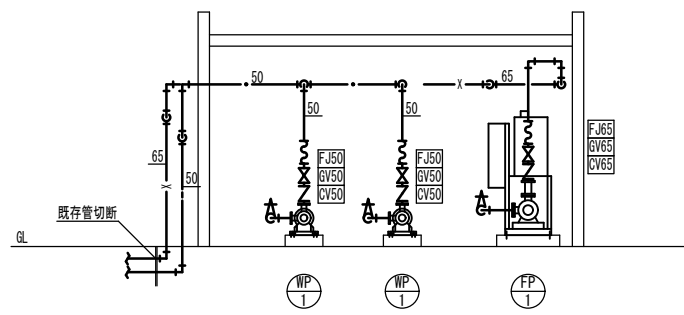
- ※受水槽・ポンプ室注記
1. 受水槽及び揚水ポンプを撤去し処分する。
 2. 水槽及びポンプ回り配管 (保温共) の図示配管を撤去する。
 3. 消火栓ポンプ及びポンプ回り配管 (保温共) の図示配管を撤去する。
 4. 水槽及びポンプの基礎は再使用する。



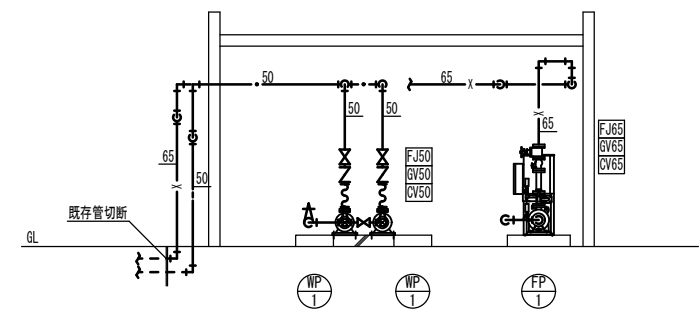
平面図 (改修後) S=1/50

新設管凡例			
記号	名称	施工区分	仕様
---	給水管	機械室・架空	耐衝撃性硬質塩ビ管 (HIVP)
---		地中埋設	耐衝撃性硬質塩ビ管 (HIVP)
---	排水管	地中埋設	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
---x---	消火栓管	機械室・架空	配管用炭素鋼管
---	既存管		

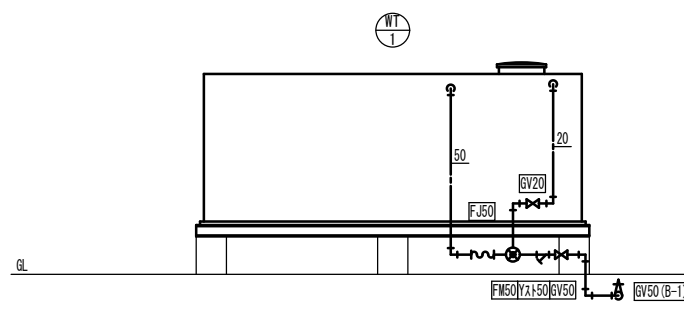
- ※受水槽・ポンプ室注記
1. 受水槽及び揚水ポンプを新設する。
 2. 水槽及びポンプ回り配管 (保温共) を新設する。
 3. 消火栓ポンプ及びポンプ回り配管を新設する。
 4. 水槽及びポンプの基礎は再使用する。
 5. 新設ポンプの基礎は既存を打ち増しする。



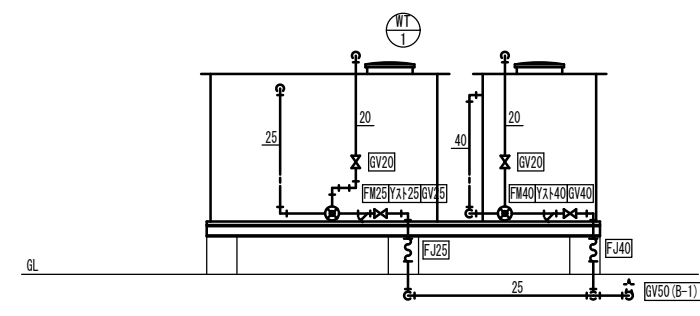
断面図 (改修前) S=1/50



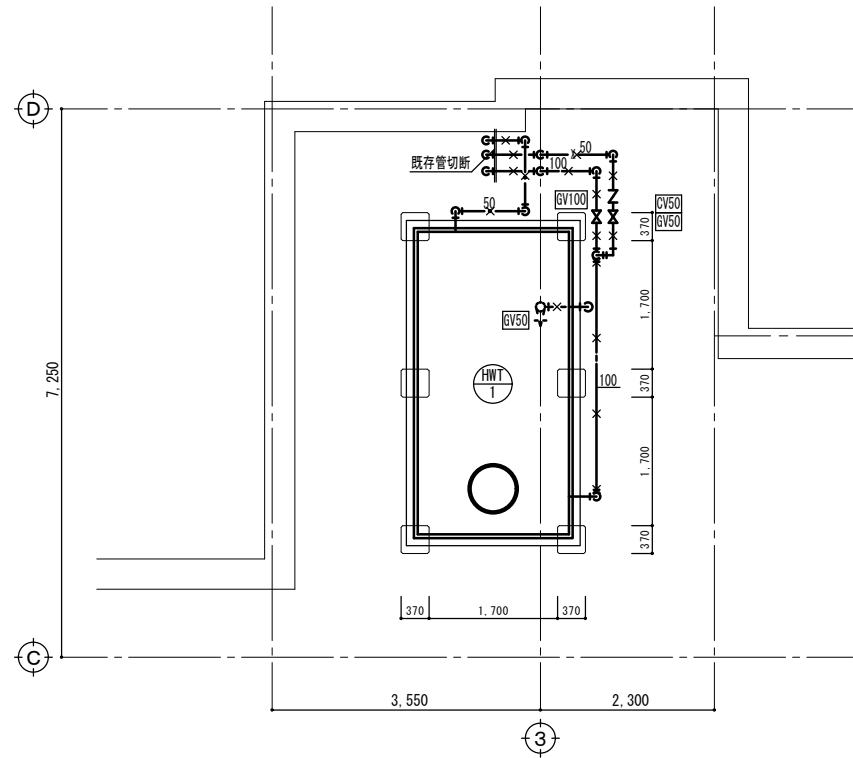
断面図 (改修後) S=1/50



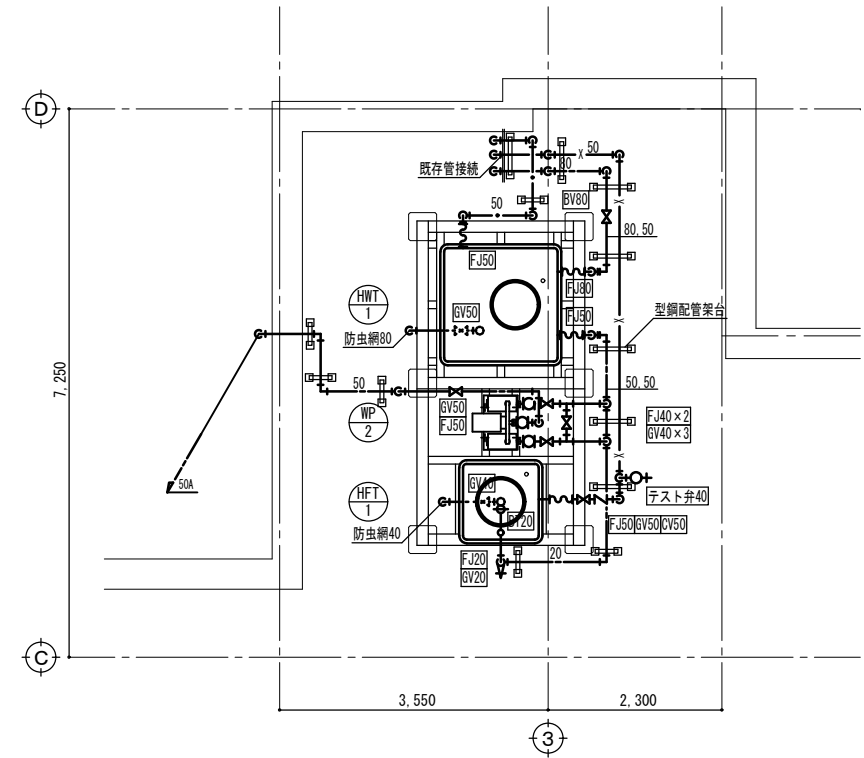
立面図 (改修前) S=1/50



立面図 (改修後) S=1/50



R階屋根根伏図 (改修前) S=1/50



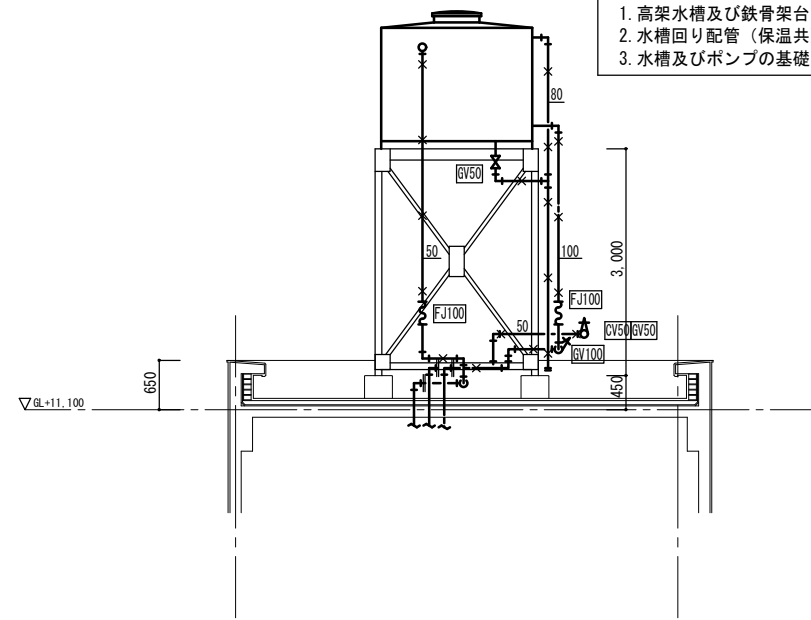
R階屋根根伏図 (改修前) S=1/50

既存撤去管凡例			
記号	名称	施工区分	仕様
---x---	給水管	架空	水道用塩ビラインング鋼管
---x---	消火栓管	架空	配管用炭素鋼鋼管

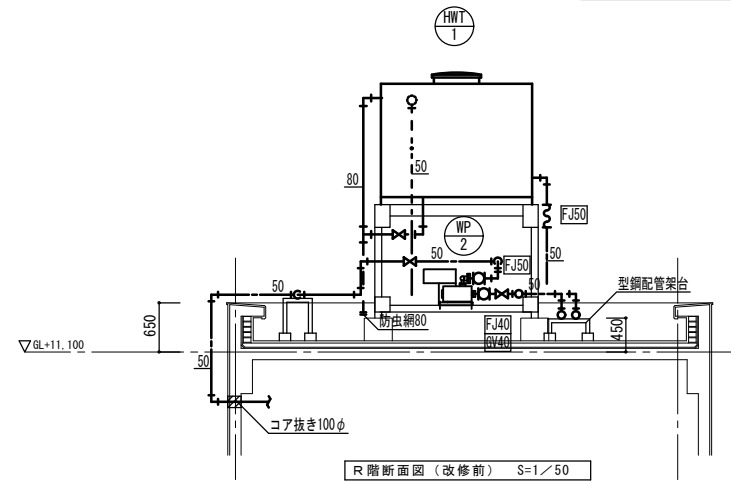
新設管凡例			
記号	名称	施工区分	仕様
---	給水管	架空	耐衝撃性硬質塩ビ管 (HIVP)
---x---	消火栓管	架空	配管用炭素鋼鋼管
---	既存管		

※高架水槽注記
 1. 高架水槽及び鉄骨架台を撤去し処分する。
 2. 水槽回り配管 (保温共) の図示配管を撤去する。
 3. 水槽及びポンプの基礎は再使用する。

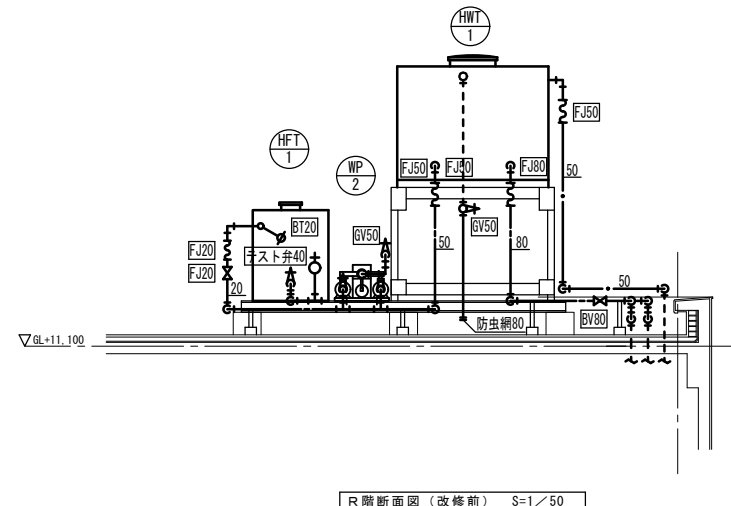
※受水槽・ポンプ室注記
 1. 高架水槽及び鉄骨架台を新設する。
 2. 3階用自動加圧給水ポンプを新設する。
 3. 水槽及びポンプ回り配管 (保温共) を新設する。
 4. 消火栓ほ補給水槽回り配管 (保温共) を新設する。
 5. 水槽の基礎は再使用する。
 6. 基礎の補修は建築工事とする。



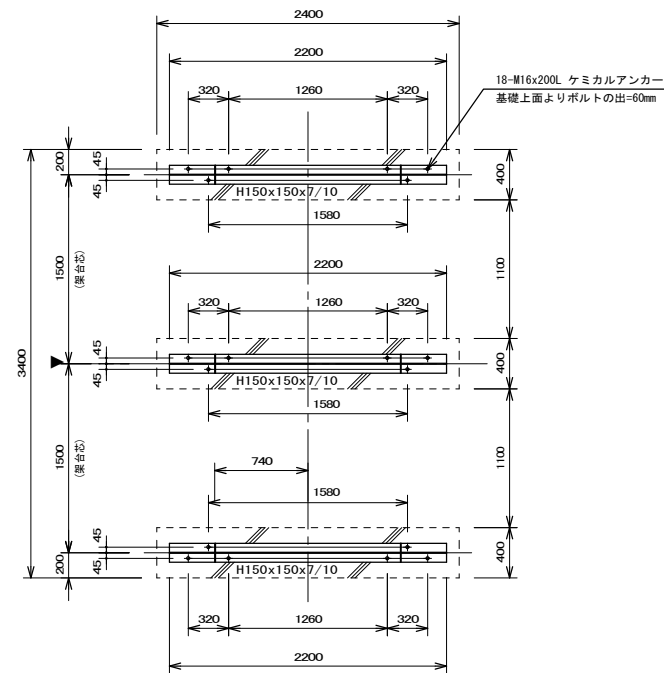
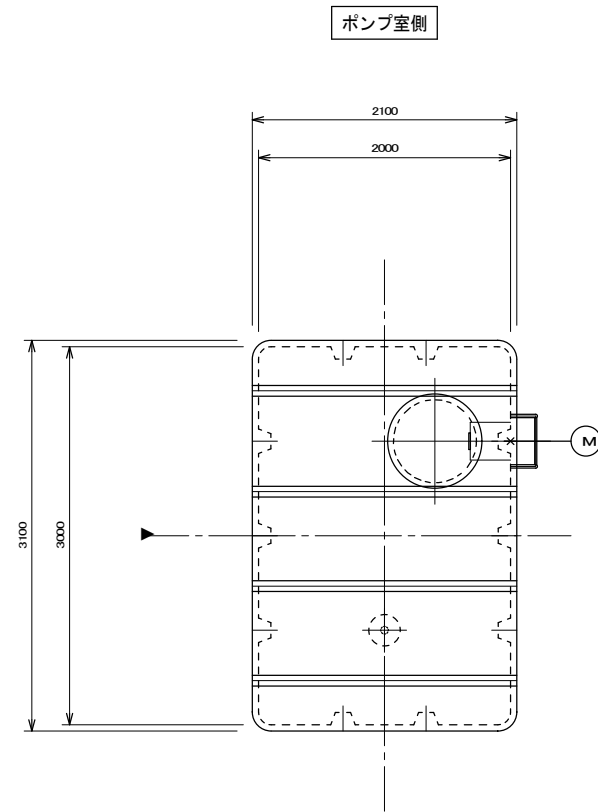
R階断面図 (改修前) S=1/50



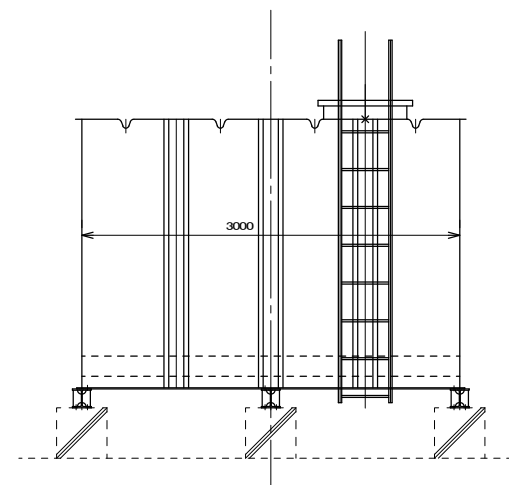
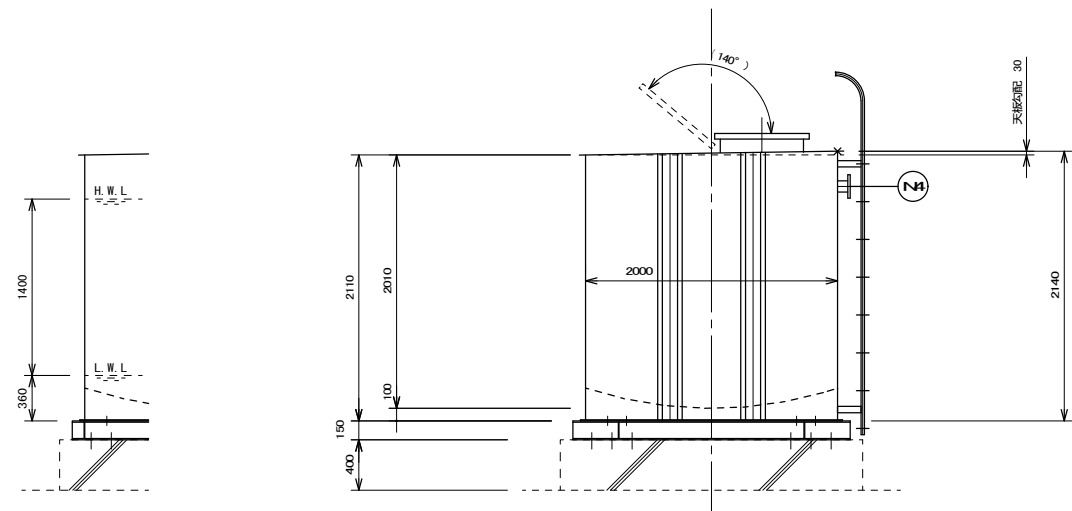
R階断面図 (改修前) S=1/50



R階断面図 (改修前) S=1/50



アンカーボルト位置図
(既設基礎使用) ※基礎寸法は、製作時実測のこと



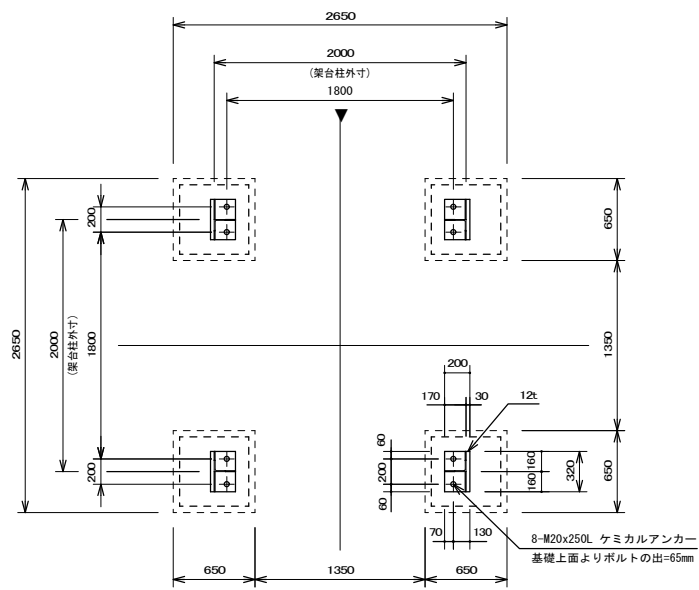
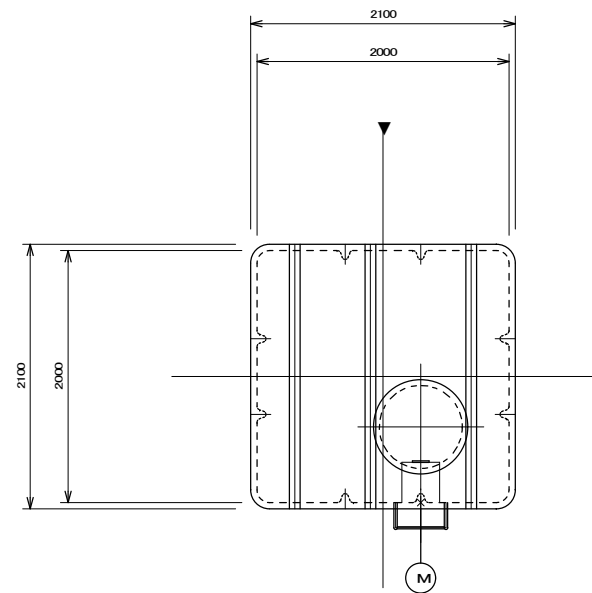
ノズル表						
符号	名称	呼数	管材	継手	備考	
N-1	給水口	1			防虫網付 (PVC)	
N-2	給水口	1			ホールドアップ	
N-3	揚水口	65A	1	SGP	JIS10KF	
N-4	溢水口	1				
N-5	排水口	1				
N-6	通気口	1			防虫網付 (PVC)	
N-7	電極座	1			防虫網+カバー付 (PVC)	
N-8	緊急時採水口	1			ソケット付フランジ付	
II	マンホール	φ650	1	SS400	-	覆材カバー

Mマンホールは内蓋付とする(合成樹脂製)
外面のフランジ材質はSS400とする

国土交通省告示構造基準適合品			
鋼板製一体型水槽			
材質	SS400		
容量	呼称= 有効=8m ³		
板厚	天=4.5mm側=4.5mm底=4.5mm (JIS規格品使用)		
製品質量	水槽=1660kg 架台=230kg		
材質	厚生労働省告示基準 適合エポキシ樹脂		
内面施工	加熱硬化型エポキシライニング		
	NE-204 厚サ=0.4mm以上		
外面施工	加熱硬化型エポキシライニング		
	NE-204 厚サ=0.2mm以上		
施工法	無溶剤型ホットエアレススプレー		
外装色	指定色		
設計震度	KH=1.5 KV=0.75		
内梯子	合成樹脂製		
外梯子	SGPの上溶融亜鉛メッキ仕上 (HDZT49)		
架台施工	SS400の上溶融亜鉛メッキ仕上 (HDZT49)		
ボルト・ナット	水槽内部	気相部 合成樹脂製保護ボルト・ナット	
		液相部 SUS304	
	水槽外部	電極座及び通気口	硬質塩化ビニル
		マンホール	SUS304
		アンカーボルト・ナット	SUS304
その他の部分	(SS鋼材) 溶融亜鉛メッキ (HDZT49)		

付属品	
緊急遮断弁 65A JIS10K (バタフライ弁)	1ヶ
緊急遮断弁制御盤	1ヶ

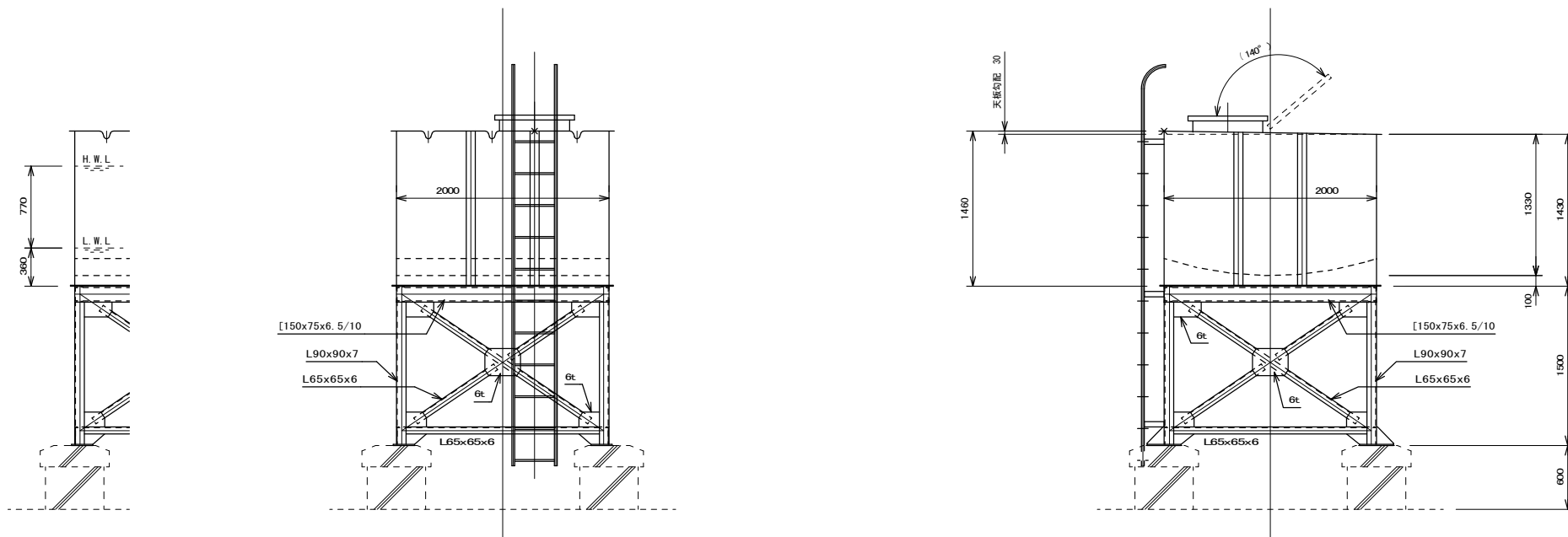
※強度計算書を提出すること。



アンカーボルト位置図
(既設基礎使用) ※ 基礎寸法は、製作時実測のこと

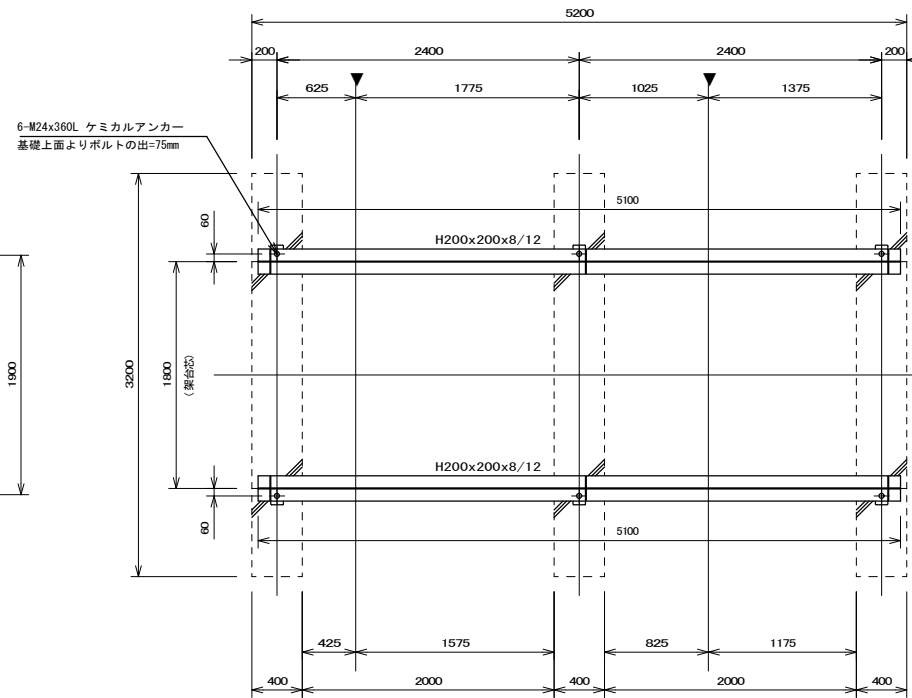
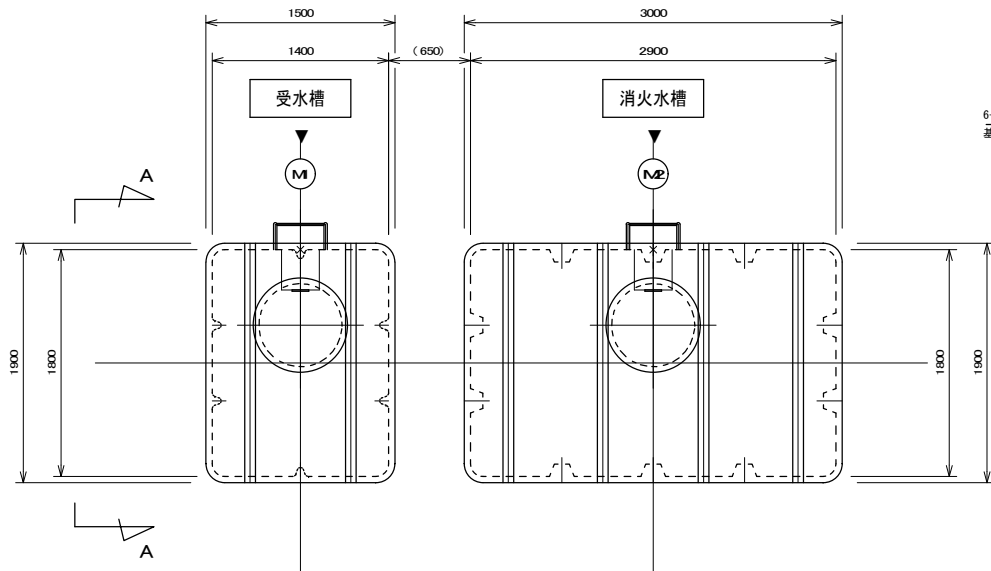
ノズル表					
符号	名称	呼数	管材	継手	備考
N-1	揚水口	1			
N-2	給水口	1			
N-3	溢水口	1			
N-4	排水口	1			
N-5	通気口	1			防虫網付 (PVC)
N-6	電極座	1			防波網・カバー付 (PVC)
M	マンホール	φ650	SS400	-	覆付カバー

Mマンホールは内蓋付とする(合成樹脂製)
外面のフランジ材質はSS400とする



槽		国土交通省告示構造基準適合品		
の	材質	鋼板製一体型水槽		
	容量	呼称=	有効=3m ³	
	板厚	天=4.5mm側=4.5mm底=4.5mm		
	製品質量	水槽=1010kg 架台=480kg		
防	材質	厚生労働省告示基準 適合エポキシ樹脂		
	内面施工	加熱硬化型エポキシライニング		
		NE-204	厚サ=0.4mm以上	
	外面施工	加熱硬化型エポキシライニング		
NE-204		厚サ=0.2mm以上		
施工法	無溶剤型ホットエアースプレー			
外装色	指定色			
設計震度	KH=2.0 KV=1.0			
内梯子	合成樹脂製			
外梯子	SGPの上溶融亜鉛メッキ仕上 (HDZT49)			
架台施工	SS400の上溶融亜鉛メッキ仕上 (HDZT49)			
ボルト・ナット	水槽内部	気相部	合成樹脂製保護ボルト・ナット	
	液相部		SUS304	
	水槽外部	電極座及び通気口		硬質塩化ビニル
		マンホール		SUS304
		アンカーボルト・ナット		SUS304
その他の部分		(SS鋼材) 溶融亜鉛メッキ (HDZT49)		

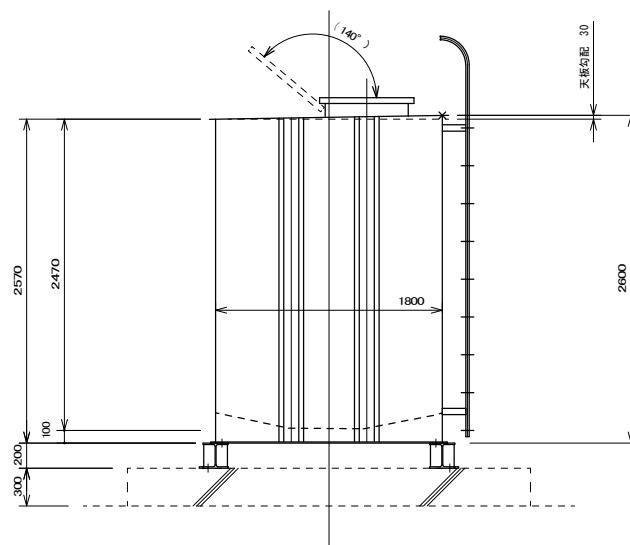
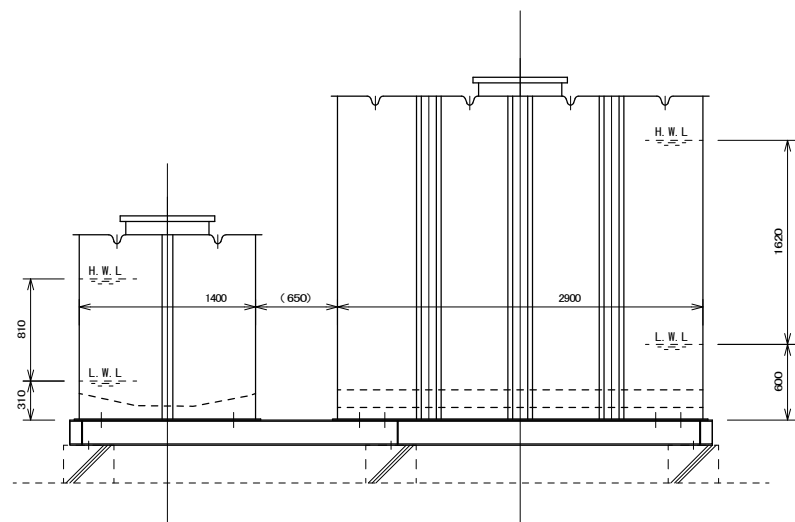
※強度計算書を提出すること。



アンカーボルト位置図

(既設基礎使用)

※ 基礎寸法は、製作時実測のこと



A-A矢視図

(受水槽)

ノズル表						
符号	名称	呼数	管材	継手	備考	
N-1	給水口	1			防波継付(PVC)	
N-2	給水口	1			ボールタップ	
N-3	揚水口	50A	1	SGP	JIS10KF	
N-4	溢水口	1				
N-5	排水口	1				
N-6	通気口	1			防虫網付(PVC)	
N-7	電極座	1			防波・カバー付(PVC)	
N-8	緊急時採水口	1			ソケット付フランジ付	
M-1	マンホール	φ650	1	SS400	-	覆付カバー

M1マンホールは内蓋付とする(合成樹脂製)
外面のフランジ材質はSS400とする

(受水槽)

槽		国土交通省告示構造基準適合品 鋼板製一体型水槽	
の 仕 様	材質	SS400	
	容量	呼称= 有効=2.0m ³	
	板厚	天=4.5mm側=4.5mm底=4.5mm	
防 食 仕 様	内面施工	加熱硬化型エポキシライニング NE-204 厚サ=0.4mm以上	
	外面施工	加熱硬化型エポキシライニング NE-204 厚サ=0.2mm以上	
施工法	無溶剤型ホットエアレススプレー		
外装色	指定色		
設計震度	KH=1.5 KV=0.75		
内梯子	合成樹脂製		
外梯子	SGPの上溶融亜鉛メッキ仕上(HDZT49)		
架台施工	SS400の上溶融亜鉛メッキ仕上(HDZT49)		
ボルト・ナット	水槽内部	気相部	合成樹脂製保護ボルト・ナット
		液相部	SUS304
		電極座及び通気口	硬質塩化ビニル
	水槽外部	マンホール	SUS304
		アンカーボルト・ナット	SUS304
	その他の部分	(SS鋼材)溶融亜鉛メッキ(HDZT49)	

付属品

緊急遮断弁 50A JIS10K (バタフライ弁) 1ヶ
緊急遮断弁制御盤 1ヶ

(消火水槽)

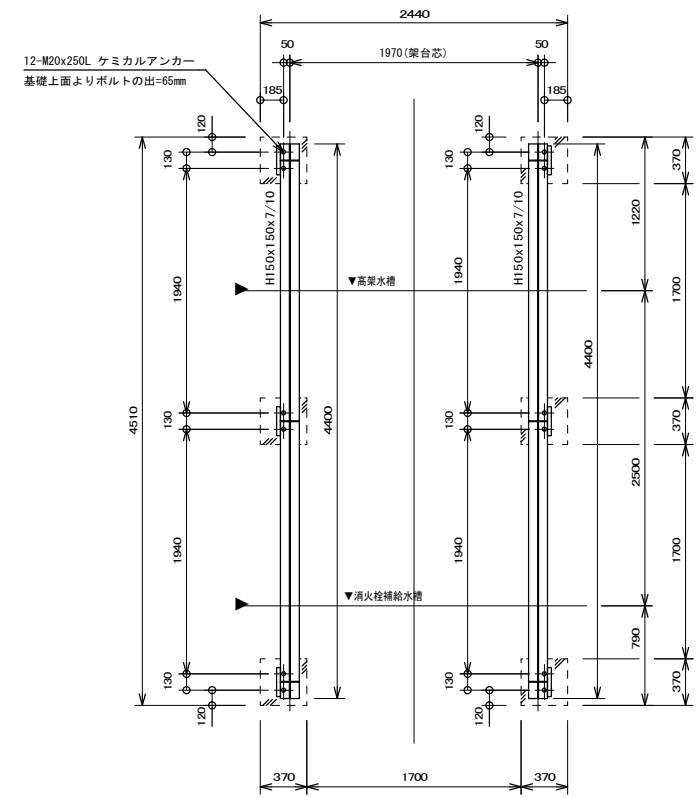
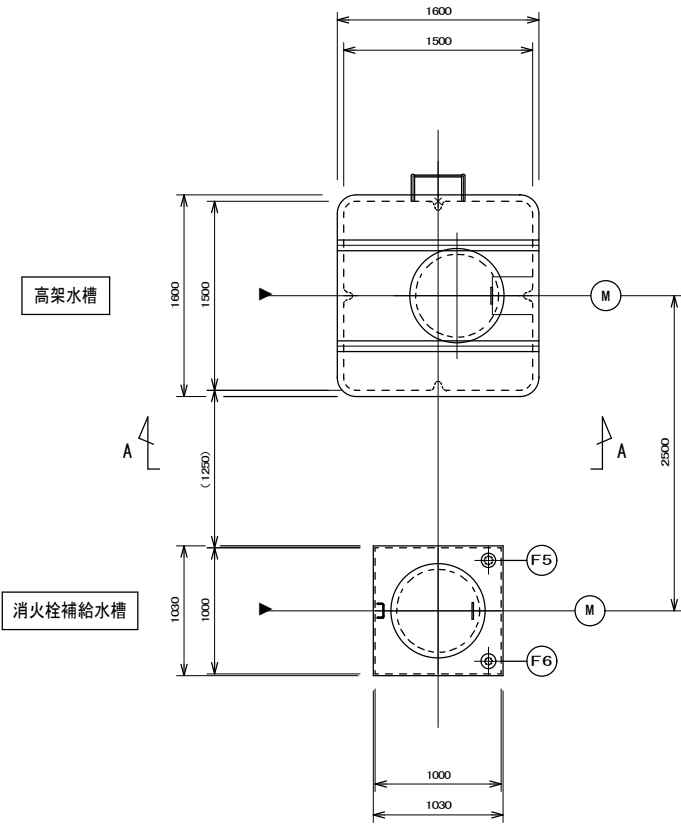
ノズル表						
符号	名称	呼数	管材	継手	備考	
T-1	給水口	1			防波継付(PVC)	
T-2	給水口	1			ボールタップ	
T-3	揚水口	1				
T-4	溢水口	1				
T-5	排水口	1				
T-6	通気口	1			防虫網付(PVC)	
T-7	電極座	1			防波・カバー付(PVC)	
T-8	テスト口	1				
T-9	逃し口	1				
M-2	マンホール	φ650	1	SS400	-	覆付カバー

外面のフランジ材質はSS400とする

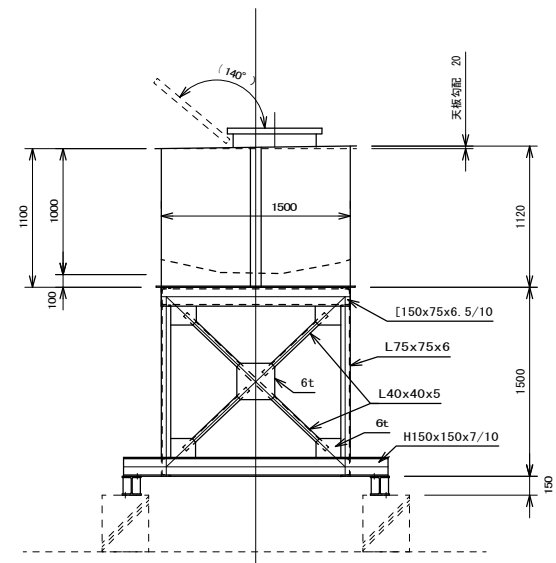
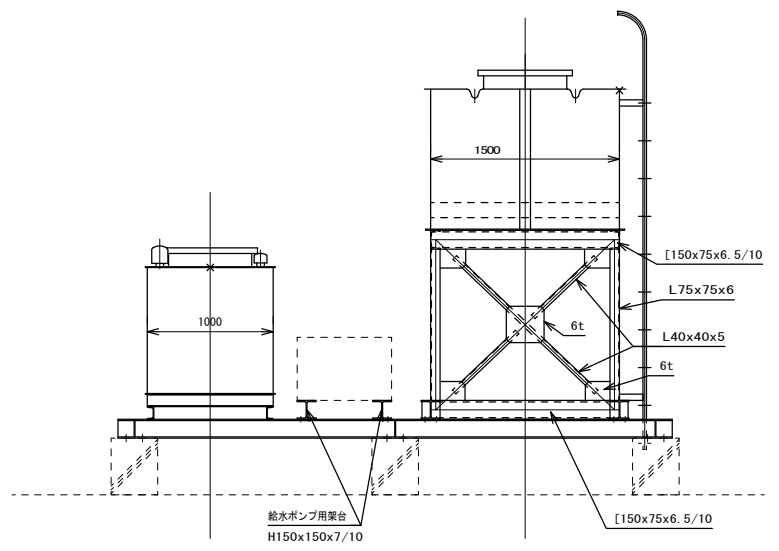
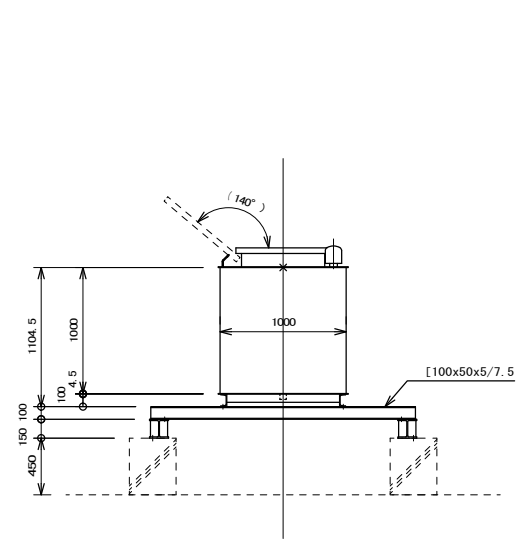
(消火水槽)

槽		国土交通省告示構造基準適合品 鋼板製一体型水槽	
の 仕 様	材質	SS400	
	容量	呼称= 有効=8.0m ³	
	板厚	天=4.5mm側=4.5mm底=6.0mm	
防 食 仕 様	内面施工	加熱硬化型エポキシライニング NE-204 厚サ=0.4mm以上	
	外面施工	加熱硬化型エポキシライニング NE-204 厚サ=0.2mm以上	
施工法	無溶剤型ホットエアレススプレー		
外装色	指定色		
設計震度	KH=1.5 KV=0.75		
内梯子	合成樹脂製		
外梯子	SGPの上溶融亜鉛メッキ仕上(HDZT49)		
架台施工	SS400の上溶融亜鉛メッキ仕上(HDZT49)		
ボルト・ナット	水槽内部	気相部	合成樹脂製保護ボルト・ナット
		液相部	SUS304
		電極座及び通気口	硬質塩化ビニル
	水槽外部	マンホール	SUS304
		アンカーボルト・ナット	SUS304
	その他の部分	(SS鋼材)溶融亜鉛メッキ(HDZT49)	

※強度計算書を提出すること。



アンカーボルト位置図
(既設基礎使用) ※基礎寸法は、製作時実測のこと



A-A矢視図

(消火栓補給水槽)

符号	名称	呼数	管材	継手	備考
F-1	給水口	1			ボールタップ
F-2	補給水口	1			
F-3	溢水口	1			
F-4	排水口	1			
F-5	通気口	1			防虫網付 (PVC)
F-6	電極座	1			カバー付 (PVC)
↑	点検口	φ650	1	SS400	— 壁付カバー

(消火栓補給水槽)

槽の仕様	鋼板製消火栓補給水槽
材質	SS400
容量	呼称= 有効=0.5m ³
板厚	天=4.5mm側=4.5mm底=4.5mm
(JIS規格品使用)	
製品質量	水槽=315kg 架台=50kg
材質	厚生労働省告示基準 適合エポキシ樹脂
内面施工	加熱硬化型エポキシライニング NE-204 厚サ=0.4mm以上
外面施工	加熱硬化型エポキシライニング NE-204 厚サ=0.2mm以上
施工法	無溶剤型ホットエアレススプレー
外装色	指定色
設計震度	KH=2.0 KV=1.0
架台施工	SS400の上溶融亜鉛メッキ仕上 (HDZT49)
外部のボルト・ナット	点検口 SUS304 アンカーボルト・ナット SUS304 その他の部分 (SS鋼材) 溶融亜鉛メッキ (HDZT49)

(高架水槽)

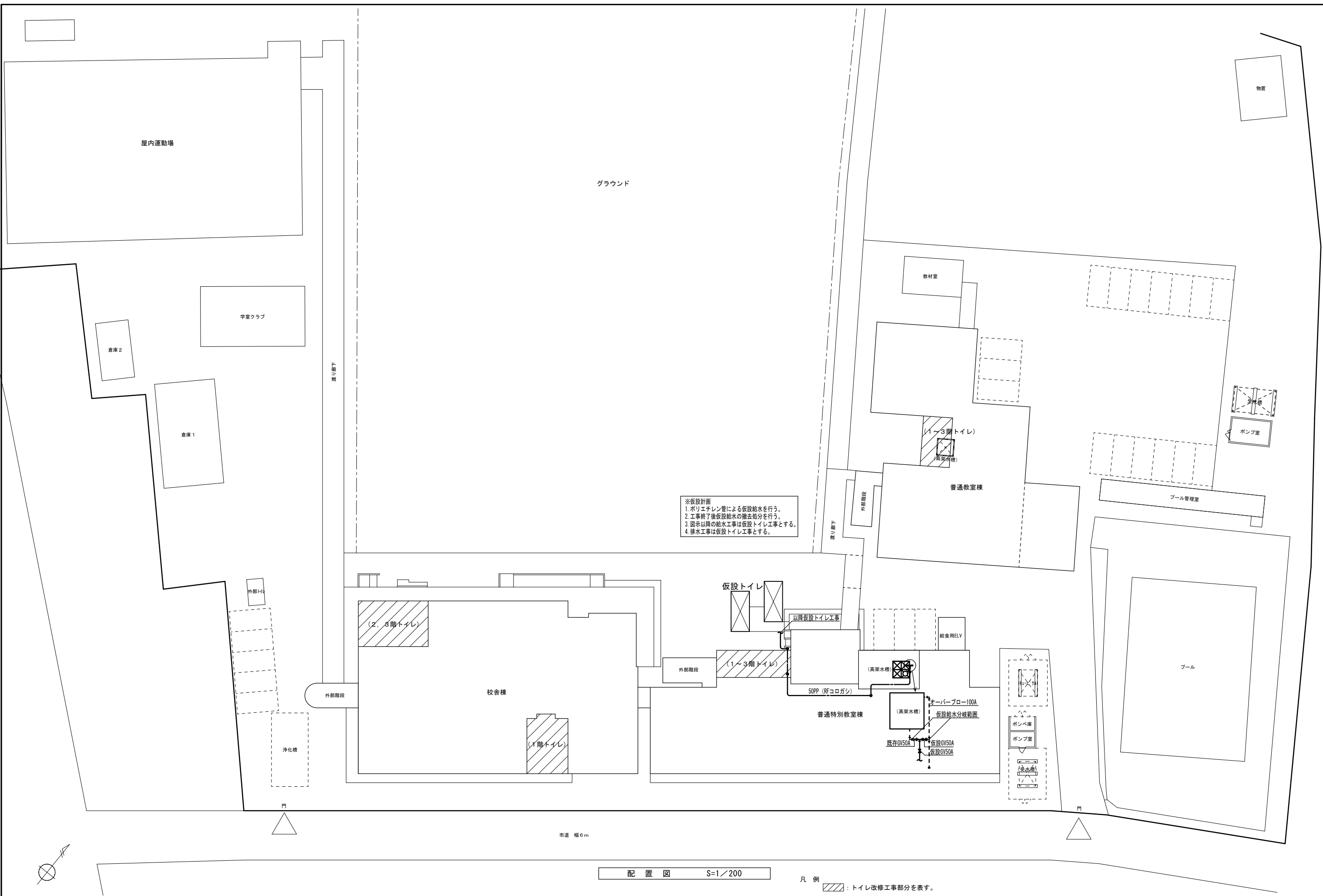
符号	名称	呼数	管材	継手	備考
N-1	揚水口	1			
N-2	給水口	1			
N-3	溢水口	1			
N-4	排水口	1			
N-5	通気口	1			防虫網付 (PVC)
N-6	電極座	1			防虫網・カバー付 (PVC)
M	マンホール	φ650	1	SS400	— 壁付カバー

Mマンホールは内蓋付とする(合成樹脂製)
外面のフランジ材質はSS400とする

(高架水槽)

槽の仕様	国土交通省告示構造基準適合品 鋼板製一体型水槽
材質	SS400
容量	呼称= 有効=1m ³
板厚	天=4.5mm側=4.5mm底=4.5mm
(JIS規格品使用)	
製品質量	水槽=620kg 組架台=460kg ポンプ用架台=140kg 平架台=310kg
材質	厚生労働省告示基準 適合エポキシ樹脂
内面施工	加熱硬化型エポキシライニング NE-204 厚サ=0.4mm以上
外面施工	加熱硬化型エポキシライニング NE-204 厚サ=0.2mm以上
施工法	無溶剤型ホットエアレススプレー
外装色	指定色
設計震度	KH=2.0 KV=1.0
内梯子	合成樹脂製
外梯子	SGPの上溶融亜鉛メッキ仕上 (HDZT49)
架台施工	SS400の上溶融亜鉛メッキ仕上 (HDZT49)
ボルト・ナット	水槽内部 気相部 合成樹脂製保護ボルト・ナット 液相部 SUS304 電極座及び通気口 硬質塩化ビニル マンホール SUS304 水槽外部 アンカーボルト・ナット SUS304 その他の部分 (SS鋼材) 溶融亜鉛メッキ (HDZT49)

※強度計算書を提出すること。



配置図 S=1/200